

2013 年

倉吉市

市勢要覽



統計資料編





## 市 章



はク、 はラ、  
  
は吉で、クとラと吉を  
組み合わせてまとめたものです。  
円形を型どるは円満なる融和を  
示し、市民の強固なる団結を表現、  
また中央の突起は将来倉吉市の発  
展を表徴しています。

【昭和29年3月29日議決】

## 市 民 憲 章

わたくしたち倉吉市民は、  
郷土の繁栄を願い、  
明るく美しい市風をつくりあげるため、  
ここに憲章を制定します。  
みんなで手をつなぎ、  
からだづくりにつとめ、  
自然と文化を愛し、  
きれいなまちをつくり、  
楽しい職場をさずき、  
伸びゆく倉吉市民としての  
ほこりに生きましょう。

【昭和43年9月21日議決】

## 市 花 「 つ つ じ 」



【昭和43年9月21日議決】

## 市 の 木 「 つ ば き 」



【昭和48年10月24日議決】

## 市 の 鳥 「 め じ ろ 」



【平成20年10月2日議決】

## 市のイメージキャラクター



【平成24年7月18日住民登録】

## 自然

位置・市域	1
面積	1
気象	2

## 人口

人口・世帯数の推移	3
人口集中地区人口	4
年齢別・男女別人口	5
地区別人口	6
地区別・年齢別人口	7
町別人口・世帯数	8～10
近隣市町村の世帯数・人口	11
地区別人口・世帯数(住基)推移	12
人口動態	13
推計人口による移動者数	14
経済活動人口(産業別人口)の推移	15

## 産業

産業別事業所数・従業者数	16
農業人口の推移	17
農家数と経営耕地面積の推移	18
地区別農家数	19
地区別経営耕地種別面積	20・21
農業粗生産額	22
農業所得	23
林野・森林面積	23
市町村別主要農畜産物収穫量	24
製造業(工業)の事業所数等の推移	25・26
商業(卸・小売業)の商店数等の推移	27～31

## 経済・行政

上水道・下水道等の普及状況	32
住宅の種類・戸数	33
ごみの量・資源ごみの量	33
市税	34
学校	35・36
年金・国保	37
福祉施設	38
市の財政	39
行政担当者	40
行政機構	41

## その他

近隣市町村勢一覧	42～44
年表	45～58

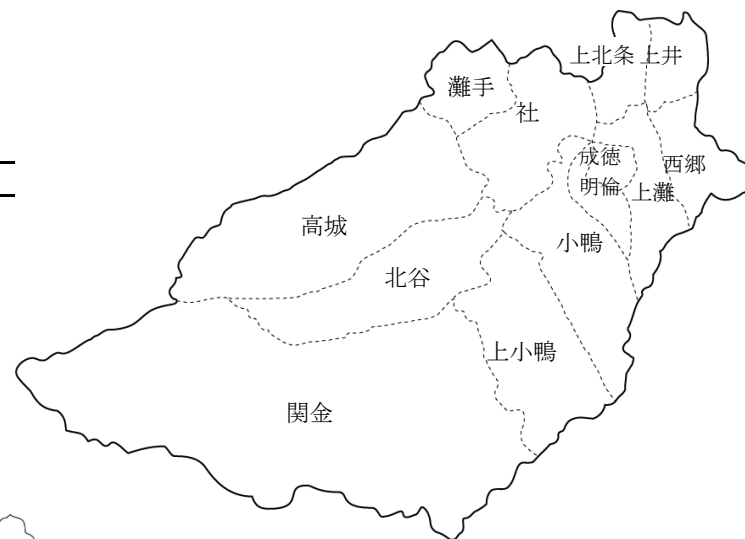
### 利用上の注意

- ※単位換算または四捨五入したために、表中の総数とその内容が一致しないものもある。
- ※本表に掲げた数のうち、これまで発表した数と異なるものがあるのは、その後修正または改訂したためである。
- ※統計表中の符号の用法は次のとおりである。
  - 該当数字なし
  - … 不詳資料なし
  - △ 減少・マイナス
  - X 調査対象が少ないため、そのまま公表すると個々の秘密が漏れる恐れがある

## 位置・市域

区分	字名	隣接町村	経度・緯度
極東	栗尾	湯梨浜町	東経 133° 53′
極西	関金町野添	琴浦町・江府町	東経 133° 34′
最南	関金町山口	岡山県真庭市	北緯 35° 18′
最北	穴窪	北栄町	北緯 35° 29′

市役所の位置(葵町 722番地)	東経133° 49′ 北緯35° 25′ 海拔24.8m
------------------	------------------------------



### <倉吉市のおいたち>

- 昭和28年10月1日 市制施行(倉吉町、上井町、西郷村、上北条村、社村、高城村、北谷村、上小鴨村、灘手村の一部)
- 昭和30年5月1日 灘手村と合併
- 平成17年3月22日 関金町と合併

## 地目別面積(平成25年1月1日現在)

単位:km<sup>2</sup>

区分	合計	田	畑	宅地	池・沼	山林	原野	雑種地	その他
全体	272.15	31.37	16.75	11.79	0.17	59.82	47.65	4.30	100.30

【資料】「全国都道府県市区町村別面積調」国土地理院、税務課

### 年別気象概況

年次	気 温(°C)					降 水 量(mm)			最深積雪(寒候年・cm) 1)		風速(m/s)			日照時間(h)	
	平均 気温	最高 気温	観測 起日	最低 気温	観測 起日	年間総 降水量	日最大 降水量	観測 起日	月最深 積 雪	観測 起日	平均 風速	最大 風速	観測 起日	全 年	
平成15年	14.7	34.1	8/3	-5.9	1/29	1,766.0	53.0	9/24	24	1/29	3.4	15	南南西	6/19	1,350.1
16年	15.7	35.4	7/8	-5.1	1/22	2,029.0	151.0	10/20	22	3/7	3.4	19	北北東	10/20	1,740.1
17年	14.8	34.1	8/2	-4.3]	2/1	1,665.0	66.0	7/4	40	2/2	3.5	16	北北西	1/17	1,621.9
18年	14.8	34.9	8/20	-3.2	2/4	1,660.0	135.5	7/18	36	12/22	3.3	15	南南東	4/11	1,559.5
19年	15.5	35.4	8/14	-0.8	1/28	1,408.0	58.0	8/30	8	2/3	3.4	18	南	3/5	1,694.3
20年	14.7	35.9	8/3	-1.6]	2/8	1,608.5	84.0	3/19	27	2/17	3.3	14	南	5/19	1,724.8
21年	14.6	33.3	7/14	-2.5	1/24	1,889.5	121.5	6/22	36	1/13	3.4	17.2	南南西	3/13	1,565.6
22年	15.7]	35.6	8/30	-2.5]	1/14	1,764.0]	64.0]	11/15	31]	1/1	3.6]	14.2]	南	3/4	1,679.8]
23年	14.5	34.5	8/6	-5.6	1/31	2,374.0	195.0	9/3	58	1/1	3.7	14.3	北北東	9/2	1,643.6
24年	14.4	35.8	8/1	-5.8	2/18	1,748.0	70.0	8/13	37	2/19	3.7	17.1	南	4/22	1,695.6
25年	14.9	34.6	8/18	-3.0	12/29	1,758.5	144.0	9/4	6	2/8	3.9	17.6	南	10/9	1,840.6

### 月別気象概況(平成25年)

月	気 温(°C)					降 水 量(mm)			最深積雪(cm)		風速(m/s)			日照時間(h)	
	平均 気温	最高 気温	観測 起日	最低 気温	観測 起日	月間総 降水量	日最大 降水量	観測 起日	月最深 積 雪	観測 起日	平均 風速	最大 風速	観測 起日	全 月	
1月	3.5	11.7	1/24	-2.5	1/27	89.0	21.0	1/14	4	1/27	4.4	14.2	北西	1/14	74.9
2月	4.4	15.0	2/2	-2.4	2/8	70.0	21.5	2/18	6	2/8	4.4	13.6	南南西	2/2	73.0
3月	8.8	21.7	3/9	-2.3	3/6	46.0	14.5	3/13	0	—	4.4	14.7	南	3/18	157.1
4月	11.5	28.2	4/16	2.0	4/13	92.0	19.5	4/2	0	—	4.3	12.4	西北西	4/7	170.5
5月	17.1	30.4	5/26	6.0	5/9	37.0	12.5	5/19	0	—	3.7	12.8	南南東	5/28	245.4
6月	21.9	30.6	6/11	13.0	6/4	126.5	50.0	6/19	0	—	2.8	9.3	西北西	6/19	166.4
7月	27.0	34.6	7/24	19.9	7/20	142.5	43.5	7/15	0	—	3.6	11.8	南南西	7/3	221.4
8月	26.8)	34.6)	8/18	19.9)	8/26	245.0	86.0	8/1	0	—	3.1	10.7	南	8/31	227.1
9月	22.1	32.4	9/13	13.3	9/28	322.0	144.0	9/4	0	—	3.3	15.6	北北東	9/16	183.7
10月	18.2	29.5	10/7	8.3	10/28	286.0	81.0	10/24	0	—	3.7	17.6	南	10/9	127.2
11月	11.1	20.9	11/6	1.6	11/28	136.0	34.0	11/10	0	—	4.3	13.3	南	11/25	125.4
12月	5.9	15.3	12/5	-3.0	12/29	166.5	27.5	12/27	19	12/29	4.6	13.5	西北西	12/20	68.5

【資料】 気象庁

- 【注】 ①)……資料不足値。統計値を求める対象となる資料が許容する範囲を超えて欠けている値。  
 ②)……準正常値。統計値を求める対象となる資料の一部が欠けているが、その数が許容する範囲内である値。  
 ③観測地点＝倉吉市大塚字隈ヶ坪（北緯35° 28.4′、東経133° 50.3′、海拔8m）  
 1)寒候年……前年8月から当年7月までの1年間。

国勢調査による倉吉市の人口・世帯数推移

単位：人、%、世帯

区分	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年		平成17年	平成22年
								(倉吉市)	(旧関金町)		
面積 (km <sup>2</sup> )	174	174	174	174	174	174	175	175	98	272	272
人口総数	50,114	49,629	50,785	52,270	52,351	51,834	51,107	49,711	4,316	52,592	50,720
対前回増減数	△ 1,414	△ 485	1,156	1,485	81	△ 517	△ 727	△ 1,396	△ 246	△ 1,435	△ 1,872
男	23,298	22,947	23,633	24,406	24,582	24,329	23,987	23,288	2,100	24,635	23,732
女	26,816	26,682	27,152	27,864	27,769	27,505	27,120	26,423	2,216	27,957	26,988
(年齢別人口)											
15歳未満	13,122	11,523	11,438	11,465	11,172	9,831	8,555	7,417	620	7,159	6,568
15～64歳	32,646	33,337	33,747	34,297	33,690	33,112	32,182	30,644	2,525	31,695	29,733
65歳以上	4,346	4,769	5,596	6,507	7,489	8,891	10,370	11,620	1,170	13,725	14,235
年齢不詳	0	0	4	1	0	0	0	30	1	13	184
(年齢別割合 %)											
15歳未満	26.2	23.2	22.5	21.9	21.3	19.0	16.7	14.9	14.4	13.6	13.0
15～64歳	65.1	67.2	66.5	65.6	64.4	63.9	63.0	61.6	58.5	60.3	58.8
65歳以上	8.7	9.6	11.0	12.4	14.3	17.2	20.3	23.4	27.1	26.1	28.2
世帯総数	12,021	12,851	14,092	15,246	15,202	15,500	16,231	16,563	1,249	18,194	18,266
一般世帯	-	12,822	14,052	15,173	15,165	15,468	16,194	16,503	1,247	18,119	18,186
一般世帯人員	-	48,346	49,245	50,590	50,541	49,925	49,311	47,711	4,253	50,266	50,720
施設等の世帯	-	29	40	72	37	32	37	44	1	69	80

【資料】「国勢調査」総務省

- 【注】①各年の数値は調査時の境界によるもので組換えは行っていない。  
 ②平成12年以前の数値には、旧関金町を含まない。  
 ③世帯総数には、世帯の種類の不詳を除く。  
 ④一般世帯……施設等を除く世帯。

国勢調査による倉吉市の人口集中地区人口(DID人口)

単位：人、km<sup>2</sup>、人/km<sup>2</sup>

区分	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
DID 人口総数	17,049	15,310	15,268	13,775	12,238	18,337	19,187	19,441	18,682	18,076
(うち1地区)	—	—	—	—	—	12,830	13,193	—	—	—
(うち2地区)	—	—	—	—	—	5,507	5,994	—	—	—
DID 面積	2.2	1.8	2.6	2.7	2.7	4.7	5.4	6.0	5.9	5.7
(うち1地区)	—	—	—	—	—	3.1	3.6	—	—	—
(うち2地区)	—	—	—	—	—	1.6	1.8	—	—	—
人口密度	7,750	8,506	5,872	5,102	4,533	3,902	3,560	3,267	3,188	3,166
(うち1地区)	—	—	—	—	—	4,139	3,716	—	—	—
(うち2地区)	—	—	—	—	—	3,442	3,258	—	—	—

【資料】 「国勢調査」 総務省

- 【注】 ①昭和60年以前及び平成2年以降の1地区は、上灘、成徳、明倫校区を中心とする地区。平成2年以降の2地区は、上井、西郷校区を中心とする地域。  
 ②DID……人口集中地区(Densely Inhabited District)。市区町村の境界内で人口密度(4,000人/km<sup>2</sup>以上)調査区が隣接して、その人口が5,000人以上となる地域。または人口規模の点で「人口集中地区」の基準に満たず、これに準ずる(人口3,000人～5,000人未満)地区のこと。



国勢調査による倉吉市の年齢別(5歳階級)・男女別人口

単位:人

区分	昭和35年			昭和40年			昭和45年			昭和50年 1)			昭和55年 1)			昭和60年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	51,528	24,178	27,350	50,114	23,298	26,816	49,629	22,947	26,682	50,785	23,633	27,152	52,270	24,406	27,864	52,351	24,582	27,769
0～4	4,183	2,128	2,055	3,773	1,894	1,879	3,456	1,794	1,662	3,990	2,035	1,955	3,757	1,917	1,840	3,333	1,706	1,627
5～9	5,219	2,651	2,568	4,119	2,065	2,054	3,842	1,953	1,889	3,577	1,870	1,707	4,088	2,068	2,020	3,730	1,906	1,824
10～14	6,311	3,217	3,094	5,230	2,645	2,585	4,225	2,152	2,073	3,871	1,975	1,896	3,620	1,901	1,719	4,109	2,078	2,031
15～19	4,639	2,144	2,495	5,339	2,453	2,886	4,764	2,247	2,517	3,896	1,800	2,096	3,767	1,769	1,998	3,450	1,768	1,682
20～24	3,379	1,408	1,971	3,057	1,204	1,853	3,692	1,383	2,309	3,102	1,182	1,920	2,660	1,013	1,647	2,319	930	1,389
25～29	3,858	1,786	2,072	3,206	1,474	1,732	3,106	1,465	1,641	4,034	1,924	2,110	3,665	1,716	1,949	3,018	1,413	1,605
30～34	4,108	1,969	2,139	3,763	1,824	1,939	3,257	1,529	1,728	3,288	1,651	1,637	4,263	2,147	2,116	3,720	1,854	1,866
35～39	3,528	1,600	1,928	4,001	1,910	2,091	3,761	1,827	1,934	3,299	1,563	1,736	3,338	1,669	1,669	4,237	2,096	2,141
40～44	2,970	1,301	1,669	3,406	1,517	1,889	3,885	1,845	2,040	3,765	1,839	1,926	3,270	1,562	1,708	3,338	1,667	1,671
45～49	2,868	1,295	1,573	2,853	1,241	1,612	3,336	1,468	1,868	3,888	1,854	2,034	3,732	1,804	1,928	3,196	1,519	1,677
50～54	2,478	1,152	1,326	2,733	1,249	1,484	2,761	1,209	1,552	3,302	1,432	1,870	3,836	1,809	2,027	3,636	1,733	1,903
55～59	2,153	1,040	1,113	2,322	1,098	1,224	2,609	1,169	1,440	2,671	1,159	1,512	3,194	1,358	1,836	3,712	1,742	1,970
60～64	1,860	822	1,038	1,966	917	1,049	2,166	984	1,182	2,502	1,108	1,394	2,572	1,105	1,467	3,064	1,287	1,777
65～69	1,346	599	747	1,621	699	922	1,751	787	964	2,022	898	1,124	2,326	997	1,329	2,414	1,019	1,395
70～74	1,231	542	689	1,113	464	649	1,373	532	841	1,552	650	902	1,762	744	1,018	2,100	848	1,252
75歳以上	1,397	524	873	1,612	644	968	1,645	603	1,042	2,022	690	1,332	2,419	827	1,592	2,975	1,016	1,959

区分	平成2年			平成7年			平成12年						平成17年			平成22年		
	総数	男	女	総数	男	女	(倉吉市)			(旧関金町)			総数	男	女	総数	男	女
							総数	男	女	総数	男	女						
総数	51,834	24,329	27,505	51,107	23,987	27,120	49,711	23,288	26,423	4,316	2,100	2,216	52,592	24,635	27,957	50,720	23,732	26,988
0～4	2,799	1,430	1,369	2,450	1,239	1,211	2,251	1,195	1,056	153	90	63	2,158	1,110	1,048	2,137	1,151	986
5～9	3,325	1,693	1,632	2,788	1,414	1,374	2,421	1,225	1,196	216	116	100	2,375	1,256	1,119	2,117	1,078	1,039
10～14	3,707	1,871	1,836	3,317	1,683	1,634	2,745	1,378	1,367	251	133	118	2,626	1,340	1,286	2,314	1,225	1,089
15～19	3,866	1,984	1,882	3,503	1,781	1,722	3,018	1,476	1,542	278	140	138	2,816	1,426	1,390	2,517	1,244	1,273
20～24	2,147	907	1,240	2,694	1,219	1,475	2,378	1,106	1,272	210	111	99	2,281	1,092	1,189	1,791	884	907
25～29	2,648	1,212	1,436	2,572	1,238	1,334	3,088	1,528	1,560	204	112	92	2,950	1,429	1,521	2,509	1,210	1,299
30～34	3,118	1,504	1,614	2,781	1,337	1,444	2,600	1,287	1,313	177	85	92	3,252	1,637	1,615	2,944	1,424	1,520
35～39	3,748	1,909	1,839	3,092	1,505	1,587	2,723	1,316	1,407	199	98	101	2,686	1,316	1,370	3,167	1,589	1,578
40～44	4,209	2,096	2,113	3,752	1,881	1,871	3,032	1,465	1,567	270	132	138	2,926	1,407	1,519	2,658	1,305	1,353
45～49	3,239	1,613	1,626	4,124	2,061	2,063	3,674	1,827	1,847	337	189	148	3,240	1,563	1,677	2,861	1,365	1,496
50～54	3,104	1,475	1,629	3,212	1,605	1,607	4,040	2,024	2,016	339	180	159	3,931	1,941	1,990	3,220	1,549	1,671
55～59	3,502	1,645	1,857	3,059	1,455	1,604	3,125	1,531	1,594	266	123	143	4,298	2,155	2,143	3,844	1,891	1,953
60～64	3,531	1,612	1,919	3,393	1,573	1,820	2,966	1,395	1,571	245	125	120	3,315	1,599	1,716	4,222	2,076	2,146
65～69	2,898	1,203	1,695	3,349	1,491	1,858	3,199	1,455	1,744	322	140	182	3,090	1,435	1,655	3,215	1,527	1,688
70～74	2,216	898	1,318	2,660	1,037	1,623	3,108	1,307	1,801	339	149	190	3,305	1,439	1,866	2,875	1,286	1,589
75歳以上	3,777	1,277	2,500	4,361	1,468	2,893	5,313	1,756	3,557	509	176	333	7,330	2,484	4,846	8,145	2,813	5,332

【資料】「国勢調査」総務省

【注】①数値は各調査時の境界による。

1)総数には、年齢不詳を含む。

②平成12年以降の75歳以上は年齢不詳を除く。

③平成12年以前の数値には、旧関金町を含まない。

平成22年国勢調査による地区別人口

単位：人、世帯

区分	総数	上北条	上井	西郷	上灘	成徳	明倫	灘手	社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金
人口総数	50,720	2,465	7,418	5,518	5,824	3,251	4,087	1,018	5,278	1,461	2,211	6,655	1,696	3,838
対前回増加数	△ 1,872	△ 17	142	58	△ 215	△ 253	△ 480	△ 85	△ 253	△ 142	△ 197	31	△ 118	△ 343
男	23,732	1,150	3,475	2,604	2,623	1,475	1,827	507	2,500	707	1,067	3,105	828	1,864
女	26,988	1,315	3,943	2,914	3,201	1,776	2,260	511	2,778	754	1,144	3,550	868	1,974
世帯総数	18,266	844	3,013	1,959	2,283	1,408	1,564	300	1,718	464	669	2,316	536	1,192

【資料】「国勢調査」総務省

平成22年国勢調査による地区別・年齢(5歳階級)別人口

(1)総数

単位:人

区分	総数	0~4	5~9	10~	15~	20~	25~	30~	35~	40~	45~	50~	55~	60~	65~	70~	75~	80~	85~	90~	95~	100歳以上	不詳
上北条	2,465	122	110	109	116	85	138	145	150	121	122	184	196	209	166	125	137	123	62	34	9	1	1
上井	7,418	373	327	310	480	337	406	514	553	415	401	445	465	548	374	352	365	326	206	104	32	8	77
西郷	5,518	260	223	277	243	218	300	377	349	320	360	345	416	426	333	249	262	217	173	85	31	12	42
上灘	5,824	275	233	305	299	227	353	387	419	334	341	333	354	432	345	306	286	252	171	99	29	6	38
成徳	3,251	119	108	133	130	66	113	120	200	183	202	203	223	312	229	214	259	217	145	50	14	3	8
明倫	4,087	95	137	208	218	96	139	153	193	214	245	255	252	341	313	327	339	268	172	81	37	4	0
灘手	1,018	27	41	36	42	39	54	56	39	42	64	69	94	80	53	66	88	81	34	8	5	0	0
社	5,278	235	272	288	287	185	296	304	362	273	293	325	471	426	338	274	244	216	125	44	12	0	8
北谷	1,461	39	42	42	45	51	75	71	66	51	71	114	142	154	93	98	124	96	59	18	9	1	0
高城	2,211	65	61	93	102	88	101	95	83	100	122	178	234	190	133	139	153	135	95	34	6	4	0
小鴨	6,655	338	329	286	279	211	315	469	459	333	346	389	535	605	459	376	349	281	185	69	27	5	10
上小鴨	1,696	69	82	63	75	72	72	73	96	90	105	118	129	159	120	115	105	82	55	13	3	0	0
関金	3,838	120	152	164	201	116	147	180	198	182	189	262	333	340	259	234	244	254	159	71	26	7	0
総数	50,720	2,137	2,117	2,314	2,517	1,791	2,509	2,944	3,167	2,658	2,861	3,220	3,844	4,222	3,215	2,875	2,955	2,548	1,641	710	240	51	184

(2)男

単位:人

区分	総数	0~4	5~9	10~	15~	20~	25~	30~	35~	40~	45~	50~	55~	60~	65~	70~	75~	80~	85~	90~	95~	100歳以上	不詳
上北条	1,150	70	58	49	53	41	64	69	62	73	51	86	93	103	85	51	58	51	22	8	2	0	1
上井	3,475	207	179	160	199	155	203	239	286	197	187	216	229	272	176	156	146	133	57	23	5	1	49
西郷	2,604	141	114	156	125	111	145	186	168	165	170	183	190	209	165	117	106	68	36	16	4	3	26
上灘	2,623	139	110	161	134	101	160	177	206	163	151	148	190	196	156	152	113	68	52	17	2	2	25
成徳	1,475	64	56	75	66	27	53	62	97	77	103	109	103	147	100	89	106	70	49	12	2	0	8
明倫	1,827	50	67	114	109	51	62	79	104	106	124	115	125	152	131	133	139	91	49	22	4	0	0
灘手	507	9	27	19	26	23	33	33	19	23	35	31	46	46	26	24	37	28	19	2	1	0	0
社	2,500	134	120	150	148	89	133	155	179	121	142	153	227	216	169	126	103	88	29	10	6	0	2
北谷	707	18	18	18	22	28	41	34	38	30	33	62	71	82	52	37	60	40	16	6	1	0	0
高城	1,067	38	39	44	59	45	51	45	45	48	60	84	126	108	64	55	66	47	35	6	2	0	0
小鴨	3,105	174	166	147	144	106	154	224	231	171	159	173	249	291	221	180	142	90	57	17	4	1	4
上小鴨	828	47	51	34	40	32	37	32	52	45	56	57	62	75	64	51	44	29	15	4	1	0	0
関金	1,864	60	73	98	119	75	74	89	102	86	94	132	180	179	118	115	107	92	46	19	5	1	0
総数	23,732	1,151	1,078	1,225	1,244	884	1,210	1,424	1,589	1,305	1,365	1,549	1,891	2,076	1,527	1,286	1,227	895	482	162	39	8	115

(3)女

単位:人

区分	総数	0~4	5~9	10~	15~	20~	25~	30~	35~	40~	45~	50~	55~	60~	65~	70~	75~	80~	85~	90~	95~	100歳以上	不詳
上北条	1,315	52	52	60	63	44	74	76	88	48	71	98	103	106	81	74	79	72	40	26	7	1	0
上井	3,943	166	148	150	281	182	203	275	267	218	214	229	236	276	198	196	219	193	149	81	27	7	28
西郷	2,914	119	109	121	118	107	155	191	181	155	190	162	226	217	168	132	156	149	137	69	27	9	16
上灘	3,201	136	123	144	165	126	193	210	213	171	190	185	164	236	189	154	173	184	119	82	27	4	13
成徳	1,776	55	52	58	64	39	60	58	103	106	99	94	120	165	129	125	153	147	96	38	12	3	0
明倫	2,260	45	70	94	109	45	77	74	89	108	121	140	127	189	182	194	200	177	123	59	33	4	0
灘手	511	18	14	17	16	16	21	23	20	19	29	38	48	34	27	42	51	53	15	6	4	0	0
社	2,778	101	152	138	139	96	163	149	183	152	151	172	244	210	169	148	141	128	96	34	6	0	6
北谷	754	21	24	24	23	23	34	37	28	21	38	52	71	72	41	61	64	56	43	12	8	1	0
高城	1,144	27	22	49	43	43	50	50	38	52	62	94	108	82	69	84	87	88	60	28	4	4	0
小鴨	3,550	164	163	139	135	105	161	245	228	162	187	216	286	314	238	196	207	191	128	52	23	4	6
上小鴨	868	22	31	29	35	40	35	41	44	45	49	61	67	84	56	64	61	53	40	9	2	0	0
関金	1,974	60	79	66	82	41	73	91	96	96	95	130	153	161	141	119	137	162	113	52	21	6	0
総数	26,988	986	1,039	1,089	1,273	907	1,299	1,520	1,578	1,353	1,496	1,671	1,953	2,146	1,688	1,589	1,728	1,653	1,159	548	201	43	69

【資料】「国勢調査」総務省

平成22年国勢調査による倉吉市の町別人口・世帯数(1)

上北条地区	人口総数	男	女	世帯数
穴窪	187	90	97	60
大塚	189	84	105	62
中江	581	278	303	197
井手畑	188	88	100	56
新田	341	160	181	120
下古川	262	132	130	86
小田	548	246	302	205
古川沢	169	72	97	58
計	2,465	1,150	1,315	844

上井地区	人口総数	男	女	世帯数
清谷	593	287	306	187
清谷町1丁目	600	312	288	238
清谷町2丁目	114	59	55	54
福庭	571	231	340	192
福庭町1丁目	987	479	508	399
福庭町2丁目	230	111	119	67
海田東町	292	145	147	134
海田西町1丁目	388	182	206	144
海田西町2丁目	335	148	187	138
海田南町	108	45	63	42
大平町	105	43	62	41
天神町	213	103	110	93
上井	1,690	775	915	727
上井町1丁目	766	360	406	355
上井町2丁目	272	121	151	137
河北町	154	74	80	65
計	7,418	3,475	3,943	3,013

西郷地区	人口総数	男	女	世帯数
山根	1,511	659	852	439
伊木	1,090	526	564	479
八屋	573	281	292	235
下余戸	481	235	246	188
上余戸	899	436	463	321
栗尾	71	33	38	21
大原・広栄町	387	175	212	117
虹ヶ丘町	506	259	247	159
計	5,518	2,604	2,914	1,959

単位:人、世帯

上灘地区	人口総数	男	女	世帯数
円谷町	273	129	144	110
米田町	696	325	371	312
米田町2丁目	208	102	106	92
新陽町	209	99	110	96
駄経寺町	454	211	243	168
駄経寺町2丁目	148	71	77	60
下田中町	533	248	285	213
上灘町	511	229	282	175
昭和町1丁目	207	85	122	103
昭和町2丁目	277	121	156	131
東昭和町	361	153	208	121
南昭和町	291	115	176	84
東巖城町	507	254	253	224
見日町	186	88	98	88
幸町	209	86	123	82
巖城	754	307	447	224
計	5,824	2,623	3,201	2,283

成徳地区	人口総数	男	女	世帯数
住吉町	335	168	167	150
湊町	196	83	113	99
東町	310	134	176	131
葵町	145	62	83	54
仲ノ町	71	31	40	30
荒神町	85	39	46	41
宮川町	301	138	163	132
宮川町2丁目	149	76	73	66
堺町1丁目	63	26	37	22
堺町2丁目	199	86	113	85
堺町3丁目	166	75	91	89
研屋町	55	24	31	25
明治町	160	74	86	54
明治町2丁目	184	83	101	78
大正町	134	67	67	69
大正町2丁目	100	47	53	42
新町1丁目	105	44	61	41
新町2丁目	116	51	65	45
新町3丁目	110	51	59	46
魚町	66	27	39	29

【資料】「国勢調査」総務省

平成22年国勢調査による倉吉市の町別人口・世帯数(2)

成徳地区	人口総数	男	女	世帯数
東仲町	63	27	36	29
西仲町	68	33	35	24
西町	70	29	41	27
計	3,251	1,475	1,776	1,408

明倫地区	人口総数	男	女	世帯数
福吉町	328	150	178	129
福吉町2丁目	190	90	100	80
旭田町	152	68	84	67
金森町	99	47	52	43
瀬崎町	333	130	203	68
東岩倉町	54	24	30	31
西岩倉町	98	48	50	44
越中町	267	118	149	111
越殿町	229	98	131	106
広瀬町	200	84	116	76
鍛冶町1丁目	205	89	116	79
鍛冶町2丁目	92	39	53	43
河原町	344	146	198	146
余戸谷町	404	162	242	177
八幡町	441	198	243	183
みどり町	651	336	315	181
計	4,087	1,827	2,260	1,564

灘手地区	人口総数	男	女	世帯数
北面	134	66	68	38
穴沢	135	69	66	42
別所	214	101	113	64
鋤	69	31	38	18
谷	120	58	62	37
津原	188	99	89	50
尾原	158	83	75	51
計	1,018	507	511	300

社地区	人口総数	男	女	世帯数
上神	303	149	154	92
寺谷	127	67	60	30
大谷	340	174	166	78
大谷茶屋	246	115	131	81

単位:人、世帯

社地区	人口総数	男	女	世帯数
和田	290	140	150	93
和田東町	144	78	66	42
不入岡	286	133	153	88
国府	444	194	250	135
国分寺	182	82	100	54
秋喜	626	301	325	198
福光	367	175	192	115
横田	346	152	194	108
黒見	105	52	53	31
西福守町	852	386	466	317
馬場町	394	179	215	150
秋喜西町	226	123	103	106
計	5,278	2,500	2,778	1,718

北谷地区	人口総数	男	女	世帯数
三江	282	143	139	81
福本	126	59	67	42
尾田	36	14	22	13
志津	262	129	133	86
福富	160	76	84	47
沢谷	102	45	57	34
杉野	61	28	33	19
俣谷	69	35	34	25
中野	79	38	41	25
長谷	51	28	23	18
森	72	32	40	28
大河内	161	80	81	46
計	1,461	707	754	464

高城地区	人口総数	男	女	世帯数
下米積	461	233	228	137
上米積	264	137	127	92
上福田	260	127	133	83
下福田	124	59	65	45
今在家	84	42	42	27
服部	247	117	130	70
桜	122	51	71	33
河来見	53	23	30	16
福積	96	47	49	25

【資料】「国勢調査」総務省

平成22年国勢調査による倉吉市の町別人口・世帯数(3)

高城地区	人口総数	男	女	世帯数
岡	151	71	80	38
大立	175	81	94	45
上大立	58	30	28	18
般若	34	13	21	11
棕波	35	16	19	10
立見	47	20	27	19
計	2,211	1,067	1,144	669

小鴨地区	人口総数	男	女	世帯数
富海	166	74	92	48
下大江	82	45	37	26
長坂町	115	52	63	37
長坂新町	361	163	198	134
東鴨	36	18	18	10
東鴨新町	131	57	74	39
大宮	118	67	51	20
岩倉・菅原	113	56	57	36
小鴨	544	249	295	172
中河原	758	359	399	261
生田	723	349	374	258
丸山町	327	157	170	129
西倉吉町	1,013	478	535	369
福守町	999	438	561	362
鴨川町	382	177	205	156
北野	787	366	421	259
計	6,655	3,105	3,550	2,316

上小鴨地区	人口総数	男	女	世帯数
蔵内	51	25	26	21
上古川	352	166	186	118
石塚	140	71	69	44
福山	203	103	100	56
鴨河内	710	345	365	222
耳	122	57	65	35
広瀬	118	61	57	40
計	1,696	828	868	536

【資料】「国勢調査」総務省

単位：人、世帯

関金地区	人口総数	男	女	世帯数
泰久寺	189	92	97	55
松河原	337	160	177	102
大鳥居	724	363	361	239
安歩	189	102	87	66
関金宿	1,157	529	628	350
郡家	132	70	62	42
山口	232	121	111	73
野添・小泉	41	20	21	13
米富	28	13	15	7
明高	211	109	102	59
福原	30	14	16	11
堀	410	194	216	124
今西	158	77	81	51
計	3,838	1,864	1,974	1,192

単位：人、世帯

地区	人口総数	男	女	世帯数
上北条地区	2,465	1,150	1,315	844
上井地区	7,418	3,475	3,943	3,013
西郷地区	5,518	2,604	2,914	1,959
上灘地区	5,824	2,623	3,201	2,283
成徳地区	3,251	1,475	1,776	1,408
明倫地区	4,087	1,827	2,260	1,564
灘手地区	1,018	507	511	300
社地区	5,278	2,500	2,778	1,718
北谷地区	1,461	707	754	464
高城地区	2,211	1,067	1,144	669
小鴨地区	6,655	3,105	3,550	2,316
上小鴨地区	1,696	828	868	536
関金地区	3,838	1,864	1,974	1,192
計	50,720	23,732	26,988	18,266

国勢調査による倉吉市及び近隣市町村の世帯数と人口

単位:人、%

	平成22年						平成17年			平成12年	平成7年	平成2年	昭和60年	5年間の増減率								
	総世帯数	人口			1世帯 当たり の人員 (順位 4)	人口 密度 (1km <sup>2</sup> あたり) (順位 5)	人口			人口 総数	人口 総数	人口 総数	人口 総数	H17   H22 (順位)	H12   H17	H7   H12	H2   H7	S60   H2				
		総数 (順位)	男	女			総数	男	女													
県計	211,964	588,667	—	280,701	307,966	2.71	—	167.8	—	607,012	290,190	316,822	613,289	614,929	615,722	616,024	-3.0	—	-1.0	-0.3	-0.1	0.0
東部地区 1)	86,698	239,829	—	116,053	123,776	2.70	—	157.9	—	247,469	120,025	127,444	249,385	249,108	248,814	245,876	-3.1	—	-0.8	0.1	0.1	1.2
中部地区 2)	36,713	108,737	—	51,144	57,593	2.87	—	139.3	—	113,177	53,327	59,850	116,686	119,604	121,502	122,939	-3.9	—	-3.0	-2.4	-1.6	-1.2
西部地区 3)	88,553	240,101	—	113,504	126,597	2.64	—	198.8	—	246,366	116,838	129,528	247,218	246,217	245,406	247,209	-2.5	—	-0.3	0.4	0.3	-0.7
鳥取市	73,288	197,449	①	95,959	101,490	2.63	⑰	257.9	⑤	201,740	98,333	103,407	200,744	197,959	195,707	190,836	-2.1	③	0.5	1.4	1.2	2.6
米子市	57,610	148,271	②	70,133	78,138	2.51	⑱	1,121.5	②	149,584	71,053	78,531	147,837	143,856	140,503	140,615	-0.9	②	1.2	2.8	2.4	-0.1
倉吉市	18,266	50,720	③	23,732	26,988	2.66	⑮	186.4	⑦	52,592	24,635	27,957	54,027	55,669	56,602	57,306	-3.6	⑥	-2.7	-2.9	-1.6	-1.2
境港市	12,870	35,259	④	16,906	18,353	2.67	⑭	1,224.7	①	36,459	17,535	18,924	36,843	37,365	37,282	37,351	-3.3	⑤	-1.0	-1.4	0.2	-0.2
岩美町	3,982	12,362	⑩	5,824	6,538	3.05	⑩	101.0	⑩	13,270	6,300	6,970	14,015	14,713	15,342	15,944	-6.8	⑬	-5.3	-4.7	-4.1	-3.8
若桜町	1,405	3,873	⑯	1,828	2,045	2.70	⑬	19.4	⑱	4,378	2,061	2,317	4,998	5,548	6,004	6,337	-11.5	⑱	-12.4	-9.9	-7.6	-5.3
智頭町	2,569	7,718	⑬	3,626	4,092	2.98	⑪	34.4	⑭	8,647	4,091	4,556	9,383	10,082	10,670	11,199	-10.7	⑱	-7.8	-6.9	-5.5	-4.7
八頭町	5,454	18,427	⑥	8,816	9,611	3.34	①	89.1	⑫	19,434	9,240	10,194	20,245	20,806	21,091	21,560	-5.2	⑩	-4.0	-2.7	-1.4	-2.2
三朝町	2,385	7,015	⑭	3,310	3,705	2.89	⑫	30.0	⑮	7,509	3,547	3,962	7,921	8,356	8,700	8,880	-6.6	⑫	-5.2	-5.2	-4.0	-2.0
湯梨浜町	5,418	17,029	⑧	8,110	8,919	3.07	⑧	218.5	⑥	17,525	8,333	9,192	17,381	17,167	17,309	17,498	-2.8	④	0.8	1.2	-0.8	-1.1
琴浦町	5,834	18,531	⑤	8,683	9,848	3.13	⑤	132.4	⑧	19,499	9,183	10,316	20,442	21,184	21,736	22,326	-5.0	⑨	-4.6	-3.5	-2.5	-2.6
北栄町	4,810	15,442	⑨	7,309	8,133	3.17	④	270.2	④	16,052	7,629	8,423	16,915	17,228	17,155	16,929	-3.8	⑦	-5.1	-1.8	0.4	1.3
日吉津村	1,070	3,339	⑰	1,554	1,785	3.09	⑦	802.6	③	3,073	1,407	1,666	2,971	2,760	2,830	2,799	8.7	①	3.4	7.6	-2.5	1.1
大山町	5,338	17,491	⑦	8,265	9,226	3.20	②	92.2	⑪	18,897	8,920	9,977	19,561	20,563	21,508	22,225	-7.4	⑮	-3.4	-4.9	-4.4	-3.2
南部町	3,511	11,536	⑫	5,407	6,129	3.20	③	101.2	⑨	12,070	5,676	6,394	12,210	12,345	12,774	12,854	-4.4	⑧	-1.1	-1.1	-3.4	-0.6
伯耆町	3,610	11,621	⑪	5,457	6,164	3.10	⑥	83.3	⑬	12,343	5,793	6,550	12,663	12,709	12,630	12,346	-5.8	⑪	-2.5	-0.4	0.6	2.3
日南町	2,099	5,460	⑮	2,508	2,952	2.55	⑱	16.0	⑱	6,112	2,815	3,297	6,696	7,382	7,974	8,470	-10.7	⑰	-8.7	-9.3	-7.4	-5.9
日野町	1,371	3,745	⑰	1,716	2,029	2.65	⑯	27.9	⑯	4,185	1,939	2,246	4,516	4,921	5,377	5,792	-10.5	⑯	-7.3	-8.2	-8.5	-7.2
江府町	1,074	3,379	⑱	1,558	1,821	3.06	⑨	27.1	⑰	3,643	1,700	1,943	3,921	4,316	4,528	4,757	-7.2	⑭	-7.1	-9.2	-4.7	-4.8

【資料】 「国勢調査」 総務省、鳥取県統計課

【注】 昭和60年～平成17年の数値は、平成22年10月1日現在の市町村の境域に基づいて組み替えたもの（全ての年度の数値に、旧関金町を含む）。

1) 東部地区…鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町。

2) 中部地区…倉吉市、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町。

3) 西部地区…米子市、境港市、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町。

4) 1世帯あたりの人員 = 一般世帯の世帯人員 ÷ 一般世帯の世帯数。

5) 人口密度の算出に用いた面積は、国土交通省国土地理院「平成22年全国都道府県市区町村別面積調」による。

住民基本台帳による地区別人口推移(各年1月1日現在)

年次	総数	上北条	上井	西郷	上灘	成徳	明倫	灘手	社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	外国人
平成 2年	52,336	2,555	6,984	4,542	6,269	4,959	6,053	1,354	5,414	2,110	3,092	6,660	2,187	-	157
7年	51,891	2,738	6,881	4,929	6,438	4,514	5,559	1,341	5,669	1,999	2,956	6,491	2,173	-	203
12年	50,653	2,599	7,056	5,041	6,116	4,047	4,979	1,272	6,108	1,851	2,798	6,523	2,026	-	237
14年	50,119	2,636	7,103	5,024	6,080	3,881	4,804	1,230	6,048	1,815	2,718	6,503	1,976	-	301
15年	49,863	2,611	7,136	5,005	6,095	3,790	4,775	1,209	5,972	1,783	2,668	6,503	1,970	-	346
16年	49,566	2,641	7,147	5,019	6,018	3,795	4,685	1,198	5,950	1,737	2,596	6,519	1,937	-	324
17年	49,405	2,635	7,171	5,104	5,998	3,671	4,595	1,166	5,935	1,729	2,568	6,557	1,930	-	346
18年	53,156	2,593	7,132	5,000	5,971	3,639	4,523	1,153	5,846	1,688	2,536	6,506	1,914	4,281	374
19年	52,727	2,575	7,051	4,947	5,951	3,587	4,444	1,139	5,781	1,658	2,480	6,646	1,870	4,222	376
20年	52,030	2,577	6,942	4,984	5,808	3,506	4,331	1,110	5,771	1,625	2,435	6,648	1,844	4,139	310
21年	51,663	2,596	7,066	5,017	5,694	3,417	4,265	1,078	5,716	1,586	2,410	6,657	1,826	4,053	282
22年	51,364	2,597	7,083	5,074	5,709	3,379	4,172	1,092	5,607	1,563	2,377	6,637	1,781	3,989	304
23年	50,891	2,606	7,143	5,014	5,712	3,327	4,077	1,066	5,546	1,552	2,305	6,607	1,765	3,904	267
24年	50,484	2,624	7,083	4,950	5,704	3,279	4,019	1,046	5,482	1,539	2,295	6,640	1,754	3,825	244
25年	50,145	2,622	7,037	5,107	5,764	3,237	3,993	1,037	5,294	1,514	2,236	6,822	1,727	3,755	-
26年	49,730	2,582	7,013	5,104	5,734	3,158	3,920	1,021	5,292	1,498	2,195	6,796	1,708	3,709	-
構成比%	100.0	5.2	14.1	10.3	11.5	6.4	7.9	2.1	10.6	3.0	4.4	13.7	3.4	7.5	-

【資料】「住民基本台帳」市民課

【注】①平成17年以前の数値には、旧関金町を含まない。旧関金町の人口推移は、別表に記載。

②平成25年以降の外国人の人口は、住民基本台帳法の改正により各地区人口に含む。

単位:人

総数	関金	外国人
4,924	4,924	0
4,710	4,710	0
4,539	4,529	10
4,456	4,447	9
4,370	4,360	10
4,347	4,337	10
4,294	4,284	10

住民基本台帳による地区別世帯数推移(各年1月1日現在)

年次	総数	上北条	上井	西郷	上灘	成徳	明倫	灘手	社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	外国人
平成 2年	17,566	747	2,554	1,707	2,182	1,837	2,442	352	1,649	560	840	2,046	568	-	82
7年	18,099	831	2,595	1,926	2,397	1,752	2,284	353	1,768	563	799	2,089	607	-	135
12年	18,543	817	2,797	2,113	2,379	1,675	2,044	360	1,986	569	772	2,250	596	-	185
14年	18,805	868	2,885	2,103	2,437	1,655	2,023	355	1,990	566	769	2,304	601	-	249
15年	18,961	864	2,943	2,115	2,464	1,640	2,037	353	1,989	565	767	2,334	603	-	287
16年	19,048	882	2,980	2,127	2,458	1,663	2,010	358	2,023	558	769	2,346	609	-	265
17年	19,147	900	3,023	2,158	2,470	1,621	1,984	354	2,021	563	768	2,384	605	-	296
18年	20,455	907	3,009	2,061	2,476	1,612	1,963	352	2,027	560	780	2,427	618	1,343	320
19年	20,526	915	2,997	2,067	2,473	1,592	1,952	350	2,041	555	779	2,526	616	1,345	318
20年	20,422	922	2,960	2,096	2,416	1,565	1,945	353	2,053	558	776	2,552	618	1,347	261
21年	20,501	939	3,052	2,104	2,404	1,546	1,936	355	2,046	553	780	2,586	630	1,338	232
22年	20,604	945	3,098	2,136	2,419	1,533	1,911	361	2,042	552	784	2,598	627	1,342	256
23年	20,656	966	3,150	2,116	2,457	1,533	1,890	359	2,046	559	777	2,607	620	1,351	225
24年	20,658	982	3,143	2,117	2,459	1,528	1,878	355	2,057	561	776	2,617	627	1,353	205
25年	20,609	993	3,175	2,186	2,506	1,518	1,880	362	2,001	559	767	2,692	628	1,342	-
26年	20,592	990	3,159	2,196	2,497	1,507	1,868	361	2,007	560	765	2,706	625	1,351	-
構成比%	100.0	4.8	15.3	10.7	12.1	7.3	9.1	1.8	9.7	2.7	3.7	13.1	3.0	6.6	-

【資料】「住民基本台帳」市民課

【注】①平成17年以前の数値には、旧関金町を含まない。旧関金町の人口推移は、別表に記載。

②平成25年以降の外国人世帯は、住民基本台帳法の改正により各地区世帯数に含む。

単位:世帯

総数	関金	外国人
1,336	1,336	0
1,316	1,316	0
1,340	1,336	4
1,335	1,331	4
1,329	1,325	4
1,320	1,316	4
1,323	1,319	4



倉吉市の推計人口及び人口動態【各年1月～12月】

単位：人、‰、件

年次	10月1日 推計人口	自然動態			社会動態					人口 増減	転出入 超過率	出生率	死亡率	自然 増減率	婚姻	離婚
		出生	死亡	自然増	転入	うち県外	転出	うち県外	社会増							
平成 8年	50,768	468	469	△ 1	1,964	1,018	2,262	1,042	△ 298	△ 299	△ 5.9	9.2	9.2	0.0	305	84
9年	50,652	455	526	△ 71	2,012	985	2,082	1,025	△ 70	△ 141	△ 1.4	9.0	10.4	△ 1.4	258	79
10年	50,357	465	469	△ 4	2,033	1,040	2,291	1,114	△ 258	△ 262	△ 5.1	9.2	9.3	△ 0.1	277	104
11年	50,112	443	552	△ 109	1,973	997	2,150	1,063	△ 177	△ 286	△ 3.5	8.8	11.0	△ 2.2	281	101
12年	49,711 1)	469	604	△ 135	2,010	1,060	2,195	1,119	△ 185	△ 320	△ 3.7	9.4	12.2	△ 2.7	257	121
13年	49,518	466	511	△ 45	1,970	991	2,128	1,057	△ 158	△ 203	△ 3.2	9.4	10.3	△ 0.9	259	109
14年	49,274	405	507	△ 102	2,126	1,099	2,287	1,192	△ 161	△ 263	△ 3.3	8.2	10.3	△ 2.1	274	122
15年	49,029	420	565	△ 145	2,088	1,040	2,245	1,116	△ 157	△ 302	△ 3.2	8.6	11.5	△ 3.0	258	116
16年	48,839	442	504	△ 62	2,016	1,068	2,109	1,084	△ 93	△ 155	△ 1.9	9.1	10.3	△ 1.3	257	101
17年	52,592 1)	444	589	△ 145	2,022	1,053	2,430	1,232	△ 408	△ 553	△ 7.8	8.4	11.2	△ 2.8	288	90
18年	52,197	477	589	△ 112	1,836	879	2,150	1,126	△ 314	△ 426	△ 6.0	9.1	11.3	△ 2.1	271	117
19年	51,507	448	672	△ 224	1,651	788	2,133	1,163	△ 482	△ 706	△ 9.4	8.7	13.0	△ 4.3	248	106
20年	51,190	442	633	△ 191	1,687	799	1,863	952	△ 176	△ 367	△ 3.4	8.6	12.4	△ 3.7	291	99
21年	50,793	421	602	△ 181	1,605	794	1,733	914	△ 128	△ 309	△ 2.5	8.3	11.9	△ 3.6	238	109
22年	50,720 1)	390	619	△ 229	1,532	743	1,770	871	△ 238	△ 467	△ 4.7	7.7	12.2	△ 4.5	218	104
23年	50,301	461	637	△ 176	1,434	672	1,676	841	△ 242	△ 418	△ 4.8	9.2	12.7	△ 3.5	220	101
24年	49,981	409	659	△ 250	1,563	736	1,630	793	△ 67	△ 317	△ 1.3	8.2	13.2	△ 5.0	251	81
25年	49,525	416	709	△ 293	1,474	674	1,599	702	△ 125	△ 418	△ 2.5	8.4	14.3	△ 5.9	235	86

【資料】平成16年までは「鳥取県の人口」、平成17年以降は「鳥取県人口移動調査結果」鳥取県統計課、市民課

【注】①推計人口……国勢調査人口を基に人口動態の増減による推計をした人口。

②人口動態……自然動態及び社会動。

③自然動態……出生及び死亡。

④社会動態……住居の変更を伴う人口の地域間移動。

1) 国勢調査の人口

⑤出生率……出生数÷該当年の10月1日現在の推計人口の千分率(パーミル【‰】)。

⑥死亡率……死亡数÷該当年の10月1日現在の推計人口の千分率(パーミル【‰】)。

⑦自然増減率……(出生数-死亡数)÷該当年の10月1日現在の推計人口の千分率(パーミル【‰】)。

⑧平成16年以前の数値には、旧関金町を含まない。

倉吉市の推計人口及び人口動態【月別：平成25年】

単位：人

月	各月 1日現在 推計人口	自然動態					社会動態								人口 増減数	
		出生		死亡		自然増	転入				転出					社会増
		総数	うち男	総数	うち男		総数	うち男	県外	うち男	総数	うち男	県外	うち男		
1月	49,902	32	12	70	35	△ 38	81	41	46	29	116	52	52	27	△ 35	△ 73
2月	49,829	23	18	56	20	△ 33	119	66	48	28	76	32	39	21	43	10
3月	49,839	33	18	71	27	△ 38	279	153	132	66	404	219	219	112	△ 125	△ 163
4月	49,676	36	18	75	43	△ 39	249	129	125	67	229	120	68	40	20	△ 19
5月	49,657	34	21	62	41	△ 28	96	46	44	25	110	46	65	27	△ 14	△ 42
6月	49,615	37	19	43	23	△ 6	84	35	39	21	126	57	50	23	△ 42	△ 48
7月	49,567	42	19	57	25	△ 15	98	54	50	31	112	60	43	24	△ 14	△ 29
8月	49,538	31	18	60	25	△ 29	92	41	37	16	93	46	45	24	△ 1	△ 30
9月	49,508	45	20	48	22	△ 3	101	51	29	15	81	42	40	20	20	17
10月	49,525	39	22	63	34	△ 24	84	43	35	24	95	49	31	17	△ 11	△ 35
11月	49,490	39	21	56	31	△ 17	80	41	38	19	80	39	26	11	0	△ 17
12月	49,473	25	10	48	27	△ 23	111	62	51	28	77	31	24	10	34	11

【資料】平成16年までは「鳥取県の人口」、平成17年以降は「鳥取県人口移動調査結果」鳥取県統計課

推計人口による県外・県内移動者数(倉吉市への転入者数)

単位:人

区分	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
合計	2,088	2,016	2,022	1,836	1,651	1,687	1,605	1,532	1,434	1,563	1,474
県外	1,040	1,068	1,053	879	788	799	794	743	672	736	674
県内	1,048	948	969	957	863	888	811	789	762	827	800
県内市計	367	377	417	436	378	358	352	309	315	397	358
県内郡計	681	571	552	521	485	530	459	480	447	430	442
鳥取市	200	216	238	260	217	208	205	197	202	261	234
米子市	157	139	151	155	143	141	126	102	96	130	115
境港市	10	22	28	21	18	9	21	10	17	6	9
東伯郡	548	477	478	445	435	472	417	411	391	388	379
湯梨浜町	(羽合町)	104	80								
	(泊村)	21	10	158	139	132	151	141	128	130	148
	(東郷町)	49	45								
三朝町	96	74	78	91	72	84	72	81	50	72	43
倉吉市(旧関金町)	36	42	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北栄町	(北条町)	91	70	165	111	135	176	95	121	119	123
	(大栄町)	81	62								
琴浦町	(東伯町)	48	74	77	104	96	61	79	68	94	63
	(赤崎町)	22	20								

【資料】「鳥取県人口移動調査結果」鳥取県統計課

推計人口による県外・県内移動者数(倉吉市からの転出者数)

単位:人

区分	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
合計	2,245	2,109	2,430	2,150	2,133	1,863	1,733	1,770	1,676	1,630	1,599
県外	1,116	1,084	1,232	1,126	1,163	952	914	871	841	793	702
県内	1,129	1,025	1,198	1,024	970	911	819	899	835	837	897
県内市計	410	371	509	438	404	421	357	415	404	394	390
県内郡計	719	654	689	586	566	490	462	484	431	443	507
鳥取市	216	224	243	263	212	223	211	254	222	224	218
米子市	183	124	239	158	185	171	131	144	174	168	157
境港市	11	23	27	17	7	27	15	17	8	2	15
東伯郡	607	501	599	534	516	439	388	444	387	385	442
湯梨浜町	(羽合町)	113	118								
	(泊村)	11	11	321	212	182	159	157	156	165	172
	(東郷町)	80	52								
三朝町	91	67	64	64	69	77	66	70	58	38	58
倉吉市(旧関金町)	61	50	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北栄町	(北条町)	114	87	126	177	193	132	122	132	124	106
	(大栄町)	51	45								
琴浦町	(東伯町)	55	46	88	81	72	71	47	85	49	76
	(赤崎町)	31	25								

【資料】「鳥取県人口移動調査結果」鳥取県統計課

国勢調査による経済活動人口の推移

単位:人、%

区分	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年		平成17年	平成22年
									倉吉市	旧関金町		
(産業別就業者)												
総数	25,686	25,379	27,265	26,697	27,481	26,703	26,395	26,978	25,729	2,424	26,108	24,326
農業	10,019	8,543	7,577	5,651	4,803	4,553	3,796	3,424	2,822	613	2,996	2,586
林業	336	111	104	99	109	121	100	89	72	12	39	81
漁業	12	9	2	3	2	1	2	2	1	7	8	11
鉱業	138	127	55	57	59	86	74	12	11	2	14	5
建設業	1,646	1,540	1,624	2,224	2,963	2,430	2,506	2,998	3,247	304	2,655	1,939
製造業	3,797	4,151	5,479	5,055	5,205	5,351	5,497	5,015	4,422	404	3,923	3,439
電気・ガス・熱供給・水道業	137	127	144	160	165	185	194	184	187	4	161	162
情報通信業 1)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	116	117
運輸・(通信)業 1)	1,227	1,347	1,398	1,306	1,227	1,181	1,109	1,043	974	86	725	773
卸・小売業、(飲食店) 1)	3,745	4,241	4,779	5,589	5,848	5,436	5,263	5,575	5,022	313	4,067	3,508
金融・保険業	338	408	407	466	568	607	616	577	525	23	494	465
不動産業			44	65	56	63	82	86	92	—	109	231
飲食店・宿泊業 1)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,423	1,528
医療・福祉 1)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3,099	3,650
教育、学習支援業 1)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,202	1,201
複合サービス事業 1)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	519	304
サービス業(他に分類されないもの)	3,637	4,035	4,845	5,208	5,630	5,857	6,432	7,039	7,449	562	3,095	2,698
公務(他に分類されないもの)	649	728	798	797	834	803	713	845	841	89	972	941
分類不能の産業	5	12	9	17	12	29	11	89	64	5	491	687
(産業別就業者)												
第1次産業人口数	10,367	8,663	7,683	5,753	4,914	4,675	3,898	3,515	2,895	632	3,043	2,678
第2次産業人口数	5,581	5,818	7,158	7,336	8,227	7,867	8,077	8,025	7,680	710	6,592	5,383
第3次産業人口数	9,733	10,886	12,415	13,591	14,328	14,132	14,409	15,349	15,090	1,077	15,982	15,578
第1次産業人口比率	40.4	34.1	28.2	21.5	17.9	17.5	14.8	13.0	11.3	26.1	11.7	11.0
第2次産業人口比率	21.7	22.9	26.3	27.5	29.9	29.5	30.6	29.7	29.8	29.3	25.2	22.1
第3次産業人口比率	37.9	42.9	45.5	50.9	52.1	52.9	54.6	56.9	58.6	44.4	61.2	64.0
(労働力状態別人口)												
労働力人口(a)=(b)+(c)	25,840	25,764	27,631	27,280	28,093	27,588	27,184	27,851	26,834	2,483	27,798	26,215
就業者人口(b)	25,686	25,379	27,265	26,697	27,481	26,703	26,395	26,978	25,729	2,424	26,108	24,326
完全失業者人口(c)	154	385	366	583	612	885	789	873	1,105	59	1,690	1,889
非労働力人口(d)	9,971	11,221	10,474	12,063	12,677	13,561	14,796	14,658	15,367	1,210	17,170	17,345
労働力率(%) (a)/(e)	72.1	69.6	72.5	69.3	68.8	67.0	64.7	65.5	63.5	67.2	61.8	60.2
完全失業率(%) (c)/(a)	0.6	1.5	1.3	2.1	2.2	3.2	2.9	3.1	4.1	2.4	6.1	7.2
15歳以上人口(e) 2)	35,815	36,992	38,106	39,343	40,804	41,179	42,003	42,552	42,264	3,695	44,968	43,560

【資料】「国勢調査」総務省

【注】平成12年以前の数値には、旧関金町を含まない。

1)平成17年から分類されたもの。

2)平成17年から労働力状態「不詳」を除く。

産業大分類別事業所数

単位:所

区分	昭和56年	昭和61年	平成3年	平成8年	平成11年	平成13年	平成16年		平成18年	平成21年
							(倉吉市)	(旧関金町)		
総数	3,574	3,561	3,547	3,623	3,309	3,310	2,941	144	3,140	3,193
第1次産業(農林漁業)	29	21	20	16	11	13	11	5	15	24
第2次産業	619	589	572	586	533	490	426	25	451	436
鉱業	1	2	2	2	2	2	2	—	2	2
建設業	307	280	293	323	316	299	267	17	276	262
製造業	311	307	277	261	215	189	157	8	173	172
第3次産業	2,926	2,951	2,955	3,021	2,765	2,807	2,504	114	2,674	2,733
電気・ガス・熱供給・水道業	6	5	4	3	2	3	3	—	2	5
運輸・通信業	64	61	51	57	50	67	44	3	52	—
情報通信業 2)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	25
運輸業、郵便業 2)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	44
卸売・小売業、(飲食店) 1)	1,835	1,812	1,742	1,648	1,566	1,494	948	41	975	889
金融・保険業	73	79	88	88	80	75	68	3	74	69
不動産業	46	47	45	99	102	98	101	—	122	150
学術研究・専門・技術サービス業 2)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	125
宿泊業、飲食サービス業 1)	—	—	—	—	—	—	469	27	499	464
生活関連サービス業、娯楽業 2)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	307
教育、学習支援業 1)	—	—	—	—	—	—	69	4	74	108
医療、福祉 1)	—	—	—	—	—	—	158	7	194	253
複合サービス事業 1)	—	—	—	—	—	—	12	1	27	25
サービス業(他に分類されないもの)	877	922	999	1,100	965	1,041	632	28	655	234
公務(他に分類されるものを除く)	25	25	26	26	—	29	—	—	—	35

産業大分類別従業者数

単位:人

区分	昭和56年	昭和61年	平成3年	平成8年	平成11年	平成13年	平成16年		平成18年	平成21年
							(倉吉市)	(旧関金町)		
総数	27,127	26,187	27,854	28,988	24,887	27,000	22,725	799	24,032	27,645
第1次産業(農林漁業)	206	152	163	151	108	75	66	30	69	288
第2次産業	9,451	8,634	9,009	8,561	8,043	7,113	6,184	223	6,389	6,028
鉱業	8	11	8	21	5	5	17	—	18	5
建設業	3,569	2,763	2,798	3,230	3,111	2,776	2,267	103	2,275	1,882
製造業	5,874	5,860	6,203	5,310	4,927	4,332	3,900	120	4,096	4,141
第3次産業	17,470	17,401	18,682	20,276	16,736	19,812	16,475	546	17,574	21,329
電気・ガス・熱供給・水道業	182	217	209	201	161	197	166	—	156	204
運輸・通信業	1,676	1,339	1,242	1,086	855	922	881	7	1,018	—
情報通信業 2)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	259
運輸業、郵便業 2)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	954
卸売・小売業、(飲食店) 1)	7,782	7,441	7,660	8,362	7,940	7,635	5,569	152	5,578	5,368
金融・保険業	784	804	895	775	702	642	629	23	641	644
不動産業	100	98	112	226	202	208	187	—	222	375
学術研究・専門・技術サービス業 2)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	755
宿泊業、飲食サービス業 1)	—	—	—	—	—	—	1,923	105	2,053	2,194
生活関連サービス業、娯楽業 2)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	982
教育、学習支援業 1)	—	—	—	—	—	—	495	7	461	1,454
医療、福祉 1)	—	—	—	—	—	—	3,104	199	3,963	5,536
複合サービス事業 1)	—	—	—	—	—	—	383	3	574	371
サービス業(他に分類されないもの)	6,180	6,779	7,816	8,821	6,876	9,333	3,138	50	2,908	1,158
公務(他に分類されるものを除く)	766	723	748	805	—	875	—	—	—	1,075

【資料】 「事業所統計調査」「事業所・企業統計調査」「経済センサス-基礎調査」 総務省

【注】 ①平成16年以前の数値には、旧関金町を含まない。

1)平成16年から分類されたもの。

2)平成21年から分類されたもの。

## 倉吉市の農業人口の推移

単位：人

区分	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年		平成22年
								(倉吉市)	(旧関金町)	
農家人口総数	19,884	18,010	17,037	16,476	15,087	13,645	12,343	7,784	2,148	7,705
うち男	9,516	8,615	8,163	7,933	7,298	6,571	5,966	3,750	1,066	3,780
15歳未満	2,174	1,685	1,535	1,567	1,456	1,097	805	390	144	378
15～64歳	5,736 1)	5,789	5,460	5,135	4,531	4,001	3,628	2,313	647	2,286
65歳以上	1,606 1)	1,141	1,168	1,231	1,311	1,473	1,533	1,047	275	1,116
うち女	10,368	9,395	8,874	8,543	7,789	7,074	6,377	4,034	1,082	3,925
15歳未満	2,052	1,590	1,502	1,568	1,431	1,075	827	437	121	353
15～64歳	6,303 1)	6,239	5,698	5,249	4,570	4,033	3,505	2,212	594	2,145
65歳以上	2,013 1)	1,566	1,674	1,726	1,788	1,966	2,045	1,385	367	1,427

【資料】「農業センサス」「農林業センサス」農林水産省

【注】平成17年以前の数値には、旧関金町を含まない。

1) は15歳～59歳、60歳以上人口。

## 農林業センサスによる地区別農家人口(総数)

### 1 農家人口

単位：人

年次	上北条	上井	西郷	倉吉	灘手	社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	総数
昭和 45年	1,688	1,248	1,399	1,722	1,200	2,785	2,189	2,847	2,691	2,115	4,064	23,948
50年	1,486	1,088	1,235	1,420	1,105	2,548	1,984	2,749	2,437	1,958	3,704	21,714
55年	1,425	1,039	1,162	1,234	1,084	2,400	1,935	2,640	2,297	1,821	3,566	20,603
60年	1,418	917	1,064	1,018	1,116	2,382	1,884	2,631	2,229	1,817	3,515	19,991
平成 2年	1,215	818	940	829	1,058	2,226	1,785	2,485	2,061	1,670	3,258	18,345
7年	1,072	705	873	668	1,000	2,016	1,640	2,254	1,930	1,487	2,979	16,624
12年	922	581	784	610	907	1,878	1,487	2,097	1,743	1,334	2,678	15,021
17年	501	196	336	176	562	1,274	1,079	1,460	1,152	1,048	2,148	9,932
22年	371	138	274	155	344	973	916	1,159	920	807	1,648	7,705

### 2 就業人口

単位：人

年次	上北条	上井	西郷	倉吉	灘手	社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	総数
昭和 45年	666	466	582	629	576	1,235	1,050	1,273	947	904	1,884	10,212
50年	454	340	443	439	522	1,071	865	1,105	773	785	1,398	8,195
55年	406	296	368	340	433	942	776	1,046	659	663	1,276	7,205
60年	429	323	349	298	383	834	784	976	635	661	1,199	6,871
平成 2年	407	252	318	259	391	836	682	900	637	627	1,119	6,428
7年	334	236	271	190	323	732	647	804	577	502	956	5,572
12年	258 1)	88 1)	140 1)	86 1)	284 1)	616 1)	544 1)	664 1)	463 1)	422 1)	856 1)	4,421 1)
17年	182 1)	70 1)	132 1)	64 1)	219 1)	529 1)	455 1)	566 1)	420 1)	383 1)	784 1)	3,804 1)
22年	141	50	97	68	154	424	408	472	343	307	652 1)	3,116 1)

【資料】「農業センサス」「農林業センサス」農林水産省

【注】就業人口……1年間に仕事としては主として農業に従事した者。

1) 経営耕地面積が30a以上または農産物販売金額が50万円以上の農家(販売農家)の就業人口である。

倉吉市の農家数と経営耕地面積の推移

単位:戸、%、ha

区分	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年		平成22年
								(倉吉市)	(旧関金町)	
(実数)										
総農家戸数	4,332	4,096	3,873	3,691	3,363	3,095	2,869	2,645	584	2,872
専業農家	657	505	537	575	590	489	377 1)	384 1)	73 1)	447 1)
兼業農家	3,675	3,591	3,336	3,116	2,773	2,606	1,836 1)	1,459 1)	430 1)	1,483 1)
うち第1種 3)	1,509	1,162	895	772	467	511	348 1)	251 1)	90 1)	228 1)
うち第2種 4)	2,166	2,429	2,441	2,344	2,306	2,095	1,488 1)	1,208 1)	340 1)	1,255 1)
(構成比) 2)										
総(販売)農家数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0 1)	100.0 1)	100.0 1)	100.0 1)
専業農家	15.2	12.3	13.9	15.6	17.5	15.8	17.0 1)	20.8 1)	14.5 1)	23.2 1)
兼業農家	84.8	87.7	86.1	84.4	82.5	84.2	83.0 1)	79.2 1)	85.5 1)	76.8 1)
うち第1種 3)	34.8	28.4	23.1	20.9	13.9	16.5	15.7 1)	13.6 1)	17.9 1)	11.8 1)
うち第2種 4)	50.0	59.3	63.0	63.5	68.6	67.7	67.2 1)	65.6 1)	67.6 1)	65.0 1)
(実数)										
総経営耕地総面積	3,626.00	3,378.80	3,238.60	3,083.15	3,034.27	2,794.56	2,594.46	2,124.45	687.05	2,787
田	2,449.00	2,240.20	2,149.30	2,052.48	2,020.53	1,898.39	1,809.13	1,484.43	552.50	2,067
畑	678.80	697.80	634.50	577.53	627.27	560.60	545.56	470.68	94.63	566
樹園地	498.20	440.80	454.80	453.14	386.47	335.57	239.77	169.34	39.92	153
(構成比)										
総経営耕地面積	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
田	67.5	66.3	66.4	66.6	66.6	67.9	69.7	69.9	80.4	74.2
畑	18.7	20.7	19.6	18.7	20.7	20.1	21.0	22.1	13.8	20.3
樹園地	13.7	13.0	14.0	14.7	12.7	12.0	9.2	8.0	5.8	5.5
経営耕地規模別農家数	4,332	4,096	3,873	3,691	3,363	3,095	2,869	2,645	584	2,872
例外規定	4	5	4	2	1	2	10	5	-	9
0.1-0.3ha	779	860	811	789	672	682	656	802	81	918
0.3-0.5ha	720	644	651	621	549	480	462	375	72	350
0.5-1.0ha	1,359	1,300	1,187	1,115	1,033	928	846	716	192	751
1.0-1.5ha	895	733	655	624	551	492	442	368	117	388
1.5-2.0ha	369	327	320	288	261	231	193	169	49	171
2.0-2.5ha	144	144	146	134	149	131	102	114	41	143
2.5-3.0ha	46	44	56	70	65	57	61			
3.0ha以上	16	39	43	48	82	92	97	96	32	142

【資料】 「農業センサス」「農林業センサス」農林水産省

【注】 平成17年以前の数値には、旧関金町を含まない。

- 1) 経営耕地面積が30a以上または農産物販売金額が50万円以上の農家(販売農家)による数値である。
- 2) 構成比:平成12年以前は総農家数を100、平成12年以後は、販売農家数(専業農家と兼業農家の和)を100とする。
- 3) 第1種兼業農家……農業を主としている農家。
- 4) 第2種兼業農家……兼業を主としている農家。

農林業センサスによる地区別農家数

(1)農家総数

単位:戸

年次	上北条	上井	西郷	倉吉	灘手	社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	総数
昭和 45年	367	277	312	393	264	595	471	623	601	429	884	5,216
50年	348	253	293	337	252	563	451	611	573	415	860	4,956
55年	336	238	268	292	242	523	433	594	548	399	826	4,699
60年	320	212	241	246	239	512	411	585	531	394	807	4,498
平成 2年	269	184	213	195	222	474	387	565	489	365	725	4,088
7年	244	158	198	167	214	430	371	519	454	340	664	3,759
12年	207	129	187	149	206	413	351	495	420	312	606	3,475
17年	164	117	185	123	178	399	327	463	395	294	584	3,229
22年	137	94	175	117	152	365	297	407	357	264	507	2,872

(2)専業農家

単位:戸

年次	上北条	上井	西郷	倉吉	灘手	社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	総数
昭和 45年	33	19	46	51	64	106	115	96	75	52	146	803
50年	26	13	29	27	37	69	84	109	66	45	86	591
55年	30	24	28	32	41	81	86	90	72	53	80	617
60年	39	30	27	38	30	90	94	94	66	67	111	686
平成 2年	43	21	36	30	32	90	78	105	79	76	107	697
7年	35	23	30	22	26	75	79	84	68	47	80	569
12年	21 1)	11 1)	13 1)	7 1)	30 1)	56 1)	72 1)	73 1)	55 1)	39 1)	73 1)	450 1)
17年	13 1)	10 1)	14 1)	6 1)	23 1)	68 1)	58 1)	78 1)	69 1)	45 1)	73 1)	457 1)
22年	17 1)	9 1)	12 1)	10 1)	25 1)	57 1)	54 1)	73 1)	62 1)	46 1)	82 1)	447 1)

(3)兼業農家

単位:戸

年次	上北条	上井	西郷	倉吉	灘手	社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	総数
昭和 45年	334	258	266	342	200	489	356	527	526	377	738	4,413
50年	322	240	264	310	215	494	367	502	507	370	774	4,365
55年	306	214	240	260	201	442	347	504	476	346	746	4,082
60年	281	182	214	208	209	422	317	491	465	327	696	3,812
平成 2年	226	163	177	165	190	384	309	460	410	289	618	3,391
7年	209	135	168	145	188	355	292	435	386	293	584	3,190
12年	146 1)	59 1)	77 1)	52 1)	148 1)	273 1)	235 1)	336 1)	276 1)	234 1)	462 1)	2,298 1)
17年	100 1)	37 1)	59 1)	36 1)	113 1)	218 1)	207 1)	272 1)	214 1)	203 1)	430 1)	1,889 1)
22年	74 1)	26 1)	54 1)	29 1)	61 1)	184 1)	172 1)	229 1)	176 1)	156 1)	322 1)	1,483 1)

【資料】 「農業センサス」「農林業センサス」 農林水産省

【注】 1) 経営耕地面積が30a以上または農産物販売金額が50万円以上の農家による数値である。

## 農林業センサスによる経営耕地種別面積

### (1)総面積

単位:ha

年次	上北条	上井	西郷	倉吉	灘手	社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	総数
昭和 45年	270	143	161	170	266	656	487	611	444	420	935	4,563
50年	247	121	137	134	249	608	470	619	407	388	896	4,276
55年	252	105	122	104	238	590	465	598	382	382	866	4,104
60年	223	100	106	86	227	557	458	571	379	376	857	3,940
平成 2年	219	80	95	75	224	559	465	577	366	375	838	3,873
7年	205	61	81	61	206	512	446	529	339	354	766	3,560
12年	188	48	73	54	188	487	412	500	314	332	769	3,365
17年	173	23	44	32	123	423	355	411	255	286	687	2,812
22年	156	19	44	76	150	363	351	398	282	275	674	2,787

### (2)田

単位:ha

年次	上北条	上井	西郷	倉吉	灘手	社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	総数
昭和 45年	218	108	122	131	162	327	324	322	390	345	699	3,148
50年	201	92	98	103	150	296	313	317	353	318	689	2,930
55年	201	76	86	80	148	284	312	311	341	311	685	2,835
60年	178	74	76	64	145	274	301	294	339	307	668	2,720
平成 2年	176	58	70	56	141	267	315	306	325	306	651	2,671
7年	172	42	59	46	133	254	311	289	304	288	599	2,497
12年	160	36	56	41	126	236	298	284	286	287	570	2,380
17年	149	19	35	20	74	200	268	235	233	251	553	2,037
22年	138	16	35	64	112	157	268	230	262	238	548	2,067

### (3)畑

単位:ha

年次	上北条	上井	西郷	倉吉	灘手	社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	総数
昭和 45年	22	19	17	24	59	222	72	180	30	34	153	832
50年	16	15	15	17	66	244	63	218	21	23	112	810
55年	13	15	12	13	57	244	61	189	15	17	89	725
60年	10	11	8	13	52	224	54	178	12	15	88	665
平成 2年	13	11	8	11	63	255	64	177	12	14	103	731
7年	12	11	9	8	62	217	66	145	11	19	104	664
12年	12	8	7	8	52	225	64	150	9	11	153	699
17年	10	3	3	8	41	211	49	130	7	9	95	566
22年	6	3	3	9	34	196	56	139	8	14	98	566

【資料】「農業センサス」「農林業センサス」農林水産省



農林業センサスによる経営耕地種別面積

(4) 樹園地

単位:ha

年次	上北条	上井	西郷	倉吉	灘手	社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	総数
昭和 45年	30	16	23	14	44	106	92	109	24	41	82	581
50年	30	15	25	13	32	68	94	84	33	47	95	536
55年	39	14	25	12	33	62	93	98	26	54	93	549
60年	35	15	22	9	30	60	102	99	29	54	101	556
平成 2年	29	12	16	8	20	37	86	95	28	55	85	471
7年	20	7	13	7	11	40	69	95	24	48	63	397
12年	16	4	10	6	9	26	50	66	19	34	46	286
17年	14	1	5	4	7	12	38	46	16	26	40	209
22年	12	1	6	4	5	10	27	28	11	23	28	153

【資料】「農業センサス」「農林業センサス」農林水産省



農業生産の推移

(1) 農業産出額

単位: 千万円

区分	平成7年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年		平成17年	平成18年
									(倉吉市)	(旧関金町)		
総数	892	737	754	675	630	573	547	525	532	115	644	635
耕作小計	765	608	635	564	516	465	439	418	422	81	506	498
米	231	187	170	161	162	154	153	151	134	40	188	176
麦類	1	1	1	2	2	2	1	1	2	—	2	1
雑穀・豆類	10	7	8	12	12	12	12	13	9	2	13	12
いも類	13	9	10	8	8	6	7	7	6	1	7	8
野菜	294	258	293	249	219	191	175	165	194	14	195	202
果実	170	113	126	111	93	77	69	61	58	21	78	76
花き	31	15	16	12	13	14	13	10	10	2	11	10
工芸農作物	2	1	1	1	1	1	2	1	1	—	3	3
種苗・苗木他	16	18	10	8	8	7	7	9	9	2	10	9
畜産小計	127	129	119	112	114	109	108	107	110	34	138	138
肉用牛	28	22	19	18	17	17	18	15	17	11	26	26
乳用牛	56	66	64	62	64	58	57	57	61	21	78	75
豚	31	36	33	28	30	31	31	29	26	3	28	27
鶏	11	x	x	x	x	x	x	x	x	—	x	x
その他畜産物 (養蚕含む)	1	1	1	x	x	x	x	x	x	—	x	x
加工農産物	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(2) 個別農産物粗生産額の順位

単位: 百万円

区分	平成7年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年		平成17年	平成18年
									(倉吉市)	(旧関金町)		
第1位	米 2,310	米 1,870	米 1,700	米 1,610	米 1,620	米 1,540	米 1,530	米 1,510	米 1,340	米 400	米 1,880	米 1,760
第2位	すいか 1,730	すいか 1,400	すいか 1,540	すいか 1,330	すいか 1,240	すいか 1,110	すいか 880	すいか 810	すいか 920	なし 200	すいか 860	すいか 880
第3位	なし 1,500	なし 1,010	なし 1,090	なし 990	なし 830	なし 700	なし 610	なし 540	生乳 530	生乳 180	なし 700	なし 680
第4位	生乳 500	生乳 550	生乳 560	生乳 560	生乳 560	生乳 510	生乳 510	生乳 500	なし 500	肉用牛 110	生乳 670	生乳 640
第5位	豚 310	豚 360	豚 330	豚 280	豚 300	豚 310	豚 310	豚 290	豚 260	ねぎ 60	豚 280	豚 270

【資料】「鳥取農林水産統計年報」 中国四国農政局鳥取農政事務所

【注】①数値は概数値である。

②平成16年以前の数値には、旧関金町を含まない。

## 農業所得の推移

区分	平成7年	20年	平成10年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年		平成17年	平成18年
								(倉吉市)	(旧関金町)		
生産農業所得 (千万円)	402	311	302	219	206	200	199	193	39	211	220
農家1戸当り 生産農業所得 (千円)	1,299	1,004	976	762	719	698	694	672	635	653	682

【資料】「鳥取農林水産統計年報」中国四国農政局鳥取農政事務所

【注】①数値は概数値である。

②平成16年以前の数値には、旧関金町を含まない。

## 林業の推移

### 所有形態別林野面積

単位:ha

区分	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成12年		平成17年		平成22年	
						(倉吉市)	(旧関金町)	(倉吉市)	(旧関金町)		
計	10,314	10,429	10,574	10,517	10,450	10,353	7,753	10,382	7,750	18,345	
国 有	林野庁所管	506	} 843	438	359	340	327	2,748	330	2,750	3,006
	他の官庁	1		—	1	1	1	1	1	1	—
	森林開発公団 1)	168		478	510	559	288	830	—	—	—
民 有	緑資源機構 2)	—	—	—	—	—	—	323	856	1,396	
	公有	636	870	950	1,028	1,076	1,269	95	1,315	93	1,505
	私有	9,003	8,716	8,708	8,619	8,474	8,468	4,079	8,413	4,050	12,438

【資料】「鳥取農林水産統計年報」中国四国農政局鳥取農政事務所、「農林業センサス」農林水産省

【注】平成17年以前の数値には、旧関金町を含まない。

1) 森林開発公団……林野庁を主管省庁とし、造林事業や林道事業を行っていた公団。平成11年10月1日に政府の行政改革のため農用地開発公団と統合し緑資源公団を設立。

2) 緑資源機構……緑資源公団が、平成15年10月1日に民営化されたために設立された。

市町村別主要農畜産物収穫量等(平成18年)

区分		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
耕地面積	ha	鳥取市 7,260	大山町 4,070	倉吉市 3,990	米子市 3,050	琴浦町 2,920
田面積	〃	鳥取市 5,690	倉吉市 2,740	大山町 2,270	米子市 2,050	琴浦町 1,600
普通畑面積	〃	大山町 1,270	北栄町 1,160	倉吉市 1,040	琴浦町 1,020	米子市 931
樹園地面積	〃	鳥取市 542	湯梨浜町 367	八頭町 246	琴浦町 232	大山町 194
水稲作付け面積	〃	鳥取市 3,580	倉吉市 1,620	米子市 1,260	大山町 1,160	八頭町 939
10a 当たり収量	Kg	日吉津村 514	米子市 513	大山町 510	江府町 508	伯耆町 504
収穫量	t	鳥取市 16,800	倉吉市 7,500	米子市 6,470	大山町 5,900	八頭町 4,420
農産物収穫町						
キャベツ	t	倉吉市 1,890	鳥取市 1,010	北栄町 794	米子市 727	大山町 291
たまねぎ	〃	米子市 595	鳥取市 465	倉吉市 413	八頭町 280	琴浦町 169
露地メロン	〃	倉吉市 414	北栄町 235	鳥取市 177	大山町 165	湯梨浜町 110
すいか	〃	北栄町 13,200	倉吉市 6,120	琴浦町 1,300	鳥取市 681	伯耆町 288
大豆	〃	鳥取市 392	倉吉市 279	北栄町 240	米子市 171	大山町 124
日本なし	〃	湯梨浜町 5,850	鳥取市 5,170	琴浦町 3,870	倉吉市 2,560	大山町 2,240
かんしょ	〃	米子市 623	鳥取市 508	倉吉市 433	境港市 428	大山町 279
きゅうり	〃	鳥取市 860	米子市 306	倉吉市 228	北栄町 207	琴浦町 177
なす	〃	鳥取市 338	米子市 194	倉吉市 110	八頭町 105	大山町 70
ピーマン	〃	日南町 178	鳥取市 152	米子市 130	倉吉市 63	八頭町 55
ねぎ	〃	米子市 6,570	境港市 1,670	大山町 1,040	倉吉市 779	鳥取市 761
かき	〃	八頭町 1,160	鳥取市 786	南部町 462	北栄町 277	倉吉市 263
はくさい	〃	伯耆町 1,030	鳥取市 700	米子市 423	北栄町 347	倉吉市 292
ブロッコリー	〃	大山町 2,520	北栄町 618	琴浦町 426	倉吉市 196	鳥取市 164
ハウレンソウ	〃	鳥取市 490	北栄町 420	湯梨浜町 202	米子市 160	倉吉市 140
だいこん	〃	境港市 2,000	北栄町 1,770	鳥取市 1,390	江府町 1,160	琴浦町 1,020
にんじん	〃	米子市 3,030	鳥取市 190	境港市 113	北栄町 107	八頭町 94
さといも	〃	鳥取市 364	境港市 340	大山町 240	米子市 96	八頭町 88
やまのいも	〃	北栄町 2,150	鳥取市 21	米子市 17	倉吉市 15	大山町 14
トマト	〃	鳥取市 706	琴浦町 534	日南町 505	倉吉市 431	北栄町 422
らっきょう	〃	鳥取市 1,920	北栄町 1,710	湯梨浜町 39	米子市 24	日吉津村 10
ぶどう	〃	北栄町 545	湯梨浜町 99	鳥取市 88	琴浦町 59	八頭町 31
もも	〃	鳥取市 69	倉吉市 12	米子市 8	八頭町 4	岩美町 2
乳用牛飼養頭数	頭	琴浦町 3,220	大山町 3,170	倉吉市 1,280	鳥取市 1,010	北栄町 792
肉用牛飼養頭数	〃	琴浦町 6,600	北栄町 2,900	鳥取市 2,690	大山町 2,170	倉吉市 1,850
豚飼養頭数	〃	大山町 38,800	琴浦町 8,980	北栄町 5,750	倉吉市 4,170	鳥取市 986

【資料】「第55次鳥取農林水産統計年報」中国四国農政局鳥取農政事務所

製造業(従業者4人以上の事業所)の推移

(1)事業所数

単位:所

年次	総数	食料 飲料	繊維	木材	家具	紙 パルプ	印刷	石油 石炭	プラス チック	窯業 土石	鉄鋼 非鉄	金属	機械	電気 機械	情報 通信	電子 部品	輸送 機械	その他
平成 10年	149	29	30	12	6	4	8	1	7	6	3	9	9	21	-	-	2	2
11年	138	25	29	10	5	6	7	1	7	6	2	9	7	20	-	-	2	2
12年	130	28	22	11	5	6	7	1	6	5	1	8	6	20	-	-	2	2
13年	127	28	15	11	5	7	7	1	6	6	1	9	6	22	-	-	2	1
14年	113	25	13	10	4	5	7	1	6	5	2	6	3	7	1	15	2	1
15年	111	25	10	10	3	5	7	2	6	5	1	8	1	7	2	16	2	1
16年	110	26	8	10	4	5	7	1	6	5	2	5	2	9	2	14	2	2
(倉吉市)																		
(旧関金町)	7	3	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
17年	116	28	9	10	4	5	7	2	6	5		6	3	9	2	14	3	2
18年	115	26	9	10	4	5	6	1	6	5	2	7	2	10	1	14	4	3
19年	115	26	7	7	4	5	7	1	5	5	1	9	3	12	1	15	4	3
20年	115	24	7	8	5	4	5	1	5	6	4	9	3	13	1	12	5	3
21年	102	24	5	8	2	4	5	1	5	4	4	8	1	9	1	13	6	2
22年	100	22	5	8	2	4	5	1	5	5	3	9	2	10	1	12	4	2
23年	111	24	10	6	4	5	5	1	5	6	4	8	4	6	1	13	5	4
24年	94	21	7	6	2	4	6	1	6	3	2	7	3	10	-	10	4	2

(2)従業者数

単位:人

年次	総数	食料 飲料	繊維	木材	家具	紙 パルプ	印刷	石油 石炭	プラス チック	窯業 土石	鉄鋼 非鉄	金属	機械	電気 機械	情報 通信	電子 部品	輸送 機械	その他
平成 10年	4,635	327	791	175	38	177	187	x	335	78	x	321	92	1,868	-	-	x	x
11年	4,254	294	676	163	32	204	147	x	336	78	x	319	89	1,677	-	-	x	x
12年	4,280	322	476	161	31	201	160	x	335	71	x	306	67	1,915	-	-	x	x
13年	4,102	328	373	139	31	203	153	x	341	79	x	293	65	1,883	-	-	x	x
14年	3,812	311	312	137	25	168	152	x	256	67	x	259	16	286	x	1,346	x	x
15年	3,704	287	297	129	21	165	141	x	332	67	x	202	x	311	x	1,269	x	x
16年	3,791	284	261	120	26	166	131	4	333	61	199	191	18	390	256	1,286	53	12
(倉吉市)																		
(旧関金町)	107	57	24	6	15	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
17年	3,957	351	276	127	24	167	127	8	341	62	233	210	21	379	246	1,298	74	13
18年	4,002	346	293	145	23	162	116	4	259	65	250	218	11	412	199	1,330	88	81
19年	4,144	323	251	134	25	179	117	4	279	64	255	275	15	417	184	1,436	96	90
20年	4,094	307	228	116	25	186	94	4	265	66	291	294	20	457	192	1,360	114	75
21年	3,700	315	200	111	12	186	92	4	266	40	300	267	5	308	161	1,312	108	13
22年	3,672	285	182	102	11	177	90	4	257	59	287	263	14	286	205	1,333	104	13
23年	3,550	334	211	44	26	157	77	5	212	49	295	206	23	236	174	1,273	151	77
24年	3,349	296	193	93	10	157	93	4	336	36	290	245	26	289	-	1,127	141	13

【資料】 「工業統計調査」経済産業省、「経済センサス-活動調査」(H23のみ)総務省

- 【注】 ①平成14年から電気と電子部品を別に分類。  
②平成16年以前の数値には、旧関金町を含まない。

製造業(従業者4人以上の事業所)の推移

(3) 製造出荷額

単位:百万円

年次	総額	食料 飲料	繊維	木材	家具	紙 パルプ	印刷	石油 石炭	プラス チック	窯業 土石	鉄鋼 非鉄	金属	機械	電気 機械	情報 通信	電子 部品	輸送 機械	その 他	
平成 10年	87,549	2,798	9,399	3,696	355	2,955	1,859	x	4,502	1,630	x	6,110	1,398	47,543	-	-	x	x	
11年	86,569	2,764	8,323	3,859	233	3,992	1,352	x	4,525	1,749	x	5,815	1,180	47,373	-	-	x	x	
12年	93,248	2,679	6,956	4,400	257	4,549	1,660	x	5,804	1,388	x	6,162	925	53,043	-	-	x	x	
13年	82,658	2,710	5,677	3,632	239	4,035	1,559	x	5,918	1,222	x	5,613	983	45,510	-	-	x	x	
14年	74,974	2,668	5,442	3,376	184	2,993	1,439	x	5,496	1,179	x	4,381	89	2,573	x	30,992	x	x	
15年	77,202	2,546	5,264	3,197	142	3,045	1,368	x	5,474	1,107	x	4,339	x	2,200	x	33,796	x	x	
16年	(倉吉市)	78,947	2,378	4,737	2,630	145	3,045	1,189	x	5,740	1,152	x	3,508	x	2,627	x	35,338	x	x
	(旧関金町)	1,097	x	x	x	x	-	-	-	-	-	-	-	x	-	-	-	-	-
17年	79,159	3,444	4,324	2,729	139	3,141	1,182	x	5,660	974	x	4,156	141	2,885	x	33,782	925	x	
18年	82,717	3,391	3,805	3,679	133	3,204	1,119	x	4,398	818	x	5,193	x	3,113	x	36,658	1,489	x	
19年	92,068	3,508	4,073	4,304	107	3,714	1,016	x	5,045	807	x	5,529	295	3,258	x	41,858	1,759	x	
20年	98,234	3,437	2,292	3,437	119	3,644	875	x	5,458	672	x	6,151	x	3,723	x	47,416	1,864	1,417	
21年	75,112	3,552	1,715	2,419	x	3,489	842	x	4,934	957	x	5,673	x	2,042	x	33,432	1,188	x	
22年	75,259	3,276	937	2,183	x	3,492	840	x	5,954	1,104	x	5,155	x	2,184	x	38,221	1,346	x	
23年	78,473	3,492	1,043	443	143	3,440	805	x	5,385	978	x	4,636	x	1,959	x	40,008	1,595	2,798	
24年	77,812	3,322	1,039	3,386	x	3,552	991	x	8,704	872	x	5,661	x	2,016	x	36,887	1,820	x	

【資料】「工業統計調査」経済産業省、「経済センサス-活動調査」(H23のみ)総務省

- 【注】①平成14年から電気機械と電子部品を別に分類。  
②平成16年以前の数値には、旧関金町を含まない。

商業(卸売、小売別)商店数の推移

単位:店

区分	昭和57年	昭和60年	昭和63年	平成3年	平成6年	平成9年	平成11年	平成14年	平成16年		平成19年	平成23年
									(倉吉市)	(旧関金町)		
総計	1,295	1,151	1,245	1,247	1,157	1,151	1,092	980	935	41	933	648
卸売業計	194	177	192	231	214	218	188	154	154	1	157	110
各種商品卸売業	-	2	-	-	2	1	-	-	-	-	-	1
繊維・衣服等卸売業	4	5	4	5	8	4	3	3	5	-	3	2
飲食料品卸売業	54	56	53	64	58	63	52	41	40	1	37	34
建築材料卸売業	41	35	47	56	44	45	40	38	31	-	33	18
化学製品卸売業	5	3	4	4	3	4	7	2	5	-	5	3
鉱物・金属材料卸売業	9	8	5	5	5	5	4	4	4	-	5	2
再生資源卸売業	6	4	6	8	6	5	5	5	4	-	4	4
機械器具卸売業	36	23	40	42	44	50	40	33	38	-	37	16
その他の卸売業	39	41	33	47	44	41	37	28	27	-	33	30
小売業計	1,101	974	1,053	1,016	943	933	904	826	781	40	776	538
各種商品小売業	3	3	4	4	7	9	10	10	8	-	5	-
呉服・服地・寝具小売業	63	56	49	51	45	41	32	27	23	-	19	10
男子服小売業	38	31	29	30	26	24	21	22	19	-	14	7
婦人・子供服小売業	57	60	67	74	66	61	64	57	50	3	57	41
靴・履物小売業	23	21	20	17	17	15	11	11	12	1	8	8
その他の身の回り品小売	39	31	29	23	26	34	28	25	24	-	34	15
各種食料品小売業	68	54	48	40	23	33	22	20	22	7	24	19
酒・調味料小売業 1)	80	79	84	79	75	67	66	44	44	3	42	29
食肉小売業	8	6	8	7	5	4	1	3	2	1	3	3
鮮魚小売業	21	19	22	19	18	18	13	12	9	1	9	5
乾物小売業 1)	3	2	5	2	1	0	-	-	-	-	-	-
野菜・果実小売業	26	23	28	23	26	19	19	14	16	1	17	9
菓子・パン小売業	77	62	70	67	46	42	40	38	36	3	31	18
米穀類小売業	15	12	15	15	10	7	10	6	5	1	2	-
その他の飲食料品小売業	42	41	60	70	71	58	51	70	68	4	69	43
自動車小売業	36	30	39	47	44	53	54	47	55	6	58	51
自転車小売業	25	25	28	22	14	12	10	9	7	-	6	8
家具・建具・畳小売業	50	43	38	38	33	29	25	23	23	-	18	14
金物・荒物小売業 1)	24	20	26	15	15	13	12	-	-	-	-	-
陶磁器・ガラス器小売業 1)	9	7	10	6	3	8	7	-	-	-	-	-
機械器具小売業	62	52	57	51	51	47	48	49	48	-	40	30
じゅう器小売業	5	4	1	1	3	2	1	24	18	1	18	11
医薬品・化粧品小売業	53	38	58	56	58	64	64	67	73	-	61	48
農耕用品小売業	17	16	16	12	9	10	16	13	10	2	15	7
燃料小売業	32	32	37	43	43	48	50	46	43	3	54	41
書籍・文房具小売業	40	38	43	38	39	34	35	25	23	1	23	14
スポーツ用品・がん具小売業 2)	10	5	4	4	5	31	27	30	25	-	22	10
その他の小売業	175	164	158	162	164	150	167	134	118	2	127	97

【資料】「商業統計調査」経済産業省、「経済センサス-活動調査」(H23のみ)総務省

【注】平成16年以前の数値には、旧関金町を含まない。

1) 平成14年から乾物小売業、調味料小売業はその他飲食料小売業へ、金物・荒物小売業、陶磁器・ガラス器小売業はじゅう器小売業へ分類。

2) スポーツ用品・がん具小売業の欄の昭和57年から平成6年までの欄は、中古品小売業の数字。

商業(卸売、小売別)従業者数の推移

単位:人

区分	昭和57年	昭和60年	昭和63年	平成3年	平成6年	平成9年	平成11年	平成14年	平成16年		平成19年	平成23年
									(倉吉市)	(旧関金町)		
総計	5,944	5,082	5,608	5,742	5,669	6,198	6,161	5,886	5,072	144	5,242	3,729
卸売業計	1,676	1,442	1,606	1,735	1,631	1,847	1,512	1,390	1,190	2	1,060	795
各種商品卸売業	-	x	-	-	x	x	-	-	-	-	-	14
繊維・衣服等卸売業	x	x	x	x	x	x	19	27	43	-	15	37
飲食料品卸売業	502	450	523	565	521	595	476	380	303	2	276	261
建築材料卸売業	392	273	303	394	293	368	322	318	224	-	210	99
化学製品卸売業	x	x	x	x	19	x	39	12	47	-	29	25
鉱物・金属材料卸売業	82	81	60	32	42	40	43	38	42	-	31	28
再生資源卸売業	x	x	x	x	45	x	48	49	33	-	37	33
機械器具卸売業	256	183	253	264	273	307	258	244	270	-	231	112
その他の卸売業	x	x	x	361	348	388	307	322	228	-	231	186
小売業計	4,268	3,640	4,002	4,007	4,038	4,351	4,649	4,496	3,882	142	4,182	2,934
各種商品小売業	225	212	x	x	214	172	213	201	129	-	69	-
呉服・服地・寝具小売業	221	157	143	134	134	115	80	73	77	-	81	30
男子服小売業	91	81	72	76	69	71	60	64	48	-	42	24
婦人・子供服小売業	234	160	264	317	280	243	248	216	202	6	175	135
靴・履物小売業	53	51	45	47	47	41	37	29	33	2	24	17
その他の身の回り品小売	80	142	x	51	59	96	73	54	64	-	75	25
各種食料品小売業	383	308	443	329	189	443	270	362	423	29	415	379
酒・調味料小売業 1)	167	161	183	183	180	149	166	109	111	4	103	67
食肉小売業	21	x	29	x	x	9	2	8	6	2	17	10
鮮魚小売業	55	51	51	41	37	36	23	24	16	2	16	8
乾物小売業 1)	7	x	16	x	x	x	-	-	-	-	-	-
野菜・果実小売業	62	50	51	66	x	45	44	30	44	2	47	35
菓子・パン小売業	134	111	134	139	108	120	154	159	144	17	171	74
米穀類小売業	55	38	53	51	38	31	28	20	19	2	8	-
その他の飲食料品小売業	133	124	227	303	401	282	436	555	358	9	573	321
自動車小売業	337	286	334	365	355	400	402	340	361	26	389	369
自転車小売業	38	46	48	x	21	17	13	13	10	-	9	10
家具・建具・畳小売業	177	139	130	136	121	127	116	100	91	-	54	42
金物・荒物小売業 1)	68	55	82	44	40	28	28	-	-	-	-	-
陶磁器・ガラス器小売業 1)	x	x	x	x	14	x	17	-	-	-	-	-
機械器具小売業	245	193	214	187	220	207	221	218	211	-	195	138
じゅう器小売業	x	x	x	x	10	x	3	152	39	1	78	30
医薬品・化粧品小売業	238	191	153	159	281	355	347	349	327	-	290	248
農耕用品小売業	86	94	x	108	54	48	102	77	49	5	103	125
燃料小売業	244	218	232	242	245	271	294	257	245	15	323	188
書籍・文房具小売業	385	297	313	295	371	414	510	399	256	15	355	162
スポーツ用品・がん具小売業 2)	15	9	10	8	10	97	139	138	125	-	84	38
その他の小売業	466	421	x	481	457	491	623	549	494	5	486	459

【資料】「商業統計調査」経済産業省、「経済センサス活動調査」(H23のみ)総務省

【注】平成16年以前の数値には、旧関金町を含まない。

1) 平成14年から乾物小売業、調味料小売業はその他飲食料小売業へ、金物・荒物小売業、陶磁器・ガラス器小売業はじゅう器小売業へ分類。

2) スポーツ用品・がん具小売業の欄の昭和57年から平成6年までの欄は、中古品小売業の数字。



商業(卸売、小売別)年間商品販売額の推移

単位: 万円

区分	昭和57年	昭和60年	昭和63年	平成3年	平成6年	平成9年	平成11年	平成14年	平成16年		平成19年	平成23年 (百万円)
									(倉吉市)	(旧関金町)		
総計	13,710,385	12,808,967	15,030,960	17,896,415	18,756,252	20,548,296	15,649,900	13,093,892	12,612,521	191,580	11,853,802	90,186
卸売業計	8,051,780	7,853,594	8,848,946	10,916,808	11,596,614	12,545,221	7,654,800	6,056,550	5,809,642	x	4,937,169	35,473
各種商品卸売業	-	x	-	-	x	x	-	-	-	-	-	x
繊維・衣服等卸売業	x	x	x	x	x	x	x	32,401	x	-	42,855	x
飲食料品卸売業	4,543,810	4,734,494	4,857,715	5,092,106	5,378,550	5,841,733	2,921,400	1,848,587	1,649,254	x	1,349,343	8,996
建築材料卸売業	1,209,246	752,013	1,145,250	2,304,002	1,832,378	2,195,000	1,831,900	1,582,367	1,274,156	-	1,137,395	5,376
化学製品卸売業	x	x	x	x	73,150	x	128,400	x	x	-	107,787	x
鉱物・金属材料卸売業	423,777	534,761	540,361	155,915	573,349	513,443	x	158,684	256,382	-	173,796	x
再生資源卸売業	53,638	x	x	x	51,146	x	x	x	x	-	69,028	670
機械器具卸売業	841,382	517,011	723,021	1,021,050	1,143,742	1,121,743	1,073,100	978,887	1,025,827	-	938,576	3,598
その他の卸売業	x	x	x	2,067,746	1,505,228	1,147,893	x	1,373,074	1,248,312	-	1,118,389	12,702
小売業計	5,658,605	4,955,373	6,182,014	6,979,607	7,159,638	8,003,075	7,995,100	7,037,342	6,802,879	x	6,916,633	54,713
各種商品小売業	667,204	344,670	x	x	541,748	484,661	404,600	324,191	274,147	-	2,978	-
呉服・服地・寝具小売業	200,086	144,371	183,510	158,828	146,822	155,656	91,300	87,041	100,512	-	125,549	308
男子服小売業	70,928	68,219	84,297	112,034	101,609	137,162	95,200	85,225	69,260	-	59,435	302
婦人・子供服小売業	221,803	143,063	395,464	481,071	520,505	397,146	395,600	333,303	280,867	x	251,084	3,370
靴・履物小売業	46,052	54,957	57,937	64,672	64,782	68,654	53,800	49,122	42,509	-	40,175	x
その他の身の回り品小売業	52,107	244,981	x	62,456	89,299	172,631	117,900	73,884	87,201	-	88,808	x
各種食料品小売業	897,926	901,391	1,106,993	1,193,259	532,222	1,376,854	891,400	960,559	1,101,650	54,319	961,496	9,095
酒・調味料小売業 1)	191,747	217,197	237,170	257,277	268,524	341,695	353,300	221,307	259,871	6,375	200,935	1,017
食肉小売業	27,278	x	29,698	x	x	8,470	x	30,664	x	x	10,224	100
鮮魚小売業	35,562	48,578	53,237	34,193	36,226	45,441	23,200	25,293	12,032	x	9,664	x
乾物小売業 1)	9,883	x	6,397	x	x	0	-	-	-	-	-	-
野菜・果実小売業	34,309	30,751	27,825	69,784	x	37,994	53,000	27,529	46,946	x	65,468	483
菓子・パン小売業	62,395	82,961	100,932	114,934	125,722	87,176	137,400	105,285	99,403	10,271	122,494	434
米穀類小売業	101,733	64,091	100,451	112,048	93,261	71,301	59,500	39,527	x	x	x	-
その他の飲食料品小売業	109,130	95,123	194,434	296,144	863,817	297,386	x	705,576	389,186	4,475	709,784	x
自動車小売業	700,143	542,305	816,075	975,710	901,971	1,071,723	1,044,800	843,678	896,886	x	806,545	6,936
自転車小売業	12,593	16,993	31,184	x	9,633	5,848	3,700	3,373	2,942	-	3,309	17
家具・建具・畳小売業	190,438	128,142	161,908	189,236	184,311	205,176	176,400	128,994	144,755	-	80,130	414
金物・荒物小売業 1)	65,507	48,507	138,845	77,061	50,798	29,812	30,700	-	-	-	-	-
陶磁器・ガラス器小売業 1)	x	x	x	x	29,950	x	x	-	-	-	-	-
機械器具小売業	283,829	264,744	380,694	356,366	514,685	446,363	551,200	440,814	545,034	-	550,909	4,694
じゅう器小売業	x	x	x	x	12,288	x	x	291,387	30,221	x	46,069	140
医薬品・化粧品小売業	136,320	98,908	192,760	209,805	234,184	350,072	403,500	500,900	514,359	-	519,928	5,135
農耕用品小売業	151,277	166,377	x	179,510	116,971	120,881	210,600	109,980	104,712	x	236,724	x
燃料小売業	730,955	639,352	579,631	629,123	671,919	700,787	622,500	687,950	607,208	x	963,088	7,078
書籍・文房具小売業	121,889	153,651	187,263	145,263	298,822	280,618	303,900	190,423	173,561	x	190,150	1,482
スポーツ用品・がん具小売業 2)	8,326	3,353	4,100	4,920	4,740	177,840	189,200	225,285	204,113	-	117,075	582
その他の小売業	488,572	408,052	x	700,253	668,609	877,727	882,300	546,052	x	x	x	x

【資料】「商業統計調査」経済産業省、「経済センサス-活動調査」(H23のみ)総務省

【注】①平成16年以前の数値には、旧関金町を含まない。

②平成23年は「経済センサス-活動調査」の数値を用いているため単位が百万円。

1) 平成14年から乾物小売業、調味料小売業はその他飲食料小売業へ、金物・荒物小売業、陶磁器・ガラス器小売業はじゅう器小売業へ分類。

2) スポーツ用品・がん具小売業の欄の昭和57年から平成6年までの欄は、中古品小売業の数字。

商業(卸売、小売別)商品手持額の推移

単位:万円

区分	昭和57年	昭和60年	昭和63年	平成3年	平成6年	平成9年	平成11年	平成14年	平成16年		平成19年	平成23年 (百万円)
									(倉吉市)	(旧関金町)		
総計	1,355,035	1,147,141	1,193,833	1,374,839	1,336,054	1,456,489	-	1,138,409	-	-	1,006,823	9,324
卸売業計	513,581	465,027	413,560	462,659	409,284	445,047	-	326,196	-	-	378,273	2,093
各種商品卸売業	-	x	-	-	x	x	-	-	-	-	-	x
繊維・衣服等卸売業	x	x	x	x	x	x	-	5,913	-	-	7,006	x
飲食料品卸売業	114,771	116,300	107,876	113,064	96,984	135,250	-	102,656	-	-	68,317	728
建築材料卸売業	144,362	91,637	72,935	94,866	75,129	98,626	-	57,829	-	-	40,237	107
化学製品卸売業	x	x	x	x	8,413	x	-	x	-	-	12,460	x
鉱物・金属材料卸売業	33,117	26,593	15,827	11,564	16,192	13,015	-	7,800	-	-	11,458	x
再生資源卸売業	4,983	x	x	x	2,305	x	-	x	-	-	2,622	x
機械器具卸売業	60,298	31,307	78,002	80,403	73,971	74,629	-	87,310	-	-	179,748	108
その他の卸売業	x	x	x	103,741	124,324	98,793	-	60,559	-	-	56,425	513
小売業計	841,454	682,114	780,278	912,180	926,770	1,011,442	-	812,213	-	-	628,550	7,232
各種商品小売業	88,470	82,749	x	x	60,272	63,229	-	40,050	-	-	41	-
呉服・服地・寝具小売業	71,997	48,466	55,522	44,975	40,623	33,744	-	34,446	-	-	20,328	64
男子服小売業	24,160	26,728	22,822	33,263	30,531	39,265	-	26,821	-	-	15,175	76
婦人・子供服小売業	78,986	30,294	93,223	122,615	119,939	100,407	-	62,289	-	-	39,408	338
靴・履物小売業	13,786	12,813	15,856	19,348	21,155	19,466	-	11,139	-	-	8,359	x
その他の身の回り品小売業	16,922	64,531	x	21,151	22,706	26,053	-	9,681	-	-	20,223	x
各種食料品小売業	54,830	21,126	43,078	34,530	17,324	34,707	-	19,164	-	-	27,963	x
酒・調味料小売業 1)	19,694	17,783	17,633	23,641	22,780	34,388	-	25,003	-	-	23,908	144
食肉小売業	626	x	1,071	x	x	239	-	1,484	-	-	198	x
鮮魚小売業	553	1,905	253	512	545	1,126	-	312	-	-	103	x
乾物小売業 1)	1,008	x	1,227	x	x	0	-	-	-	-	-	-
野菜・果実小売業	1,555	1,473	1,888	2,859	x	3,870	-	619	-	-	957	3
菓子・パン小売業	3,703	3,497	5,094	4,362	3,305	2,610	-	2,440	-	-	7,877	13
米穀類小売業	5,563	1,903	3,637	5,188	5,734	1,693	-	1,948	-	-	x	-
その他の飲食料品小売業	4,054	4,161	10,690	18,306	22,266	10,435	-	20,272	-	-	28,393	x
自動車小売業	69,139	43,982	50,983	66,189	70,925	62,726	-	41,341	-	-	48,705	692
自転車小売業	2,325	2,422	2,936	x	2,747	1,230	-	913	-	-	1,940	14
家具・建具・畳小売業	58,194	41,587	53,449	55,985	47,342	51,758	-	37,340	-	-	27,774	141
金物・荒物小売業 1)	14,338	9,577	29,120	20,420	20,967	15,488	-	-	-	-	-	-
陶磁器・ガラス器小売業 1)	x	x	x	x	7,360	x	-	-	-	-	-	-
機械器具小売業	43,919	35,358	52,049	50,843	65,697	77,290	-	72,040	-	-	66,791	1,280
じゅう器小売業	x	x	x	x	2,910	x	-	86,568	-	-	7,769	19
医薬品・化粧品小売業	22,941	21,087	36,437	34,343	34,957	54,356	-	51,401	-	-	47,529	529
農耕用品小売業	44,792	34,669	x	36,910	38,253	32,292	-	31,192	-	-	25,482	x
燃料小売業	23,511	27,054	23,676	23,394	15,537	19,887	-	15,326	-	-	24,233	1,110
書籍・文房具小売業	25,594	31,249	33,616	22,254	56,125	85,926	-	34,791	-	-	32,102	293
スポーツ用品・がん具小売業 2)	4,726	1,850	3,000	5,700	7,000	53,812	-	54,514	-	-	28,162	200
その他の小売業	132,980	105,348	x	122,601	185,265	165,965	-	131,119	-	-	x	x

【資料】「商業統計調査」経済産業省、「経済センサス-活動調査」(H23のみ)総務省

【注】①平成16年以前の数値には、旧関金町を含まない。

②平成23年は「経済センサス-活動調査」の数値を用いているため単位が百万円。

1)平成14年から乾物小売業、調味料小売業はその他飲食料小売業へ、金物・荒物小売業、陶磁器・ガラス器小売業はじゅう器小売業へ分類。

2)スポーツ用品・がん具小売業の欄の昭和57年から平成6年までの欄は、中古品小売業の数字。

商業(卸売、小売別)売場面積の推移

単位:㎡

区分	昭和57年	昭和60年	昭和63年	平成3年	平成6年	平成9年	平成11年	平成14年	平成16年		平成19年	平成23年
									(倉吉市)	(旧関金町)		
総計	73,563	63,157	74,499	85,707	87,426	91,709	107,537	103,462	96,322	3,906	97,265	84,274
卸売業計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
各種商品卸売業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
繊維・衣服等卸売業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
飲食料品卸売業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建築材料卸売業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
化学製品卸売業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鉱物・金属材料卸売業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
再生資源卸売業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
機械器具卸売業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の卸売業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小売業計	73,563	63,157	74,499	85,707	87,426	91,709	107,537	103,462	96,322	3,906	97,265	84,274
各種商品小売業	14,883	7,353	x	x	9,535	9,260	9,488	10,245	7,106	-	50	-
呉服・服地・寝具小売業	4,140	2,742	2,518	3,405	3,196	2,955	1,999	1,981	2,210	-	2,604	936
男子服小売業	1,526	1,860	1,613	2,350	3,055	3,822	2,799	3,017	2,450	-	2,105	959
婦人・子供服小売業	5,971	2,978	7,270	11,482	11,935	7,907	10,264	8,861	6,662	x	6,533	6,184
靴・履物小売業	1,415	1,074	1,236	1,039	1,485	1,269	1,055	1,069	1,242	x	692	x
その他の身の回り品小売業	1,567	5,518	x	1,288	1,593	3,893	4,787	1,662	3,252	-	2,649	x
各種食料品小売業	8,151	7,620	11,384	10,666	4,807	12,921	9,037	8,350	11,739	1,395	11,751	10,391
酒・調味料小売業 1)	2,533	2,821	2,839	2,949	3,579	3,333	4,018	2,177	2,998	110	2,798	2,042
食肉小売業	157	x	158	x	x	283	x	341	x	x	93	110
鮮魚小売業	565	530	486	513	709	284	514	355	506	x	165	x
乾物小売業 1)	75	x	113	x	x	0	-	-	-	-	-	-
野菜・果実小売業	945	814	693	831	x	767	1,102	802	744	x	1,681	1,085
菓子・パン小売業	1,667	1,821	1,947	1,917	1,580	1,790	2,344	1,538	1,340	362	1,496	1,155
米穀類小売業	440	377	410	789	368	303	255	141	x	x	62	-
その他の飲食料品小売業	1,410	955	1,796	2,738	6,957	2,344	x	6,370	3,602	1,005	6,941	x
自動車小売業	-	-	-	-	1,029	1,609	1,324	1,067	1,366	-	2,520	2,153
自転車小売業	731	1,074	1,136	x	518	458	347	322	286	-	315	404
家具・建具・畳小売業	7,897	7,389	8,410	8,553	8,430	7,833	7,240	7,131	7,912	-	5,213	4,762
金物・荒物小売業 1)	2,098	1,132	3,965	1,917	1,562	1,694	2,023	-	-	-	-	-
陶磁器・ガラス器小売業 1)	x	x	x	x	468	x	x	-	-	-	-	-
機械器具小売業	3,599	3,155	3,928	5,126	6,592	3,802	5,048	5,009	4,987	-	6,219	6,962
じゅう器小売業	x	x	x	x	59	x	x	14,171	1,574	x	2,975	1,052
医薬品・化粧品小売業	1,998	1,516	2,205	2,691	2,609	3,923	4,473	3,847	4,293	-	4,703	6,328
農耕用品小売業	1,567	1,068	x	1,243	625	699	2,961	1,855	777	x	2,625	x
燃料小売業	208	1,111	336	414	483	356	224	413	134	-	192	222
書籍・文房具小売業	1,486	2,044	2,073	2,426	2,844	3,841	3,698	2,853	2,346	-	3,582	2,859
スポーツ用品・がん具小売業 2)	333	200	188	130	248	3,110	3,192	4,224	4,842	-	3,483	1,287
その他の小売業	7,251	7,311	x	6,904	11,803	12,199	21,719	15,661	x	x	25,818	x

【資料】「商業統計調査」経済産業省、「経済センサス-活動調査」(H23のみ)総務省

【注】平成16年以前の数値には、旧関金町を含まない。

1) 平成14年から乾物小売業、調味料小売業はその他飲食料小売業へ、金物・荒物小売業、陶磁器・ガラス器小売業はじゅう器小売業へ分類。

2) スポーツ用品・がん具小売業の欄の昭和57年から平成6年までの欄は、中古品小売業の数字。

上水道給水状況(各年4月1日～翌年3月31日)

単位:人、戸、%、m<sup>3</sup>

年度	給水人口	給水戸数	給水区域普及率	配水量	有収水量	1日最大配水量	1日平均配水量	1人1日最大配水量	1人1日平均配水量
平成16年度	43,471	17,624	99.4	7,102,470	6,237,429	27,270	19,459	627	448
17年度	43,525	17,642	99.5	7,018,978	6,196,419	23,658	19,230	546	444
18年度	42,880	17,780	99.6	6,773,897	5,966,353	22,037	18,559	514	433
19年度	42,520	17,618	99.6	6,572,894	5,735,742	21,442	17,959	504	422
20年度	42,332	17,833	99.6	6,438,284	5,521,923	21,113	17,639	499	417
21年度	42,227	17,710	99.6	6,270,398	5,385,487	19,506	17,179	462	407
22年度	41,929	17,731	99.6	6,635,782	5,558,253	24,732	18,180	590	434
23年度	41,667	17,836	99.6	6,321,424	5,347,400	20,392	17,272	489	415
24年度	41,494	17,958	99.8	6,153,546	5,260,774	19,978	16,859	481	406

【資料】水道局

簡易水道給水状況(各年4月1日～翌年3月31日)

単位:人、戸、%、m<sup>3</sup>

年度	給水人口	給水戸数	給水区域普及率	配水量	有収水量	1日最大配水量	1日平均配水量	1人1日最大配水量	1人1日平均配水量
平成16年度	2,857	823	92.3	366,792	271,477	1,129	1,005	395	352
(倉吉市)	3,897	1,112	97.6	541,283	497,445	2,377	1,483	610	381
(旧関金町)	6,703	1,940	95.5	898,713	761,622	3,138	2,462	469	368
17年度	6,660	1,929	96.1	863,621	730,623	3,482	2,366	524	356
18年度	6,532	1,926	97.3	837,560	689,056	3,516	2,288	538	350
19年度	6,399	1,916	97.4	836,042	671,611	3,251	2,291	508	358
20年度	6,274	2,153	96.9	919,623	667,438	3,524	2,520	562	402
21年度	6,168	2,168	96.9	953,054	671,642	3,908	2,611	634	423
22年度	6,097	2,169	97.2	1,011,575	643,516	3,645	2,737	598	449
23年度	6,015	2,160	97.2	959,694	630,134	3,740	2,629	622	437
24年度									

【資料】水道局 【注】平成16年以前の数値には、旧関金町を含まない。

下水道の普及状況(各年4月1日～翌年3月31日)

単位:ha、世帯、%、人

年度	供用開始面積	供用開始世帯数			住民基本台帳人口(3月末)(c)	水洗化人口			
		処理可能区域(a)	水洗化済(b)	水洗化率(b)/(a)		処理可能区域(d)	人口普及率(d)/(c)	水洗化済(e)	水洗化率(e)/(d)
平成16年度	934.50	13,170	9,796	74.4	52,799	34,938	66.2	29,024	83.1
(倉吉市)	102.70	961	773	80.4					
(旧関金町)	1,058.70	14,256	10,993	77.1	52,569	35,214	67.0	29,962	85.1
17年度	1,090.20	14,708	11,109	77.1	51,974	35,838	67.0	29,973	85.1
18年度	1,105.60	14,924	11,403	76.4	51,487	36,474	70.8	30,703	84.2
19年度	1,117.90	15,113	11,658	77.1	51,124	36,470	71.3	31,043	85.1
20年度	1,123.60	15,250	11,862	77.8	50,830	36,445	71.7	31,127	85.4
21年度	1,134.50	15,421	11,998	77.8	50,436	36,422	72.2	31,094	85.3
22年度	1,145.20	15,647	12,223	78.1	50,080	36,734	73.4	31,054	84.5
23年度	1,153.40	15,767	12,482	79.2	49,926	36,857	73.8	31,130	84.5
24年度									

【資料】下水道課 【注】平成16年以前の数値には、旧関金町を含まない。

住宅の種類・所有関係別住宅数

単位：戸、世帯、人、室、畳、㎡

住宅の種類 住宅の所有	住宅数			世帯数			世帯人員			1住宅当たり 居室数			1住宅当たり 居室の畳数			1住宅当たり 延べ面積			1人当たり 居室の畳数			1室当たり 人員		
	平成10年	平成15年	平成20年	平成10年	平成15年	平成20年	平成10年	平成15年	平成20年	平成10年	平成15年	平成20年	平成10年	平成15年	平成20年	平成10年	平成15年	平成20年	平成10年	平成15年	平成20年	平成10年	平成15年	平成20年
総数	15,660	16,520	17,590	15,710	16,610	17,630	47,390	48,060	48,510	6	6	6	37	41	40	118	128	126	12	14	14	1	0	0
うち持ち家	10,440	11,880	12,230	10,460	11,910	12,260	35,690	37,640	37,110	7	7	7	45	49	47	150	156	154	13	15	16	0	0	0
うち借家	5,110	4,600	5,220	5,140	4,660	5,240	11,510	10,380	11,220	4	3	4	20	20	22	53	55	61	9	9	10	1	1	1
専用住宅	14,870	15,760	16,930	14,920	15,840	16,980	45,050	45,820	46,220	6	6	6	37	41	40	116	127	124	12	14	14	1	0	0
うち持ち家	9,800	11,220	11,650	9,810	11,250	11,680	33,640	35,620	35,020	7	7	7	45	49	47	149	156	153	13	15	16	0	0	0
うち借家	4,980	4,500	5,140	5,010	4,550	5,160	11,220	10,160	11,020	3	3	3	20	20	22	51	54	60	9	9	10	1	1	1
農業漁業併用住宅	20	-	-	20	-	-	80	-	-	9	-	-	53	-	-	169	-	-	11	-	-	1	-	-
うち持ち家	20	-	-	20	-	-	80	-	-	9	-	-	53	-	-	169	-	-	11	-	-	1	-	-
うち借家	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
店舗等の併用住宅	770	760	650	770	760	650	2,270	2,240	2,290	6	6	6	38	44	45	161	155	178	13	15	13	1	0	1
うち持ち家	630	660	580	630	660	580	1,970	2,020	2,090	6	7	7	41	46	47	173	164	184	13	15	13	0	0	1
うち借家	130	100	70	130	100	70	290	230	200	4	4	5	25	34	34	101	95	133	11	16	13	1	1	1

【資料】「住宅・土地統計調査」総務省

【注】平成15年以前の数値には、旧関金町を含まない。

ごみの量・資源ごみの量

単位：t

年度	可燃ごみ		びん・缶類				不燃物		可燃性粗大		不燃性粗大		再生資源									
	家庭系	事業系	家庭系		事業系		家庭系	事業系	家庭系	事業系	家庭系	事業系	家庭系						事業系 4)		廃食用油 3)	
			缶	びん 1)	缶	びん 2)							新聞紙	雑誌	段ボール	牛乳パック	古着	発泡スチロール	ペットボトル	古紙類		食品リサイクル
平成16年度	9,937.1	6,355.8	164.3	384.5	31.0	64.4	358.8	245.5	134.9	333.3	202.7	168.0	741.1	422.9	210.5	11.3	74.0	12.3	37.3	-	-	-
(倉吉市)	9,480.8	6,132.1	161.8	360.9	30.2	64.4	332.0	237.8	128.6	326.5	186.4	163.9	704.7	396.5	199.0	10.9	69.0	11.4	35.0	-	-	-
(関金町)	456.3	223.7	2.5	23.6	0.8	0.0	26.8	7.7	6.3	6.8	16.3	4.1	36.4	26.4	11.5	0.4	5.0	0.9	2.3	-	-	-
17年度	9,605.8	6,172.9	166.7	380.3	27.1	91.3	329.4	149.8	113.8	345.3	172.5	213.8	752.5	432.3	208.8	11.2	71.1	12.0	45.4	-	-	-
18年度	9,419.0	5,726.3	168.9	358.9	19.8	74.7	324.6	108.6	116.0	321.9	174.3	214.1	779.8	433.6	207.5	10.3	70.6	11.8	45.7	-	-	-
19年度	9,094.6	5,477.5	143.0	355.4	16.7	54.9	301.5	96.6	123.1	317.8	128.7	118.4	766.2	428.9	210.4	10.6	71.0	12.2	48.8	-	-	22.4
20年度	8,858.0	5,227.0	127.0	296.5	13.6	66.0	297.9	112.6	109.2	224.0	109.2	138.5	658.8	386.4	191.3	9.7	69.6	11.2	47.4	-	-	22.2
21年度	8,824.6	5,170.0	124.4	304.9	13.9	64.1	280.6	131.6	118.0	256.5	102.7	126.5	618.5	357.2	184.4	8.7	67.5	10.8	45.1	2,225.0	109.0	27.8
22年度	8,522.6	4,998.9	132.1	306.3	9.3	62.6	280.3	122.9	117.0	256.4	81.4	90.6	540.4	315.3	168.3	7.8	66.6	10.6	46.1	2,578.3	112.0	26.3
23年度	8,762.5	5,108.2	137.7	332.6	7.1	48.2	285.5	143.0	136.7	279.5	89.7	84.4	482.8	288.4	147.8	6.7	72.5	10.3	43.9	2,724.0	89.0	27.1
24年度	8,640.9	5,214.2	123.4	312.1	5.6	50.9	295.0	166.3	126.1	333.0	88.5	68.7	448.9	266.8	140.9	5.8	70.5	10.0	45.0	2,519.0	93.0	30.1

【資料】環境課

【注】1) 平成16年1月から家庭系びんは分別収集することとした。

2) 平成16年度から事業系びんは分別収集することとした。

3) 平成19年度から廃食用油は分別収集することとした。

4) 平成21年度から事業系古紙類、食品リサイクルを算入。

市民税の課税状況(課税各年度7月1日現在)

単位:人、千円

年度	給与所得者		営業所得者		農業所得者		その他所得者		分離課税者		合計	
	人員	1人平均課税標準額	人員	1人平均課税標準額	人員	1人平均課税標準額	人員	1人平均課税標準額	人員	1人平均課税標準額	人員	1人平均課税標準額
平成17年度	16,931	1,576	1,000	1,849	167	1,566	2,076	965	181	6,328	20,355	1,570
18年度	16,902	1,570	933	1,859	159	1,420	3,469	1,000	192	5,446	21,655	1,524
19年度	16,814	1,558	904	1,957	185	1,206	3,442	964	194	6,007	21,539	1,517
20年度	16,617	1,550	865	2,055	195	1,333	3,299	993	149	6,132	21,125	1,514
21年度	16,326	1,533	803	1,989	187	1,547	3,234	946	87	7,387	20,637	1,484
22年度	15,570	1,481	800	1,744	153	1,404	3,287	898	94	7,730	19,904	1,425
23年度	15,639	1,482	788	1,807	206	1,688	3,332	905	88	5,529	20,053	1,420
24年度	15,806	1,559	755	2,060	186	1,857	3,384	894	75	5,618	20,206	1,484
25年度	15,690	1,547	724	1,934	209	1,547	3,330	873	88	5,152	20,041	1,465

【資料】 税務課

市税等の状況

単位:千円、%

区分	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
	賦課額	収納率	賦課額	収納率	賦課額	収納率	賦課額	収納率	賦課額	収納率	賦課額	収納率	賦課額	収納率	賦課額	収納率
市民税個人	1,487,812	94.0	1,589,157	94.4	2,017,337	94.8	2,039,756	94.4	1,986,748	94.2	1,835,692	94.4	1,821,127	95.1	1,885,062	96.0
市民税法人	705,277	98.7	676,874	98.6	574,755	98.3	734,085	98.5	426,673	96.6	636,431	97.6	643,809	97.5	544,706	97.3
固定資産税	3,447,483	90.4	3,362,835	90.0	3,460,852	89.7	3,552,702	89.1	3,435,997	89.7	3,362,108	89.6	3,306,043	90.4	3,093,469	90.3
固定資産税交納付金	27,771	100.0	28,699	100.0	26,522	100.0	23,040	100.0	24,108	100.0	24,304	100.0	24,183	100.0	23,382	100.0
特別土地保有税	1,395	0.0	1,395	0.0	1,395	0.0	1,395	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
軽自動車税	126,577	93.7	130,085	92.7	133,321	91.8	135,256	91.2	138,289	92.0	137,911	92.9	137,733	93.7	139,242	94.4
市たばこ税	348,186	100.0	348,060	100.0	339,578	100.0	298,174	100.0	280,950	100.0	289,038	100.0	348,660	100.0	340,928	100.0
都市計画税	284,333	90.2	276,584	89.8	284,220	89.5	289,696	88.9	282,762	89.6	279,891	89.6	150,122	84.4	138,130	85.0
国民健康保険料(税)一般	1,343,038	80.2	1,268,676	78.9	1,263,902	77.4	1,136,868	74.8	1,125,271	75.0	1,210,758	77.1	1,247,712	76.6	1,302,639	79.4
国民健康保険料(税)退職	274,538	83.2	338,817	85.9	356,206	86.3	150,769	68.3	141,998	67.0	165,261	71.3	130,114	94.4	143,264	94.9
入湯税	4,605	70.7	4,603	67.0	4,916	70.1	4,134	64.9	3,806	70.7	3,440	68.7	3,291	64.9	3,252	66.2

【資料】 税務課、医療保険課

【注】 ①各年度の賦課額及び収納率には、当該年度分のほか、繰越分を含む。

②国民健康保険料・入湯税は各年度3月31日現在、市税は、次年度の5月31日現在で示す。

小学校概況(各年5月1日現在)

単位:人

区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
学校数(校)	14	14	16	16	16	16	16	16	16	15	15
うち本校	12	12	14	14	14	14	14	14	14	14	14
うち分校	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1
学級数(総数)	135	134	152	151	147	150	147	147	148	150	151
うち単式	113	114	128	126	117	120	117	117	121	119	120
うち複式	-	-	-	-	3	1	-	-	-	-	-
うち特別支援	22	20	24	25	27	29	30	30	27	31	31
児童数(総数)	2,803	2,744	2,945	2,902	2,832	2,771	2,707	2,636	2,594	2,535	2,528
うち男	1,403	1,388	1,508	1,508	1,483	1,460	1,425	1,365	1,334	1,279	1,293
うち女	1,400	1,356	1,437	1,394	1,349	1,311	1,282	1,271	1,260	1,256	1,235
第一学年(総数)	447	434	467	464	457	442	423	412	436	404	438
うち男	225	239	257	256	228	222	207	200	232	208	236
うち女	222	195	210	208	229	220	216	212	204	196	202
第二学年(総数)	453	445	463	479	466	460	437	418	409	436	402
うち男	213	221	254	265	261	230	220	206	197	231	206
うち女	240	224	209	214	205	230	217	212	212	205	196
第三学年(総数)	497	456	471	461	482	463	455	428	413	407	437
うち男	242	215	236	254	267	260	227	218	206	197	236
うち女	255	241	235	207	215	203	228	210	207	210	201
第四学年(総数)	461	494	505	469	460	486	460	453	430	408	411
うち男	235	240	242	239	253	266	258	229	220	201	196
うち女	226	254	263	230	207	220	202	224	210	207	215
第五学年(総数)	455	461	529	503	465	452	483	454	447	429	409
うち男	234	238	256	237	236	247	266	254	225	216	201
うち女	221	223	273	266	229	205	217	200	222	213	208
第六学年(総数)	490	454	510	526	502	468	449	471	459	451	431
うち男	254	235	263	257	238	235	247	258	254	226	218
うち女	236	219	247	269	264	233	202	213	205	225	213
教員数(総数)	225	228	246	239	243	238	235	237	234	240	240
うち男	84	83	99	93	94	101	103	101	102	101	102
うち女	141	145	147	146	149	137	132	136	132	139	138
1教員当たり児童数	12.5	12.0	12.0	12.1	11.7	11.6	11.5	11.1	11.1	10.6	10.5
1学級当たり児童数	20.8	20.5	19.4	19.2	19.3	18.5	18.4	17.9	17.5	16.9	16.7

【資料】「学校基本調査」文部科学省

【注】平成16年度以前の数値には、旧関金町を含まない。

中学校概況(各年5月1日現在)

単位:人

区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
学校数(校)	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5
うち本校	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5
うち分校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
学級数(総数)	54	55	62	61	57	59	59	57	56	58	55
うち単式	48	45	51	50	48	49	46	44	44	47	44
うち複式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
うち特別支援	6	10	11	11	9	10	13	13	12	11	11
生徒数(総数)	1,540	1,474	1,574	1,508	1,491	1,496	1,421	1,355	1,304	1,318	1,315
うち男	747	739	805	792	763	736	699	691	698	724	705
うち女	793	735	769	716	728	760	722	664	606	594	610
第一学年(総数)	510	483	487	503	508	491	436	429	440	445	426
うち男	244	258	257	258	249	232	219	238	241	244	217
うち女	266	225	230	245	259	259	217	191	199	201	209
第二学年(総数)	482	508	525	485	498	507	483	439	429	439	447
うち男	237	244	278	258	256	250	231	220	237	240	247
うち女	245	264	247	227	242	257	252	219	192	199	200
第三学年(総数)	548	483	562	520	485	498	502	487	435	434	442
うち男	266	237	270	276	258	254	249	233	220	240	241
うち女	282	246	292	244	227	244	253	254	215	194	201
教員数(総数)	114	119	131	130	126	124	125	123	122	122	115
うち男	73	75	85	84	81	77	78	76	77	73	70
うち女	41	44	46	46	45	47	47	47	45	49	45
1教員当たり生徒数	13.5	12.4	12.0	11.6	11.8	12.1	11.4	11.0	10.7	10.8	11.4
1学級当たり生徒数	28.5	26.8	25.4	24.7	26.2	25.4	24.1	23.8	23.3	22.7	23.9

【資料】「学校基本調査」文部科学省

【注】平成16年度以前の数値には、旧関金町を含まない。



### 年金等受給状況(各年3月31日)

年次	拠出年金		福祉年金		敬老年金	
	受給権者	年金額	受給権者	年金額	受給権者	年金額
平成15年	10,511 人	6,520,776 千円	40 人	15,942 千円	1 人	12 千円
16年	10,755	6,672,665	33	12,382	1	0
17年	12,094	7,617,854	21	9,253	0	0
18年	12,381	7,897,757	20	7,369	0	0
19年	12,647	8,142,010	16	5,327	0	0
20年	12,755	8,289,226	11	3,298	0	0
21年	13,148	8,618,105	9	2,435	0	0
22年	14,006	9,397,202	8	1,217	0	0
23年	14,119	9,397,202	3	808	0	0
24年	14,338	9,737,318	2	806	0	0
25年	14,801	10,100,414	0	0	0	0

【資料】 市民課

【注】 平成16年以前の数値には、旧関金町を含まない。

### 国民健康保険の概要(各年4月～翌年3月)

年度	被保険者		療養医療費		保険料・税(本算定)		国保補助金
	世帯数	被保険者数	件数	費用額	1世帯当たり	被保険者1人当たり	
平成14年度	9,796 世帯	18,391 人	306,408 件	7,248,622 千円	136,010 円	72,285 円	1,573,069 千円
15年度	10,107	18,962	331,714	7,854,346	127,452	67,857	1,550,143
16年度	11,161	20,965	365,381	8,728,386	119,195	63,338	1,763,146
17年度	11,331	21,122	373,251	9,167,104	109,871	58,579	1,885,694
18年度	11,543	21,143	379,262	9,307,798	106,659	57,929	1,926,396
19年度	11,564	20,941	373,897	9,284,096	107,115	58,710	1,899,979
20年度	8,708	14,721	206,156	4,226,679	104,942	58,320	1,681,831
21年度	8,489	14,761	209,134	4,430,485	103,689	59,338	1,587,135
22年度	8,374	14,394	205,067	4,440,268	115,763	67,106	1,812,831
23年度	8,198	14,073	202,722	4,524,749	117,305	68,175	1,945,773
24年度	8,127	13,819	204,283	4,583,119	131,545	76,893	1,732,374

【資料】 医療保険課

【注】 ①平成16年以前の数値には、旧関金町を含まない。

②保険料・税は、平成19年度以前は医療保険分、平成20年度以降は医療保険分と後期高齢者支援金分を合算した数値である。

**医療施設の状況(各年12月31日現在)**

年次	病院数	病床数					一般診療所		歯科		施術所数
		総数	一般	療養型	精神	感染症	施設数	病床数	診療所数	技工所数	
17年	9	1,371	869	220	278	4	60	126	26	9	26
18年	9	1,371	869	220	278	4	60	126	27	9	28
19年	9	1,371	869	220	278	4	58	111	28	7	27
20年	9	1,355	853	220	278	4	58	111	26	7	27
21年	9	1,355	853	220	278	4	57	93	27	9	28
22年	9	1,355	853	220	278	4	57	93	26	7	25
23年	9	1,355	853	220	278	4	56	84	28	7	25
24年	9	1,355	853	220	278	4	54	84	29	7	26
25年	9	1,355	853	220	278	4	54	84	29	7	28

【資料】鳥取県中部総合事務所福祉保健局

**保育所・母子生活支援施設・助産施設の状況**

**(1)公立 (各年3月1日現在)**

年次	保育所				母子生活支援施設				助産施設(12/31現在)		
	施設数	定員	入所児童数	職員数(4/1現在)	設置数	定員世帯	入所世帯	入所人員	設置数	定員	措置人員
17年	12	805	691	166	-	-	-	-	1	25	2
18年	12	805	692	159	-	-	-	-	1	25	0
19年	11	805	672	157	-	-	-	-	1	25	0
20年	11	725	616	152	-	-	-	-	1	25	3
21年	11	725	617	137	-	-	-	-	1	25	0
22年	11	725	628	145	-	-	-	-	1	25	0
23年	11	725	646	153	-	-	-	-	1	25	0
24年	11	725	656	147	-	-	-	-	1	25	0
25年	11	725	666	145	-	-	-	-	1	25	0

**(2)私立 (各年3月1日現在)**

年次	保育所				母子生活支援施設				助産施設		
	施設数	定員	入所児童数	職員数(4/1現在)	設置数	定員世帯	入所世帯	入所人員	設置数	定員	措置人員
17年	13	1,065	1,232	248	2	50	50	143	-	-	-
18年	13	1,095	1,232	234	2	50	49	141	-	-	-
19年	13	1,125	1,240	277	2	50	48	139	-	-	-
20年	13	1,095	1,279	247	2	55	52	154	-	-	-
21年	13	1,095	1,278	204	2	55	51	149	-	-	-
22年	13	1,085	1,309	208	2	55	53	152	-	-	-
23年	13	1,085	1,292	204	2	55	51	147	-	-	-
24年	13	1,080	1,253	261	2	55	51	147	-	-	-
25年	15	1,104	1,293	274	2	55	46	130	-	-	-

【資料】子ども家庭課 【注】平成17年は、倉吉市と旧関金町を合算した数値である。

会計別当初予算状況

単位：千円

区分	平成16年度			平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	(倉吉市)	(旧関金町)	(一部事務組合)									
一般会計	22,392,106	4,148,136	67,466	23,059,976	24,654,848	24,343,171	23,843,239	24,453,619	26,385,137	26,675,528	26,030,590	26,557,360
国民健康保険事業	4,119,071	449,231	-	4,534,789	4,657,644	5,511,399	5,528,367	5,413,748	5,575,924	5,575,775	5,731,627	5,812,261
後期高齢者医療事業							574,078	531,657	519,442	522,102	533,311	536,281
介護保険事業	3,097,120	334,743	-	3,771,678	3,848,067	4,003,347	4,262,458	4,243,018	4,581,523	4,745,011	4,825,174	4,996,609
老人保健事業	5,259,760	638,482	-	6,071,112	5,960,234	6,111,313	507,676	38,883	31,952	19,345	2,464	-
簡易水道事業	111,316	87,389	-	191,631	236,190	219,436	220,694	228,872	230,886	238,351	245,556	214,066
温泉配湯事業	-	8,249	-	7,329	6,988	9,350	9,540	9,952	9,625	9,627	9,626	9,634
住宅資金貸付事業	152,365	7,218	-	134,450	116,922	95,299	89,754	114,544	69,606	79,130	64,395	55,956
高齢者・障害者住宅整備資金貸付事業	20,385	4,099	-	5,080	5,219	4,272	3,523	3,255	2,399	1,354	727	319
土地取得事業	54,003	-	-	54,003	54,000	54,000	26,000	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000
東中学校公園線沿道土地区画整理事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
河北土地区画整理事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
河北第二土地区画整理事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上井羽合線沿道土地区画整理事業	538,766	-	-	648,766	622,244	399,139	91,337	108,732	152,265	151,237	141,166	-
宅地造成事業	-	22,476	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下水道事業	3,298,956	379,100	-	3,443,163	3,599,531	3,275,133	4,655,126	4,458,356	3,144,992	3,156,241	3,103,855	2,949,283
駐車場事業	34,066	-	-	33,919	33,600	33,492	31,824	25,170	24,134	17,034	16,843	16,840
集落排水事業	949,067	230,934	-	1,099,208	674,939	762,016	602,798	649,800	623,408	621,740	610,027	596,986
高城財産区	3,120	-	-	3,152	3,201	5,240	10,074	9,790	21,713	17,414	17,043	44,583
小鴨財産区	654	-	-	755	538	1,070	2,038	5,108	5,495	4,731	4,672	3,522
北谷財産区	158	-	-	158	158	158	158	158	158	158	158	258
上北条財産区	32,708	-	-	31,654	30,594	29,529	28,572	26,397	26,624	23,474	22,473	21,618
国民宿舎事業	-	-	-	-	-	89,104	74,675	72,900	77,461	76,755	71,131	75,701
矢送財産区	-	632	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
水道事業会計	(収入)	1,037,170	-	1,030,970	1,005,964	949,042	907,969	894,583	877,385	854,055	844,869	856,305
	(支出)	955,980	-	977,471	933,258	930,252	891,152	865,845	861,281	843,469	834,380	797,333
国民宿舎事業会計 1)	(収入)	-	4,156	351,895	289,432	290,518	-	-	-	-	-	-
	(支出)	-	53,339	331,363	289,170	289,858	-	-	-	-	-	-

交付税額の推移

単位：千円

区分	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度 <sup>3)</sup>	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
交付税額	6,657,257	6,383,539	6,213,879	7,685,393	7,982,625	7,835,366	7,579,192	7,731,201	7,937,079	8,393,506	7,990,422	7,876,645
指数 <sup>2)</sup>	109.4	104.9	102.1	126.3	131.1	128.7	124.5	127.0	130.4	137.9	131.3	129.4
普通交付税	5,797,826	5,551,184	5,443,808	6,766,202	7,071,445	6,985,247	6,789,981	6,922,306	7,104,507	7,507,740	7,111,584	7,041,529
特別交付税	859,431	832,355	770,071	919,191	911,180	850,119	789,211	808,895	832,572	885,766	878,838	835,116
基準財政需要額 (A)	10,990,698	10,539,002	10,179,375	11,978,037	11,912,311	12,008,809	11,758,213	11,783,403	11,873,493	11,747,664	11,527,292	11,303,352
基準財政収入額 (B)	5,196,351	4,981,333	4,716,087	5,206,062	5,262,075	5,467,123	5,425,819	5,350,213	5,253,142	4,758,218	4,987,341	4,888,437
財政力指数 (B/A)	0.473	0.473	0.463	0.424	0.431	0.444	0.461	0.454	0.442	0.405	0.433	0.432

【資料】「倉吉市予算書」等 財政課

【注】1) 国民宿舎事業会計は、平成19年8月に法適用企業から法非適用企業となった。

2) 指数は平成10年度を100とする(平成10年度 交付税額 6,086,836千円)。

3) 平成16年度は、倉吉市、関金町、関金町倉吉市中学校組合を合わせて調整した数値。

歴代行政担当者(平成26年3月1日現在)

市長	氏名	任期
初代	早川 忠篤	S28.10.18 ~ S43.3.12
2代	小谷 善高	S43.4.26 ~ S57.2.19
3代	牧田 実夫	S57.4.11 ~ H2.4.10
4代	早川 芳忠	H2.4.11 ~ H14.4.10
5代	長谷川 稔	H14.4.11 ~ H22.4.10
6代	石田 耕太郎	H22.4.11 ~ 現在

副市長(助役)	氏名	任期
初代	森本 京蔵	S28.12.8 ~ S35.5.14
2代	梶山 正美	S35.6.16 ~ S39.6.15
3代	小林 正隆	S39.8.3 ~ S43.4.9
4代	山田 芳美	S43.10.16 ~ S50.10.6
5代	石田 稔	S50.12.23 ~ S54.6.29
6代	佐々木 早苗	S54.7.22 ~ S57.4.12
7代	池田 幸人	S57.4.24 ~ S61.4.23
8代	尾崎 八郎	S61.6.17 ~ H2.6.6
9代	健代 浩理	H2.7.23 ~ H6.6.30
10代	秋藤 宏之	H6.7.1 ~ H10.6.30
11代	柴田 一彦	H10.7.1 ~ H14.4.11
12代	岡崎 功	H14.4.23 ~ H16.3.31
13代	安木 睦夫	H16.6.21 ~ H19.6.30
14代	増井 壽雄	H19.12.17 ~ H21.10.8
15代	尾坂 英己	H22.7.1 ~ H25.3.31
16代	山崎 昌徳	H25.4.1 ~ 現在

収入役	氏名	任期
初代	中川 利夫	S28.12.8 ~ S30.12.31
2代	沖江 亀治	S31.1.1 ~ S38.12.31
3代	福井 忠利	S39.1.8 ~ S44.11.30
4代	石田 稔	S44.12.1 ~ S50.12.22
5代	佐々木 早苗	S50.12.23 ~ S54.7.21
6代	宍戸 春清	S54.7.22 ~ S60.8.15
7代	田民 義明	S61.1.1 ~ H1.12.31
8代	森 義男	H2.1.1 ~ H5.12.31
9代	福井 春光	H6.6.14 ~ H10.6.13
10代	松井 一郎	H10.6.19 ~ H14.4.11
11代	多賀 正樹	H14.12.13 ~ H17.12.31

教育長	氏名	任期
初代	浜辺 正規	S28.11.5 ~ S31.9.30
2代	尾崎 茂	S31.10.1 ~ S44.10.20
3代	福井 忠利	S44.12.1 ~ S46.11.10
4代	丸井 晴美	S46.12.28 ~ S50.10.2
5代	福井 達夫	S50.10.8 ~ S51.8.10
6代	福井 寛	S51.10.12 ~ S61.12.12
7代	小川 幸人	S61.12.27 ~ H7.10.2
8代	足羽 一昭	H7.10.3 ~ H13.3.31
9代	八田 洋太郎	H13.4.2 ~ H14.4.16
10代	福光 純一	H14.6.14 ~ H21.3.31
11代	福井 伸一郎	H21.4.1 ~ 現在

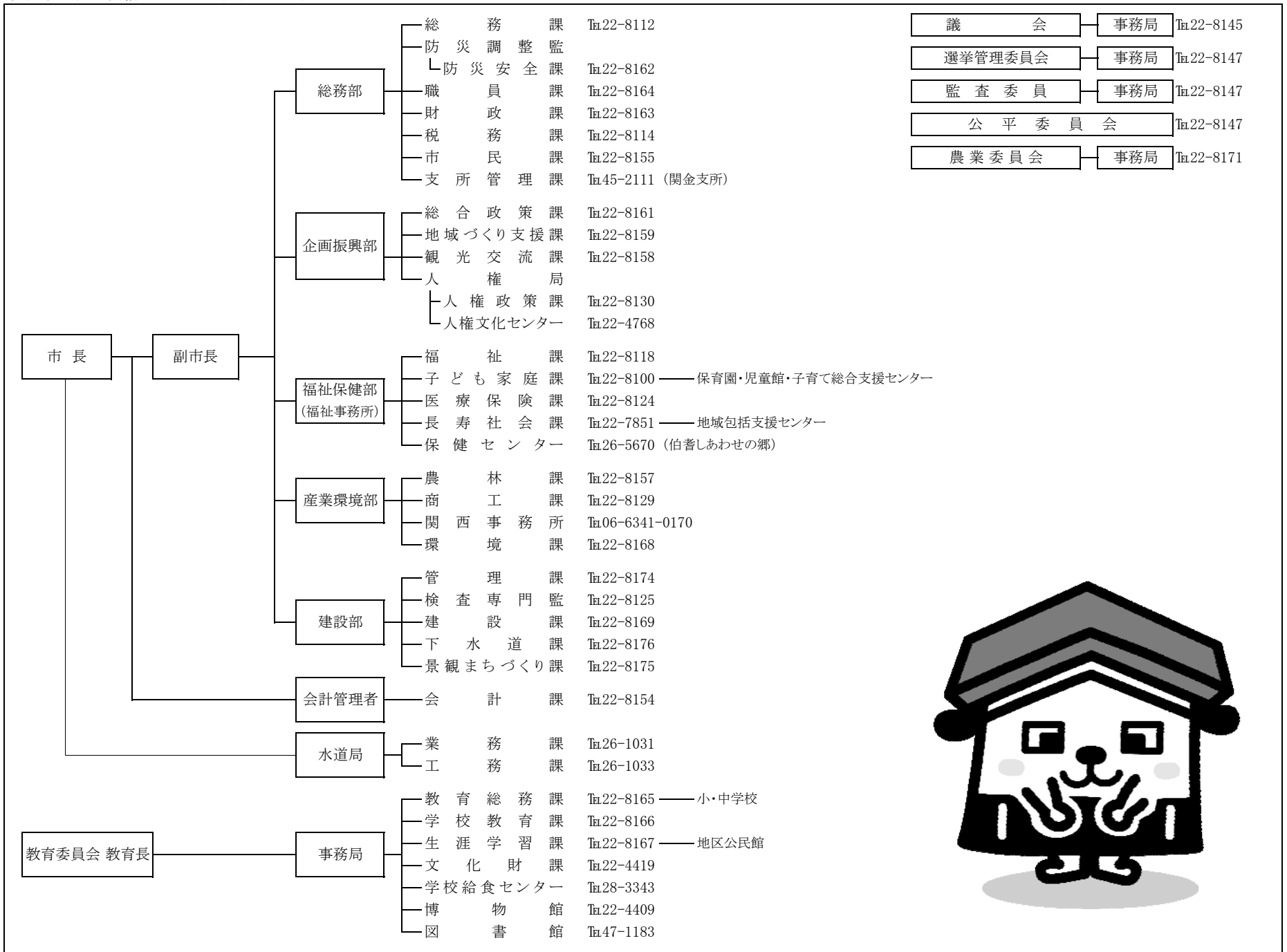
議長	氏名	任期
初代	倉繁 忠吉	S28.11.2 ~ S31.4.24
2代	伊藤 武夫	S31.4.24 ~ S36.9.28
3代	山本 寿雄	S36.10.25 ~ S38.12.11
4代	廣吉 収	S38.12.11 ~ S40.10.22
5代	牧田 実夫	S40.10.25 ~ S44.10.22
6代	野儀 久市	S44.10.23 ~ S48.10.22
7代	大橋 二郎	S48.10.23 ~ S54.9.10
8代	宮本 薫	S54.9.10 ~ S56.10.22
9代	清水 小弥太	S56.10.23 ~ H1.10.22
10代	八渡 吉永	H1.10.23 ~ H2.6.13
11代	矢野 英夫	H2.6.14 ~ H3.12.13
12代	山口 博	H3.12.13 ~ H5.10.22
13代	吉田 勤	H5.10.25 ~ H7.9.25
14代	吉田 忠良	H7.9.25 ~ H9.10.22
15代	杉原 義人	H9.10.23 ~ H12.3.10
16代	吉田 勤	H12.3.10 ~ H13.10.22
17代	松井 良孝	H13.10.23 ~ H14.5.21
18代	谷本 修一	H14.6.3 ~ H14.7.22
19代	福井 康夫	H14.7.22 ~ H15.9.11
20代	山口 博敬	H15.9.11 ~ H19.11.2
21代	段塚 廣文	H19.11.2 ~ H21.10.22
22代	福井 康夫	H21.10.23 ~ H23.9.21
23代	谷本 修一	H23.9.21 ~ H25.10.22
24代	由田 隆	H25.10.25 ~ 現在

副議長	氏名	任期
初代	伊藤 武夫	S28.11.2 ~ S31.4.24
2代	朝倉 米太郎	S31.7.2 ~ S32.10.22
3代	野儀 久市	S32.10.25 ~ S36.10.22
4代	牧田 実夫	S36.10.25 ~ S38.12.11
5代	駒井 喜久蔵	S38.12.11 ~ S40.10.22
6代	山脇 明	S40.10.26 ~ S44.1.28
7代	小谷 義雄	S44.2.3 ~ S44.10.22
8代	藤原 善夫	S44.10.23 ~ S48.10.22
9代	山口 博	S48.10.23 ~ S50.3.11
10代	駒井 喜久蔵	S50.3.11 ~ S52.10.22
11代	増田 昭	S52.10.24 ~ S54.3.7
12代	清水 小弥太	S54.3.7 ~ S56.10.22
13代	大嶋 巖	S56.10.23 ~ S58.9.24
14代	吉田 勤	S58.9.24 ~ S60.10.22
15代	藤原 栄喜	S60.10.26 ~ H1.10.22
16代	杉根 修	H1.10.23 ~ H3.3.18
17代	佐々木 敬	H3.3.18 ~ H3.12.13
18代	福田 勝頼	H3.12.13 ~ H5.10.22
19代	杉原 義人	H5.10.25 ~ H7.9.25
20代	熊谷 一男	H7.9.25 ~ H9.10.22
21代	福井 康夫	H9.10.23 ~ H11.9.21
22代	興治 英夫	H11.9.21 ~ H13.10.22
23代	福井 孝良	H13.10.23 ~ H14.6.3
24代	石田 政彦	H14.6.3 ~ H14.6.28
25代	山口 博敬	H14.7.22 ~ H15.9.11
26代	梓島 和江	H15.9.11 ~ H17.10.22
27代	段塚 廣文	H17.10.24 ~ H19.11.2
28代	坂井 徹	H19.11.2 ~ H21.10.22
29代	金光 隆	H21.10.23 ~ H23.9.21
30代	佐々木 敬敏	H23.9.21 ~ H25.10.22
31代	大田 進	H25.10.25 ~ H25.12.16
32代	鳥飼 幹男	H25.12.16 ~ 現在

★連続した複数任期の場合は一代としている。

【資料】 職員課、議会事務局

倉吉市の行政機構図(平成26年3月1日現在)



【資料】職員課

### 近隣の市町村勢一覧(1)

市町村	市町村役場			面積 (24.10.1) 1) (km <sup>2</sup> )	国勢調査 (22.10.1)			産業別15歳以上就業者数 (22年国勢調査) 2)				自然動態 (24年)		
	所在地	郵便番号	電話番号 (代表)		世帯数 (世帯)	人口 (人)	うち男 (人)	総数 (人)	第1次 産 業 (人)	第2次 産 業 (人)	第3次 産 業 (人)	出生 (人)	死亡 (人)	自然 増減 (人)
鳥取県	鳥取市東町 1-220	680-8570	0857-26-7111	3,507.31	211,964	588,667	280,701	287,332	26,791	62,777	182,150	4,823	7,077	△ 2,254
鳥取市	尚徳町116	680-8571	0857-22-8111	765.66	73,288	197,449	95,959	96,023	5,321	20,825	61,790	1,710	2,025	△ 315
米子市	加茂町1-1	683-8686	0859-22-7111	132.21	57,610	148,271	70,133	71,185	2,804	13,892	49,548	1,437	1,587	△ 150
倉吉市	葵町722	682-8611	0858-22-8111	272.15	18,266	50,720	23,732	24,326	2,678	5,383	15,578	409	659	△ 250
境港市	上道町3000	684-8501	0859-44-2111	28.82	12,870	35,259	16,906	16,709	700	4,363	11,176	279	441	△ 162
三朝町	大瀬999-2	682-0195	0858-43-1111	233.46	2,385	7,015	3,310	3,499	541	666	2,278	40	114	△ 74
湯梨浜町	久留19-1	682-0723	0858-35-3111	77.95	5,418	17,029	8,110	8,676	1,465	1,821	5,335	136	239	△ 103
琴浦町	徳万591-2	689-2392	0858-52-2111	139.92	5,834	18,531	8,683	9,432	2,023	2,281	4,959	125	282	△ 157
北栄町	由良宿423-1	689-2292	0858-37-3111	57.15	4,810	15,442	7,309	8,308	1,987	1,698	4,310	122	196	△ 74
岩美郡				122.38	3,982	12,362	5,824	5,675	709	1,666	3,209	81	192	△ 111
八頭郡				630.63	9,428	30,018	14,270	14,743	2,178	4,197	7,843	168	421	△ 253
東伯郡				508.48	18,447	58,017	27,412	29,915	6,016	6,466	16,882	423	831	△ 408
西伯郡				447.43	13,529	43,987	20,683	22,618	4,643	4,784	12,968	255	669	△ 414
日野郡				599.55	4,544	12,584	5,782	6,138	1,742	1,201	3,156	61	252	△ 191
資料出所	県地域振興課			国土交通省 国土地理院	総務省						県統計課			

【資料】 「平成25年版鳥取県勢要覧」 鳥取県統計課

【注】 1) 琴浦町と大山町は境界未定のため参考値。

2) 総数には、分類不能の産業を含む。

近隣の市町村勢一覧(2)

市町村	社会動態 (24年)			販売農家数 (22.2.1)		販売農家 における 農家人口 (22.2.1)	耕地面積 (24.7.15)			米 (水稻24年)		林野面積 (22.2.1)	労働力状態 (22年国勢調査)		事業所 (21.7.1)		
	転入 (人)	転出 (人)	社会増減 (人)	総数 (戸)	うち専業 (戸)		総数 (ha)	田 (ha)	畑 (ha)	作付面積 (ha)	収穫量 (t)		労働力 人口 (人)	労働力 率 (%)	事業所 (所)	従業者 (人)	
鳥取県	17,296	18,681	△ 1,385	21,474	4,569	88,181	35,000	23,800	11,200	14,000	73,800	257,806	305,358	61.8	27,961	239,720	
鳥取市	5,062	5,931	△ 869	5,033	888	21,127	7,080	5,530	1,550	3,450	18,300	54,561	101,913	62.4	9,815	88,118	
米子市	5,263	5,143	120	2,214	466	9,459	3,020	1,960	1,060	1,170	6,440	2,811	75,349	62.6	7,458	70,458	
倉吉市	1,563	1,630	△ 67	1,930	447	7,705	3,920	2,670	1,250	1,650	8,420	18,345	26,215	60.2	3,068	24,449	
境港市	1,412	1,366	46	125	49	447	389	65	324	21	98	46	17,771	59.7	1,573	14,060	
三朝町	167	230	△ 63	497	123	1,959	813	596	217	345	1,660	20,743	3,698	59.8	295	2,806	
湯梨浜町	551	537	14	869	196	3,672	1,320	735	587	465	2,440	3,952	9,213	63.3	619	3,896	
琴浦町	411	408	3	1,309	345	5,508	2,870	1,550	1,320	748	3,940	8,266	9,942	62.1	834	6,209	
北栄町	360	493	△ 133	1,058	306	4,465	2,220	896	1,320	591	3,090	1,429	8,775	65.8	625	4,391	
岩美郡	288	399	△ 111	526	97	2,058	884	788	96	496	2,640	9,942	6,192	57.2	448	3,100	
八頭郡	736	974	△ 238	2,214	426	9,204	2,701	2,135	563	1,316	6,841	56,120	15,862	60.2	1,095	6,326	
東伯郡	1,489	1,668	△ 179	3,733	970	15,604	7,223	3,777	3,444	2,149	11,130	34,390	31,628	63.2	2,373	17,302	
西伯郡	1,211	1,236	△ 25	4,041	784	16,624	7,083	4,537	2,543	2,456	13,422	29,118	23,973	62.2	1,502	12,652	
日野郡	272	334	△ 62	1,658	442	5,953	2,693	2,289	397	1,321	6,651	52,473	6,455	56.3	629	3,255	
資料出所	県統計課			農林水産省 1)						総務省 2)							

【資料】「平成25年版鳥取県勢要覧」鳥取県統計課

【注】 1) 単位未満の数値が四捨五入してあるため、計と内訳が一致しない場合がある。

2) 事業所については民営事業所数(事業内容等不詳を除く)。

### 近隣の市町村勢一覧(3)

市町村	商業(19.6.1)			市町村財政 (普通会計・23年度)			国民健康保険 (23年度)		水道 (24.3.31)		選挙人名簿登録者数 (25.6.2)		児童・生徒数 (25.5.1)		自動車 保有台数 (25.3.31) 1) (台)
	商店数 (店)	従業者 (人)	年間商品 販売額 (百万円)	歳入決算額 (百万円)	(うち) 市町村税 (百万円)	歳出 決算額 (百万円)	年度末被 保険者数 (人)	保険料(税) 調定額 (千円)	給水人口 (人)	普及率 (%)	総数 (人)	うち男 (人)	小学校 (人)	中学校 (人)	
鳥取県	7,770	50,030	1,348,156	296,494	66,997	287,897	150,976	16,857,299	577,011	97.5	480,934	226,826	31,109	16,418	453,283
鳥取市	2,545	17,746	514,098	91,324	23,883	88,989	47,765	5,811,033	192,423	98.7	157,559	74,984	10,786	5,470	144,811
米子市	2,048	15,215	438,958	57,292	18,214	56,404	36,985	4,223,792	149,410	99.6	120,703	56,498	8,317	4,573	112,038
倉吉市	933	5,242	118,538	27,591	5,978	26,983	13,843	1,377,826	48,236	95.9	40,940	18,996	2,528	1,315	40,172
境港市	540	3,526	132,811	15,133	3,745	14,638	8,857	1,012,917	35,233	97.5	29,335	14,043	1,808	1,024	26,994
三朝町	70	327	7,255	4,511	737	4,454	1,768	199,023	6,596	91.7	5,929	2,751	348	173	5,461
湯梨浜町	185	847	14,200	10,468	1,428	10,123	4,508	451,214	17,470	99.2	14,156	6,735	978	552	12,837
琴浦町	246	1,292	25,409	11,595	1,792	11,352	5,572	600,610	18,500	97.7	15,522	7,266	950	508	15,541
北栄町	185	894	18,379	8,249	1,351	7,968	4,897	493,840	15,844	99.6	12,963	6,131	831	410	14,059
岩美郡	100	376	5,987	6,151	1,018	6,032	3,417	375,362	12,467	—	10,529	4,954	592	316	9,437
八頭郡	340	1,490	18,433	20,878	2,300	19,978	7,996	815,125	27,855	—	25,543	12,091	1,327	750	23,871
東伯郡	686	3,360	65,243	34,823	5,308	33,898	16,745	1,744,687	58,410	—	48,570	22,883	3,107	1,643	47,898
西伯郡	393	2,439	44,024	29,641	4,881	28,231	12,221	1,213,499	43,010	—	36,873	17,360	2,216	1,080	37,178
日野郡	185	636	10,068	13,663	1,670	12,744	3,147	283,059	9,967	—	10,882	5,017	428	247	10,884
資料出所	経済産業省			県地域振興課			県医療指導課		県水・大気環境課		県選挙管理委員会		県統計課		鳥取陸運支局

【資料】「平成25年版鳥取県勢要覧」鳥取県統計課

【注】1) 軽二輪を除く。



年表(1)

西暦(年号)	おもなことから	社会のうごき
前5000～3000	▼無土器時代	▼県下で8個の銅鐸が発見された
前3000～2000	▼縄文文化時代(採集経済時代)▼新石器時代▼弥生文化時代(墳墓遺跡・かめ棺埋葬—原始農業時代)	▼小国分立から国家統一への時代
前2000～後600	▼弥生文化時代～古墳文化時代(大宮・国府・上神・三明寺・波々伎神社古墳などが築造された)▼大御堂をはじめ大原・石塚・藤井に寺が創建された	▼県下には十数カ所の廃寺跡がある ▼銀銭と銅銭の比価を定める
721(養老5)	▼長谷寺を建立したという	
757(天平頃)	▼伯耆国分寺を創建(旧社村)	
947(天曆元)	▼国分寺を焼失	
1185(文治元)	▼平家残党が河来見に隠れ住むとか	▼壇ノ浦の戦で平氏滅亡
1258(正嘉2)	▼東郷庄園中分絵図をつくる	
1333(元弘3)	▼上神直行など名和勢に加わる	▼鎌倉幕府滅ぶ
1341(暦応4)	▼山名時氏が因幡伯耆守護となり田内城をつくる	
1356(文和5)	▼山名師義が打吹城をつくる	
1524(大永4)	▼尼子軍乱入(5月崩れ)	
1544(天文13)	▼洪水(甲辰の水)で見日市・鹿首村などを流失	
1632(寛永9)	▼荒尾志摩守がきて、以後12代のあいだこの地を領有する	
1680(延宝8)	▼藩の銀札を濫発し困った	
1693(元禄6)	▼佐平が堺から稲こき千刃の製法を伝える	
1742(寛保2)	▼松岡布政が伯耆民談記を著す(この頃2郡・11郷・101村)▼源徳院浩禅が寺子屋を開くという	
1750(寛延3)	▼倉吉の大火(700戸を焼く)	
1751(寛延4)	▼茂島真意が寺子屋を開く	
1812(文化9)	▼大江盤代君の死(69歳)	
1836(天保7)	▼申歳の大がしん(市内の死者 1,600～1,700人)	▼因伯の死者は約20,000人
1852(嘉永5)	▼大阪木綿問屋(5人)と倉吉の木綿問屋(13人)が商業契約を結ぶ	
1853(嘉永6)	▼永井良平が倉吉緋を織りだす	▼ペリーがくる
1867(慶応3)	▼農兵に砲術のけいこを始める	▼大政奉還
1869(明治2)	▼藩校総学局倉吉分局を開く	▼関所を廃止
1871(明治4)	▼鍛冶町のちょんまげ騒動	▼戸籍法公布
1872(明治5)	▼大庄屋が郡長に、庄屋が村長になる▼倉吉郵便取扱所が設置される	▼東京～大阪に電信開通▼太陽暦採用▼徴兵公布
1873(明治6)	▼久米・河村・八橋郡役所をおく▼各地区に単位学校をつくる	▼紀元節制定
1876(明治9)	▼鳥取県を廃し、島根県に編入	▼はい刀禁止
1878(明治11)	▼郡区町村などできる(行制再編成)	▼自由民権論が盛んになる
1881(明治14)	▼久米河村農学校(1885県立)設立▼奨恵社設立▼鳥取県を再置	▼大日本農会設立
1883(明治16)	▼斉木製糸場できる	
1887(明治20)	▼倉吉融通会社設立▼久米河村二郡高等小学校設置▼東伯郡蚕糸同業組合創設	▼東京に電燈がつく
1888(明治21)	▼倉吉電信局開設	
1889(明治22)	▼倉吉町制を布く▼倉吉製糸会社設立	▼明治憲法公布▼東海道線開通
1892(明治25)	▼太一車の発明(水田除草機—発明者は中井太一郎)	
1893(明治26)	▼大洪水(死傷者 500人)	
1894(明治27)	▼私設消防団が公設消防団となる	▼日清戦争
1897(明治30)	▼倉吉緋同業組合設立▼河北高等小学校(のちの河北農)が設置される▼研志塾設置	▼新貨幣法実施
1903(明治36)	▼中江に小作人組合結成▼山陰線が上井駅まで開通する	▼全国の人口が 4,832万人となる
1904(明治37)	▼打吹公園をつくる(郡事業)	▼日露戦争勃発▼米価1石12円89銭
1906(明治39)	▼私立倉吉幼稚園設立	

## 年表(2)

西暦(年号)	おもなことから	社会のうごき
1907(明治40)	▼天神野耕地整理組合が発足	
1908(明治41)	▼倉吉女学校設置(1921県立)	
1909(明治42)	▼県立倉吉中学校創設	▼種痘法公布▼伊藤博文死去▼米価11円
1912(明治45)	▼倉吉線開通▼記念道路を計画	▼山陰線全通▼米価23円
1914(大正3)	▼倉吉実科高等女学校設置	▼第1次世界大戦
1920(大正9)	▼芸術団体(砂丘社)創立	▼第1回メーデー(東京)▼第1回国勢調査
1921(大正10)	▼倉吉にはじめて映画館誕生	
1922(大正11)	▼大谷公設運動場建設▼(中国オリンピック大会開く)	▼健康保険法公布
1927(昭和2)	▼地主による東伯土地株式会社創設▼東伯小作連合会を結成▼西郷小学校を全焼	
1928(昭和3)	▼厚生病院(産業組合営)設立	▼はじめての普通選挙実施▼満洲事変おこる
1932(昭和7)	▼倉吉町上水道設置	▼5・15事件
1935(昭和10)	▼社村耕地整理組合が発足	▼全国一斉に青年学校を開く▼支那事変おこる
1940(昭和15)	▼上灘小学校を全焼	▼生活必需品のキップ制▼大制翼賛会発足
1941(昭和16)	▼小学校が国民学校に変わる▼倉吉線を開金へ延長	▼日米戦争始まる
1943(昭和18)	▼鳥取大地震発生	
1944(昭和19)	▼日下村が上井町に▼学徒動員	▼17歳以上を兵役に
1945(昭和20)	▼岩倉に爆弾投下▼鳥取青年師範を上井に▼疎開者がふえる▼高城に飛行場を建設▼復員と引揚げ続く▼連合軍の姿がふえる▼自作農創設特別措置法実施▼倉吉商工会議所・東伯文化協会・労働組合誕生	▼広島に原子爆弾投下▼日本無条件降伏▼連合軍占領▼新円きりかえ▼教育勅語廃棄▼新憲法公布
1947(昭和22)	▼国民学校を小学校に▼倉吉東・倉吉西・久米・河北中学校設置▼小中学校にPTA▼母子寮設立▼初の県知事・市町村長・同議員の公選▼消防本部と消防署設置	▼教育基本法公布(6・3制実施)▼「大日本帝国」を「日本政府」に
1948(昭和23)	▼倉吉町自治警察署・町立養老院設置	▼国民の祝日きまる▼初の教育委員選挙
1949(昭和24)	▼青年師範を鳥取大学に加える	▼新制大学発足
1950(昭和25)	▼第15回中国四国連合会畜産共進会開く▼倉吉美術協会発足	▼千円札発行▼朝鮮戦争おこる▼衣料キップ制廃止
1951(昭和26)	▼倉吉町が小鴨村を合併▼各町村が公立保育園をつくる	▼サンフランシスコ講和条約に調印▼自治警察廃止
1952(昭和27)	▼倉吉町役場全焼▼倉吉町自治警察署を廃止▼第1種陸上競技場を完成▼天神野土地改良おわる	▼鳥取大火▼講和条約発効▼住民登録実施
1953(昭和28)	▼倉吉高等学校を倉吉東と倉吉西高にわけ▼倉吉農高から分離して河北農高を独立▼倉吉市制施行10月1日(倉吉町・上井町・西郷村・上北条村・社村・高城村・北谷村・上小鴨村・灘手村の一部 人口49,677人)▼市長・市議・教育委員の選挙▼校区ごとに公民館をおく	▼町村合併促進法施行▼NHKテレビ放送開始▼奄美大島返還▼スターリンソ連首相死去
1954(昭和29)	▼市章・市歌を制定▼市金庫を設置▼市自治連合会発足▼市営公益質屋を設置▼市社会福祉協議会発足▼上灘保育園完成▼市民生児童委員協議会発足▼市教育目標を決定▼市公民館連絡協議会を結成▼第1回市美術展開く▼倉吉物産作州展示会開く	
1955(昭和30)	▼市営火葬場新設▼倉吉電話中継所開設▼倉吉文化財協会発足▼組合立伝染病院設立▼国民健康保険全市実施▼灘手村を合併(人口52,734人)▼国鉄美伯線(倉吉～津山)開通▼各支所を廃止▼小鴨鉦山でウラン鉱石を発見▼市社会教育委員をおく▼第1回倉吉古美術展開く▼高城小学校校舎完成▼明倫小学校円型校舎完成▼市社会福祉協議会が小鴨保育園を開設▼市議増員・補欠選挙▼上井駅前土地区画整理事業完成	▼自由民主党結成▼青函連絡船「洞爺丸」沈没
1956(昭和31)	▼NHK倉吉放送局開設▼中部地方事務所を廃止▼県立保育専門学院開設▼財政再建計画きまる▼新教育委員任命▼倉吉市誌を刊行▼原子燃料公社倉吉出張所つまる▼市庁舎完成▼小学校全校に完全給食▼久米地区新農村建設事業始まる▼上井第1保育園完成▼消防団を3つ団に改める	▼売春防止法うまれる▼日本が国連に加盟する
1957(昭和32)	▼新農業委員選挙▼第12回県民体育大会開く▼第2回市長・市議選挙▼西中と河北中に完全給食▼新市町村建設審議会発足▼大鴨地区新農村建設事業始まる	▼東海村原子炉完成▼日本農民組合結成▼ソ連初の人工衛星打ち上げ成功
1958(昭和33)	▼清掃手数料徴収始まる▼ウラン節をつくる▼ブルドーザー購入▼上小鴨有線放送電話完成▼軽自動車税始まる▼納税貯蓄組合 218組に達する▼市社会教育目標つくる▼四王寺地区新農村建設事業始まる▼県営プール(河北中)完成▼市営と畜場完成▼大鴨簡易水道完成▼東中で完全給食▼河北小学校校舎完成▼市道の簡易舗装始まる▼商店に週休制実施▼全市で市政座談会開く▼新市建設計画基礎調査まとまる	

年表(3)

西暦(年号)	おもなことから	社会のうごき
1959(昭和34)	▼NHKテレビと日本海テレビ開局▼新市建設計画きまる▼皇太子ご成婚行事をおこなう▼玉川改修始まる▼消防庁舎完成▼河北地区新農村建設事業始まる▼久米ヶ原開発調査始まる▼NHK夏期移動相談開く▼成徳小学校に集団赤痢▼新養老院の完成▼伊勢湾台風の被害が10億円にのぼる▼希望の家開設	▼伊勢湾台風が各地に被害を及ぼす▼国民年金法施行▼ソ連月ロケット打ち上げ成功
1960(昭和35)	▼河北小学校体育館完成▼県立図書館倉吉分館完成会館▼河北中学校が組合立を解散し倉吉市立となる▼倉吉駅裏土地区画整理事業始まる▼農産加工工場誘致5月から操業▼上小鴨・北谷保育園完成▼農業委員選挙▼第13回中国高等学校陸上競技大会開催▼灘手簡易水道完成▼第15回県民体育大会開催▼第4回県青年大会開催▼上北条土地改良始まる	▼日米安保条約発効▼池田内閣誕生▼自治省発足▼浅沼社会党委員長が右翼に刺殺される▼岸首相暴漢に刺される
1961(昭和36)	▼市野球場建設始まる▼倉吉駅裏地区画整理審議会できる▼養老院増築完成▼国府橋完成▼全市で地域問題研究集会開催▼皆成学園校舎改築完成▼じんかい焼却場完成▼第3回市長・市議選挙	▼農業基本法制度▼米・キューバ断交▼ソ連有人衛星ボストーク1号地球一周
1962(昭和37)	▼大原に上水道を布設▼倉吉市開発公社を設立▼倉吉幼稚園改築完成▼西高・倉吉農高体育館完成▼高城地区に集団赤痢発生(患者 333人に達する)▼鉢屋川下水道工事完成▼低開発地域工業開発地区に指定される▼農業構造改善事業実施計画まとまる▼小鴨有線放送電話完成▼大鴨土地改良始まる▼小鴨保育園完成	▼南勝線が調査線となる▼県庁舎完成▼県経済連と中央農協連が合併▼堀江少年ヨット太平洋横断▼米国通信衛星テレビ中継に成功
1963(昭和38)	▼倉吉福祉会館完成2月から開館▼河北中学校校舎改築完成▼大塚橋完成▼西町商店街アーケード完成▼倉吉電報電話局局舎新築完成▼電話自動化▼八幡住宅団地造成おわる▼農業協同組合合併統合なる▼第2次建設計画きまる▼市制10周年記念名誉市民制度きまる▼国際陸上競技倉吉大会開催▼生竹橋完成	▼名神高速道路開通▼現職大臣邸焼打ち▼日本原水協核実験禁止協定締結
1964(昭和39)	▼灘手保育園完成▼伝票会計を実施▼国鉄南勝線が工事線にきまる▼集中豪雨(2,100戸浸水)沢井手水路改修始まる	▼ビール酒類自由販売▼新潟大地震▼東海道新幹線開通▼東京オリンピック大会開く▼佐藤内閣成立
1965(昭和40)	▼し尿処理場が完成▼天皇皇后両陛下ご来倉▼打吹公園遊歩道完成▼集中豪雨(680戸浸水)▼小鴨小学校改築始まる▼倉吉民謡みつばし盆唄復活▼都是ファンデーション工場にかわる▼第4回市長・市議選▼西郷小学校が全日本健康優良学校特選校に選ばれる▼消防庁舎2階増築工事完成(水道課移転)▼中部農業経済圏に指定される	▼日韓基本条約調印▼朝永振一郎氏ノーベル物理学賞受賞▼国鉄みどりの窓口設置▼松地地震発生
1966(昭和41)	▼上水道を東郷町へ分水▼高城保育園完成▼西郷土地改良始まる▼上北条土地改良事業完成▼打吹公園に花木園をつくる▼久米ヶ原開発に着手▼富海入口までバス開通▼高城山にキャンプ場できる▼皇太子美智子両殿下ご来倉▼日専連中国大会開催▼クレー射撃場新設▼市農業委員選挙	▼台風26号関東中部を襲い死者行方不明 314人▼全日空・カナダ航空・BOAC飛行機事故頻発▼「建国記念の日」を制定
1967(昭和42)	▼社小学校体育館完成▼倉吉東高新校舎完成▼上井駅前広場拡張計画まとまる▼竹田橋の拡張に着手▼農村開発推進協力を新設▼青少年育成倉吉市民会議結成▼打吹公園に展望台完成▼中部総合事務所新庁舎完成▼梨・桑に大被害(面積 128ha・被害額5千8百80万円)▼家庭児童相談室を新設▼倉吉電報電話局にパラボラアンテナ設置される▼大規模な倉吉変電所を建設▼第1回みつばし踊り市民大会開催▼市交通事故相談所を新設▼如来原～倉吉線・林道大山東部線に着工▼砂丘号上井駅まで延長運転▼農村集団自動電話が架設▼明倫・高城小学校プール完成▼全寮制倉吉農高が発足	▼羽田空港流血デモ事件▼日航世界一周営業開始▼ラジオ受信料廃止▼ユニバーシアード東京大会開く▼四日市ゼンソク公害訴訟▼吉田茂元首相死去に伴い戦後初の国葬
1968(昭和43)	▼倉吉商工会議所会館落成▼市長に小谷善高氏当選▼交通災害共済組合発足▼救急業務開始▼久米中・小鴨小・社小・北谷小プール完成▼小鴨小・明倫小・高城小・河北中各体育館完成▼倉吉郷土館開設▼小鴨橋に歩道橋完成▼国道 179号線立体交差橋完成▼組合立ゴミ処理場建設▼市制15周年記念事業実施(市花・市民憲章の制定など)▼倉吉線廃止反対運動始まる▼国民宿舎東大山せきがね荘完成	▼小笠原諸島日本復帰▼沖縄首長公選▼郵便番号制度発足▼参議院にタレント議員登場▼札幌医大で初の心臓移植手術▼川端康成氏ノーベル文学賞受賞▼東京府中で3億円強奪事件発生
1969(昭和44)	▼第1回市政研究会開く▼竹田橋拡張工事完成▼久米ヶ原ほ場整備着工▼倉吉立石電気LL操業開始▼上井地区国道の街路灯完成▼学校給食センター完成▼上灘小プール完成▼伯耆国分寺遺跡発掘▼東中竣工全面移転▼上井・西郷公民館建設▼第1回体育功労者の表彰▼中国高等学生陸上競技大会開く▼ホームヘルパーの設置▼鴨川改良工事に着手▼向山ゴミ処理場完成	▼学園紛争激化▼東名高速道路開通▼国民総生産資本主義社会で世界第2位に躍進▼人類初めて月面に着陸する▼公害病対象地域6ヶ所を決定
1970(昭和45)	▼中部食肉センター完成▼中部広域市町村圏計画策定▼し尿処理場拡張工事に着手▼倉吉福山線が国道313号線に昇格▼三明寺橋完成▼大鴨ほ場整備事業おわる▼米の生産調整実施▼農政協議会発足▼市総合開発計画策定▼公害対策協議会発足▼西中プール完成▼文化財保護モデル地区に指定される▼西中に特殊教育センター設置▼老人医療助成措置▼福守町住宅団地完成▼休日急患診療所発足▼NHKふるさとの歌まつり公開放送▼打吹山頂への遊歩道完成▼大規模つつじ園造成▼上水道第5次拡張工事着手	▼日本医師会全国一斉休診▼国産衛星第1号「おおすみ」打上げ▼日本万国博開く▼日本赤軍「よど号」乗っ取り▼東京で歩行者天国・光化学スモッグ発生▼三島由紀夫割腹自殺

年表(4)

西暦(年号)	おもなことから	社会のうごき
1971(昭和46)	▼辺地総合整備計画決定▼市老人福祉センター完成▼鳥取女子短期大学開校▼市内小中学校宿日直制度廃止▼小鴨小健康優良校日本一▼老人医療費全額公費負担▼農業者年金開始▼倉吉駅舎改築と駅名改称(倉吉駅・打吹駅)▼中部市町村共同施設管理組合発足▼屈折ハシゴ消防車配備▼高城トンネル完成▼灘手小プール完成▼市史編さん委員会発足▼雇用促進住宅と勤労青少年体育センター建設▼畜産団地完成▼円谷水源地完成▼上灘小体育館と河来見分校校舎完成	▼中国国連加盟▼成田新空港着手▼ニクソン大統領訪中▼自衛隊機と日航機衝突▼青函トンネル工事着工アポロ15号月面探査▼ソ連の火星3号軟着陸に成功▼竹入委員長暴漢に刺される
1972(昭和47)	▼市立養護学校開校▼新倉吉八景さまる▼倉吉 岡山直行バス開通▼勤労青少年体育センター完成▼大平農免農道完成▼総合卸センター開所▼倉吉郵便局開局 100年▼市民相談車設置▼不燃物破砕施設できる▼県営新町駐車場が開設▼集中豪雨3億5千万円の被害▼山陰・山陰中央テレビ中継局完成▼巖城橋完成▼如来原倉吉線バイパス完成▼大鴨橋歩道橋完成▼広域消防スタート▼市農協本所完成▼市農協生活センター完成▼勤労青少年ホーム開館▼倉吉消防署西倉吉分署完成▼農村施設等総合整備事業着手	▼札幌冬期五輪大会開く▼連合赤軍浅間山荘事件で集団リンチ▼山陽新幹線岡山まで開通▼高松塚古墳壁画発見▼沖縄祖国復帰▼田中内閣発足列島改造論▼中国の古墳で2,100年前の遺体発見
1973(昭和48)	▼横綱琴桜誕生、祝賀パレード実施▼市内の小学校相次いで100周年を迎える▼上灘土地区画整理事業の工事にかかる▼打吹山東遊歩道完成▼道路舗装を重点実施▼西郷小校舎・プール・体育館完成▼市制20周年記念事業実施(夏の祭典・市の木「ツバキ」制定・フラワーポット設置など)▼西中武道館完成▼1日地建開く▼モデルコミュニティ上井地区指定▼中部市町村共同管理組合庁舎完成、消防署も移転▼営農団地センターと市農協本所完成▼なしのマンモス選果所完成▼八屋水源地完成▼みどり町団地造成▼公園でクマ事件▼愛児園・めぐみ園・みのり保育園完成▼倉吉博物館完成(開館は翌年5月)▼生活物資対策室設置▼テニスコート6画完成▼菊人形展開く▼公共・流域下水道事業調査▼第1回部落解放研究集会開く	▼国労働労スト、史上最大のゼネスト、乗客の暴動おこる▼金大中事件発生▼伊勢神宮20年目の式年遷宮▼関門橋開通▼石油不足で国民生活に大打撃、紙の不足で新聞減ページ▼自衛隊違憲判決▼山陰両県で大干ばつ▼振替休日制度決まる
1974(昭和49)	▼泉源調査(沢谷)▼大原水源地完成▼林道大山東部線完成▼倉吉市史発刊▼伯耆国分寺跡が国の史跡指定を受ける▼気象観測の雨量計設置▼市道緊急補修班設置▼県植樹祭開く▼南勝線建設工事起工式を実施▼久米ヶ原ダム完成▼地方生活圏の指定を受ける▼北谷公民館完成▼陸上競技場助走路全天候型に舗装▼さよならSL走る▼倉吉博物館オープン▼新田橋架替起工▼上北条診療所改築▼不入岡橋完成▼第2ごみ処理場完成▼風土記の丘建設期成会できる▼行政無線電話開通▼水道局八屋に移転▼宮川町市営駐車場設置▼移動入浴車購入▼社小体育館完成▼市が電算機導入▼伯耆国分寺尼寺跡を確認▼花木園を造成▼県立西高が秋高に移転▼新中核都市建設構想まとまる▼高額療養費支給開始▼小田橋歩道橋完成▼高校総体陸上で東高が全国優勝	▼田中首相東南アジア訪問▼NHK深夜放送中止▼モナリザ展開く▼参院選保革伯仲▼東京三菱重工爆破事件▼新幹線故障続発▼佐藤栄作ノーベル平和賞受賞▼田中首相金脈問題で首相辞任▼フォード大統領訪日▼原子力船「むつ」で放射線もれ事故
1975(昭和50)	▼倉吉市土地開発公社設立▼北高春のセンバツ高校野球出場▼因伯子ども学園移転▼谷田文庫できる▼都市計画用途地域決まる▼倉吉東・ひまわり保育園完成▼上北条簡水を上水道に統合▼社保育園完成▼消費生活センター開設▼社公民館完成▼特別養護老人ホーム開設▼浅田山で地すべり災害対策本部を設置▼河北中の武道館完成▼騒音規制地域指定▼和田配水池完成▼倉吉駅前派出所設置▼降ヒョウ被害、7億7千万円の被害▼市財政危機を迎える▼上灘小校舎完成▼社小プール完成▼玉川にコイを放流▼東中武道館完成▼養護学校建設きまる▼ライスセンター設置▼大型店お目見え▼自主財政再建計画策定(赤字解消)▼第1回解放文化祭開く	
1976(昭和51)	▼上灘保育園改築▼野球場整備▼福光簡水を上水道に統合▼県中央体育館オープン、全国規模集会相次いで開く▼神鋼機器工業不振に陥る▼明倫小学校改築移転▼総合防災訓練の実施▼全国旅館組合大会開く▼全国自治労定期大会開く▼中部地区振興シンポジウム開く▼第4次総合開発計画策定▼上井配水池完成▼養護学校建設着工▼山陰放送ラジオ中継局完成▼人形峠トンネル工事着工▼伯耆国庁跡を確認	▼ロッキード事件で前総理ら逮捕▼バイキング機火星着陸▼天皇在位50年祝典開く▼世界各地でゲリラ活動▼衆議院解散総選挙▼ソ連ミグ戦闘機函館空港に着陸▼中国毛主席死去▼ベトナム統一▼アメリカ大統領にカーター氏就任
1977(昭和52)	▼市営球場の整備を記念してプロ野球オープン戦▼倉吉市公共下水道工事がはじまる▼県立倉吉総合看護学校と保育専門学院の合同校舎完成▼市の行政機構をあらためる▼全国高校総体の女子バレーボール大会、第1回倉吉打吹まつりが開かれる▼伯耆国分寺跡を中心とする歴史公園の整備すすむ▼市議会議員選挙が行われる▼中央公民館が旧明倫小学校跡に移転▼国道179号人形峠トンネルの工事はじまる	
1978(昭和53)	▼市政研究集会を新しい試みで実施▼県知事選挙行われる▼市制25周年記念事業計画が具体化▼市営球場で初のプロ野球公式戦▼振動規制地域を指定▼皇太子・美智子妃殿下ご来倉▼倉吉北高校、県代表として甲子園出場▼市制25周年記念、第2回倉吉打吹まつりにぎわう▼はじめての夏の成人式実施▼市立養護学校新校舎が長坂新町に完成し移転▼倉吉でワインづくりはじまる▼市制25周年記念式典を挙行、倉吉初の名誉市民が4名誕生、音楽祭など各種行事開催	▼円高不況(1ドル=180円)▼日中平和友好条約の締結

年表(5)

西暦(年号)	おもなことから	社会のうごき
1979(昭和54)	<p>▼累積赤字を昭和53年度内に解消、財政の再建策成る▼上小鴨小学校校舎の全面改築、西郷小学校校舎の増改築など学校施設を整備▼倉吉市各界友好訪中団、日中の友好親善深める▼倉吉北高校、2度目の選抜高校野球大会出場でベスト8入りはたす▼部落解放の拠点、自主解放会館を開設▼石田助役の急逝にとまない、佐々木助役、宍戸収入役を選任▼倉吉市を中核とする中部圏が、国土庁のモデル定住圏の選定を受ける▼新田橋・反土橋、人形トンネル貫通など道路交通網を整備▼台風により橋の流失、ガケくずれなど被害甚大▼松くい虫被害も全市に広がる▼西倉吉工業団地に尾池工業(株)進出決まる</p>	
1980(昭和55)	<p>▼倉吉市第5次総合開発計画ならびにモデル定住圏計画を策定▼60年国体に備え、国体準備委員会を結成▼市内小・中学校の校舎や体育館を次々と改築▼灘手小・河北小・久米中の校舎完成▼成徳小・上灘小・上小鴨小広瀬分校校舎と灘手小・久米中体育館に着工▼国際児童を記念して(昭和54年)上灘児童遊園地を設置▼山上憶良の歌碑を建設▼市民憲章制定10周年を記念して市花「つつじ音頭」市の木「赤い椿」の歌をレコード化▼冷夏により農作物が被害を受ける▼被害額は約15億円▼被害農家には約3億6千万円の融資▼国鉄の再建計画による倉吉線廃止に対して「こぞって倉吉線を守ろう住民大会」など各種の運動を展開する▼上灘土地区画整理事業の完成に引続き倉吉駅周辺都市改造事業に着手▼モデル定住圏計画推進協議会を設置計画実現へ向けてスタート</p>	
1981(昭和56)	<p>▼中部医師会館内に中部休日急患診療所を新築▼倉吉線存続運動を盛り上げるために小旗、ステッカーなどを配布▼上小鴨小広瀬分校、灘手小と久米中体育館完成▼上灘小校舎増築、成徳小校舎増改築▼西中体育館建設に着工▼上小鴨保育園移転改築▼新小鴨橋完成▼倉吉北高校、選抜高校野球大会でベスト4▼モデル定住圏計画具体化をめざすテレビ番組「みんなでつくりよう中部圏」が放送される▼鳥取国体の開催が内定▼歴史民俗資料館、スポーツセンター建設に着工▼市議会議員一般選挙が行われる▼人形トンネルが開通▼伯耆国分寺跡の環境整備事業完成▼国際障害者年にあたり障害者福祉都市推進事業の一環として、音響信号機設置、庁舎入口の自動ドア取付けなどを行う</p>	<p>▼鈴木首相ASEAN歴訪▼米国第40代大統領にレーガン氏就任▼ローマ法王パウロ二世来日▼神戸ポートピア'81開催▼ポーランドのワレサ議長来日▼ノーベル物理学者湯川秀樹博士亡くなる▼福井誠一京大教授にノーベル化学賞▼沖縄に新種の鳥「ヤンバルクイナ」発見</p>
1982(昭和57)	<p>▼連続4期、14年間にわたって市勢発展に尽くされた小谷善高市長が逝去▼小谷市長逝去にとまない市長選挙が行われ、牧田実夫新市長が決まる▼北谷公民館移転改築▼高城保育園移転改築▼高城児童館完成▼倉吉スポーツセンターオープン▼倉吉歴史民俗資料館完成▼60年わかつり国体の開催が正式に決定し、国体準備委員会を実行委員会に改め、本格的な国体準備を始める▼生田橋完成▼上灘土地区画整理事業完了、河北土地区画整理事業に着手▼障害者福祉都市推進事業として「第1回市民ふれあい広場」を開催▼市の上水道創設50周年を迎える▼中国青年商業研修のため来倉▼小鴨小校舎増築</p>	<p>▼日航機羽田沖に墜落し死者24名負傷者147名をだす▼1,000年振りに惑星直列、太陽からみて95度の扇形内に惑星が並ぶ▼新500円硬貨発行▼趙紫陽中国首相が政府公賓として初めて来日▼ソ連ブレジネフ書記長死去▼上越新幹線大宮～新潟間営業運転開始▼中曽根内閣発足</p>
1983(昭和58)	<p>▼市制施行30周年にあたり、テーマ「いま“行動”の倉吉」スローガン「いい人、いい町、いいあすを」など決まる▼倉吉西保育園、小鴨保育園完成▼老人保健制度実施▼60年わかつり国体を2年後にひかえ、リハール大会(ラグビー、フットボール)開催▼参議院の全国区選挙に比例代表制が採用される▼伯耆自転車道が一部開通▼倉吉武道館完成▼市制30周年記念式典をはじめ、各種記念事業を盛大に挙行</p>	<p>▼初の比例代表制施行▼ロッキード裁判で田中元首相に懲役4年の判決▼アキノ氏マニラ空港で暗殺される▼青函トンネル貫通▼秋田沖地震M7.7発生▼島根県に集中豪雨、死者102名にのぼる</p>
1984(昭和59)	<p>▼倉吉市公共下水道一部供用開始▼倉吉健康農園開園▼市役所漢字オンライン化システム稼働▼天神川流域下水道事業一部供用開始▼都市計画税設置▼倉吉市水と緑と文化のまちづくり協議会発足▼市営野球場ナイター設備、市営庭球場、ラグビー場、倉吉自転車競技場国体関連施設整備▼国体事務局を新設▼伝染病隔離病舎完成▼わかつり国体4種目のリハール大会(テニス、バレーボール、自転車、高校野球)を開催▼西郷小プール完成▼倉吉地区総合防災訓練を実施▼倉吉線問題はバス転換の方向を決定</p>	<p>▼ソ連のアンドロポフ書記長死去、後任にチェルネンコ氏就任▼インドのガンジー首相暗殺される▼第二次中曽根内閣発足▼レーガン大統領再選▼グリコ森永事件世間を騒がす▼全斗煥韓国国家元首来日▼長寿ニッポン世界に宣言▼新札発行</p>
1985(昭和60)	<p>▼明治45年上井一倉吉間に軽便鉄道が開通して以来市民に親しまれてきた倉吉線が廃止される▼市の緑を守り育てる条例を制定し、第1回緑のフェスティバルが開催される▼倉吉の鋳物師が国の重要有形文化財、伯耆国庁跡付法華寺畑遺跡、国庁跡、子持ち壺須恵器二種が国の重要文化財に指定される▼社小学校、河北小学校の校舎の改築が完成する▼第1回土蔵まつり開催▼倉吉大橋の開通▼第6次総合開発計画決定▼市議会議員選挙実施▼第40回国民体育大会で倉吉市5競技実施▼天皇陛下20年ぶりに倉吉行幸▼潤いのあるまちづくり推進で自治大臣表彰▼打吹公園通り開通</p>	<p>▼ソ連のチェルネンコ書記長が死去、後任にゴルバチョフ氏就任▼男女雇用機会均等法可決成立▼第40回国民体育大会わかつり国体が開催され、鳥取県が天皇杯、皇后杯を獲得</p>

年表(6)

西暦(年号)	おもなことから	社会のうごき
1986(昭和61)	▼倉吉市長に牧田実夫氏が再選される▼打吹山が緑の文明学会から森林浴の森日本 100選に選ばれる▼興和紡績倉吉工場を閉鎖▼山陰路観光キャンペーンが繰り広げられる▼南部忠平杯第1回くらし女子駅伝が開催▼国鉄改革法案可決、成立で山陰の鉄道も分割民営化へ▼市役所線定期路線バス運行開始▼円高不況が県内でも深刻化▼倉吉市にオンキヨー進出	▼アメリカでスペースシャトルの爆発▼フィリピンでアキノ女史による政権発足▼公務員60歳定年法成立▼円1ドル160円に急騰▼社会党委員長に土井たか子氏就任▼伊豆大島三原山噴火▼余部鉄橋事故発生
1987(昭和62)	▼第1回くらしふるさと風のまつり開催▼鳥取オンキヨー(株)が竣工、操業開始▼鳥取県身体障害者スポーツ大会が開催▼倉吉東中学校の新校舎完成▼倉吉市シルバー人材センターが発足▼台風19号が357ミリの豪雨を降らし、倉吉市で14億5千万円の被害額をだす▼養護老人ホームの改築工事が河北地区土地区画整理事業区域内ではじまる▼東橋が完成▼第3回トイレスンボジウムで打吹公園のトイレがグッドトイレ10に入る▼地方自治法施行40周年、自治制公布百年記念にあたり、優れた市町村経営により自治大臣から表彰される▼印鑑証明業務の電算化開始	▼国鉄がJRとしてスタート▼東京の地価が暴落▼世界の人口が50万人を突破する▼霊感商法の被害者が1万4千人に達する▼天皇陛下慢性すい炎で手術▼新電電3社サービス開始▼日本人7人目のノーベル賞受賞者に利根川進氏が決定▼世界で株価の暴落▼大韓航空機撃墜▼天皇陛下が公務に復帰
1988(昭和63)	▼倉吉市立養護老人ホームの名称が「シルバー倉吉」ときまる▼倉吉緑の彫刻賞の第1回受賞作品2点「こっとい」、「帽子を被ったら歩いてみよう」が倉吉大橋の親柱にすえつけられ除幕▼3月定例議会でも市議会議員定数を2名減として可決、また農業委員の定数を10人減少して定数20人になる▼倉吉東高校が選抜高校野球に出場する▼博物館前お手洗い、成徳前ポケットパークのさわやかトイレが完成▼打吹山の展望台がやぐら風に改装▼北谷小学校「倉吉緑の少年砂漠黄河学習団」が中国を訪問▼森林浴の森全国協議会総会が倉吉市で開会▼倉吉市立養護老人ホームが河北地区土地区画整理事業区域内に完成▼水道料金が平均18.73%増の料金改訂▼日韓親善高校野球大会開催▼(株)丸三レックス、マルサンレックス(株)が倉吉市に進出▼第4回全国トイレスンボジウムが盛大に開催▼明治町の市営住宅が約1億7千万円で完成▼倉吉市ディ・サービスセンターがオープン	▼ソ連外相がアフガニスタンから撤兵の意向表明▼東京ドーム落成▼青函トンネル開通▼瀬戸大橋開通▼中海・宍道湖の淡水化を凍結▼海上自衛隊潜水艦が釣り船に衝突し30人死亡▼ソウルオリンピック開幕▼リクルートに強制捜査▼消費税法案成立▼十勝岳噴火
1989(平成元)	▼北谷小学校屋内運動場が完成▼高城小学校校舎が完成▼市役所で第2、4土曜日が閉庁となる▼新町1、2、3丁目の新町通りがカラー舗装となる▼倉吉ふるさと物産館が成徳前ポケットパークに完成▼打吹山の峠の広場に展望台トイレが完成▼倉吉市立図書館がオープン▼打吹公園が日本都市公園百選に選ばれる▼全国中学校相撲選手権大会が倉吉市で開催▼高松宮杯全日本軟式野球大会が倉吉市で開催▼福吉町生田線が開通	▼昭和天皇崩御、元号が「平成」になる▼リクルートの江副前会長逮捕▼消費税(3%)スタート▼ゴルバチョフ書記長が国家元首に▼北京天安門広場のデモが100万人規模になる▼宇野首相退陣▼鳥取世界おもちゃ博開催▼ベルリンの壁解放
1990(平成2)	▼打吹公園飛龍閣の一角にメロディボックスを設置▼旧倉吉線跡地が「緑の彫刻プロムナード」として一部開通▼めいりん通りお手洗い完成▼余戸谷町水源池改築完了▼上北条小学校開校▼打吹公園がさくらの名所百選に選ばれる▼倉吉市長に早川芳忠氏が就任▼台風19号襲来、18億円以上の被害となる▼倉吉総合卸売市場が清谷に完成▼北谷小学校に日本一の地球儀ができる	▼南アで黒人指導者マンデラ氏釈放▼礼宮さまご結婚紀子さまブーム▼日本人初の宇宙飛行士誕生▼ペルーで世界初の日系人大統領誕生▼イラクがクウェートに侵攻し湾岸危機発生
1991(平成3)	▼上井第一雨水幹線構造工事着工▼河北小学校の屋内運動場が完成▼まちかどステーション・上灘コンフォートステーション・倉吉鉄道記念館完成▼三明寺老人憩いの家完成▼倉吉ユネスコ協会設立▼伯耆ニューライフビレッジセンター建設工事着工▼水と緑と文化のまちづくり協議会を「倉吉まちづくり協議会」へ改名する▼農業博覧会事務局を設置▼最大風速45.9㍎の台風19号で大被害▼第1回倉吉はごろもクロスカントリー大会開催▼成徳前パークが都市景観大賞に輝く	▼湾岸戦争でイラクが大敗▼九州雲仙普賢岳噴火で避難生活長期化▼ソ連政変、連邦解体▼南北朝鮮が国連加盟▼海部首相退陣、宮沢政権発足▼バブル経済崩壊で大型好景気に陰り、地価下落
1992(平成4)	▼倉吉農業博覧会「フルーツコレクション倉吉93」のマスコットキャラクター募集に全国から千点以上の応募がくる▼博覧会シンボルマークが決定▼博覧会の会場が正式に市営ラグビー場周辺の約5万8千平方㍎と決まる▼倉吉日本リスの会結成▼博覧会フルーツ大使決定▼博覧会マスコットキャラクターの名称が決定▼上井第一雨水幹線構造工事の仮水路1,172㍎完成▼旧倉吉警察署跡に勤労青少年ホームが移転▼明倫小学校体育館が完成▼天神野、西鴨に老人憩いの家が完成▼博覧会マスコット「おいしいなっちゃん」がデビュー▼山陰で唯一「行ってみたい旅のまち」に選ばれる▼市役所の組織機構一部変更▼市役所が毎週土曜日にも休みになる▼「倉吉市休日サービスカウンター」設置▼博覧会前売り券発売開始▼倉吉北高校夏の甲子園に出場▼韓国羅州郡友好親善訪問団来倉▼テレトピア構想モデル都市に選ばれる▼博覧会秋のイベント開催▼伯耆ニューライフビレッジの名称が「伯耆しあわせの郷」に決定▼倉吉市在宅介護支援センターがオープン▼明倫地区をモデルに資源ゴミの分別収集を開始	▼佐川事件▼暴力団対策法施行▼中海に鳥取・島根県の県境を設定▼PKO法案成立▼県経済連と県果実連が合併し県農連がスタート▼パルセラナ五輪で森下、山下、西本の鳥取県出身者が活躍▼中国と韓国との国交樹立▼不況深刻、大型景気対策を実施▼自衛隊をカンボジアに派遣▼天皇皇后両陛下が初めて中国を訪問▼アメリカの大統領にクリントン氏当選▼中国横断米子自動車道開通▼エイズ感染者が急増▼境港の年間水揚げ量が釧路港を抜き日本一になる

年表(7)

西暦(年号)	おもなことから	社会のうごき
1993(平成5)	<p>▼興和紡績倉吉工場跡地を一括購入する▼伯耆しあわせの郷が小田にオープン▼農業博覧会の起工式が行われる▼新給食センターが生田に完成▼韓国羅州郡で姉妹都市提携協約調印をおこなう▼一般国道 313号に新大鴨橋が完成▼部落解放基本法制定要求国民運動倉吉市実行委員会結成▼倉吉市身体障害者体育大会開催▼緑の彫刻プロムナードが「手づくり郷土賞」を受賞▼倉吉駅西側に市営倉吉駅前駐車場、東側に伯耆回廊のみちしるべが完成▼市制40周年記念事業倉吉農業博覧会「フルーツコレクション倉吉93」が開幕する(総入場者数が32万 5,188人)▼倉吉市制40周年記念式典挙行▼鳥取県が興和紡績倉吉工場跡地に梨博物館(仮称)の建設を発表</p>	<p>▼曙、初の外国人横綱になる▼だいせん国体開催▼金丸自民党総裁が脱税容疑で逮捕▼鳥取市で琢磨ちゃん誘拐事件発生▼サッカーJリーグ開幕▼皇太子、雅子さまご成婚▼北海道南西沖地震で大きな被害▼細川連立内閣スタート▼冷夏、豪雨で農作物の被害甚大、コメの緊急輸入実施▼細川内閣コメ部分解放受諾を決定</p>
1994(平成6)	<p>▼平成7年8月開催の全国高校総体で倉吉市が剣道と自転車の会場で決定▼不入岡遺跡で全国最大級の建物施設群が確認される▼社小学校の体育館が完成▼倉吉市長選挙で早川氏が再選される▼西福守町にふれあい公園が完成▼鳥取女子短大に日本文化学科が開設される▼倉吉博物館に世界最大級の双眼鏡、大型天体望遠鏡太陽観測装置が導入▼倉吉ライオンズクラブ緑の協力隊が中国で砂漠緑化活動を行う▼河北小学校新校舎完成▼倉吉市が鳥取県内ではじめて再生トイレトーパー利用推奨制度をスタートさせる▼全国高校総体の男子団体弓道で倉吉西高校が優勝▼興和紡績倉吉工場跡地利用基本構想の概要が決定▼倉吉営林署の統廃合が決定</p>	<p>▼羽田連立内閣成立▼自民、社会、さきがけによる村山連立内閣の樹立▼智頭急行12月開業決定▼シューメーカー・レビー彗星が木星に衝突▼北朝鮮の金日成首席が死去▼全国的に記録的な猛暑と水不足発生▼アフリカ・ルワンダに自衛隊派遣▼英仏トンネル開通▼日本人女性初の宇宙飛行士が誕生</p>
1995(平成7)	<p>▼兵庫県南部地震に対し救護物資を積み込んだ緊急車両を被災地に向かわせる▼倉吉営林署が「倉吉森林管理センター」として再出発▼市内中学生を対象とした「まちづくりジュニア・プランナー事業」を開催▼倉吉市水道局が阪神大震災で破損した水道施設の復旧支援へ応援隊4人を派遣▼「伯耆回廊のみちしるべ」が「倉吉ほっとプラザ」としてスタート▼海田バイパス開通▼市在住外国人を対象に特別給付金制度がスタート▼不入岡遺跡でオンドルの遺構県内で初めて確認▼デイスタービススタート▼倉吉駅前エントランス広場が完成▼上井児童センター完成▼興和紡績跡地利用計画スタート▼「認定農業者」25人誕生▼市独自のエンゼルプランの策定に着手▼新ごみ収集制度がスタート▼倉吉市立図書館に図書館コンピューターシステムが導入される▼上北条公民館が完成</p>	<p>▼兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)が発生▼地下鉄サリン事件発生、新興宗教の信者が多数逮捕される▼鳥取インターハイ開幕▼中国横断面道北房一岡山総社間が開通▼犬狭トンネル貫通▼金融業界の不良債券問題が表面化▼米大リーグで野茂が新人王獲得▼フランス、中国が地下核実験を強行▼イスラエルのラビン首相が暗殺される</p>
1996(平成8)	<p>▼倉吉市がインターネットにホームページを開設▼倉吉市でNHKドラマ「鳥帰る」のロケが始まる▼古川沢の下張坪遺跡で多数の古墳群が確認される▼倉吉市議会で議員定数の3人削減が決定▼ほうきりサイクルセンター稼働開始▼出口橋、和田橋が開通▼倉吉市勤労青少年ホームの愛称が「リフレプラザ倉吉」に決定▼河北土地区画整理事業が完成、竣工式が行われる▼公文書公開制度がスタート▼倉吉一関金間の広域林道が開通する▼「倉吉躍動1000日戦略」策定で個性的なまちづくりを目指す▼大御堂廃寺(駄経寺町)から奈良時代の木樋がほぼ完全な状態で出土する▼協同組合倉吉大店会事務所(魚町)が国の登録有形文化財に指定</p>	<p>▼北海道のトンネル崩落事故をうけて日本各地の国道で危険箇所の点検を実施▼病原性大腸菌O157による食中毒が全国に広まる▼アメリカ・アトランタ五輪開催▼世界・梨ドリーム博が東伯町で開催される▼新選挙区制度のもと、初めての衆議院選挙実施▼ペルーの日本大使公邸を武装グループが襲撃、占拠</p>
1997(平成9)	<p>▼「倉吉市あらゆる差別をなくする総合計画」を策定▼「倉吉躍動1000日戦略」がスタート▼綱引き日本一の打吹レディースに倉吉市初の市民栄誉賞が贈られる▼市庁舎にロビーマネージャーが登場▼倉吉市出身の俳人、河本緑石の生誕 100年を記念して「河本緑石に学ぶ講座」を開講▼倉吉パークスクエア構想の基本計画がまとまる▼ロス五輪三段跳びの金メダリストで鳥取女子短期大学の元学長、南部忠平氏が死去▼倉吉市出身の大坂弘道氏が工芸技術の部で人間国宝に選ばれる▼中・四国で最大のカントリーエレベーター「アグリアス鴨水」が鴨河内に完成▼独自性のあるまちづくりを目指して、第3セクターの会社「株式会社(株)赤瓦」を設立▼一般国道 313号犬狭峠道路が開通、高速交通網の整備がすすむ▼積極的な企業誘致の推進を目的として「倉吉市大阪事務所」を開設</p>	<p>▼ロシアのタンカーが座礁、日本海沿岸に重油被害▼動燃東海事業所で火災、放射能漏れ事故で嘘の報告が発覚▼ペルー人質事件が軍隊の強硬突入で3カ月ぶり解決▼消費税が5%になる▼香港が中国に返還▼境港市で「山陰夢みなと博覧会」が開催、総入場者数約 193万人で大成功をおさめる▼英国元皇太子妃ダイアナさんが交通事故死▼大手証券会社の山一証券が自主廃業▼東南アジア諸国で通貨危機が発生</p>
1998(平成10)	<p>▼県中部10市町村により「鳥取中部ふるさと広域連合」が発足▼JAとうはくを除き県中部9市町村の農協が合併しJA鳥取中央になる▼倉吉市長選挙で早川氏が三選を果たす▼トマトの水耕栽培施設が完成▼まちづくり会社(株)赤瓦が1・2・3号館を整備しグランドオープン▼興和紡績跡地で安全祈願祭(文化センター、梨博物館、女性センター工事本格化)▼染織家:福井貞子さん、大工:青亀雄二さんに倉吉市民栄誉賞授与▼養護老人ホームシルバー倉吉が社会福祉法人敬仁会に民間委託される▼韓国羅州市との姉妹都市結縁5周年▼倉吉を舞台に漫画「遙かな町へ」が描かれる▼倉吉打吹玉川の町並みが国の重要伝統的建造物群保存地区に選定される</p>	<p>▼キトラ古墳「星宿図」発見▼映画「タイタニック」アカデミー賞▼明石海峡大橋開通▼インド、パキスタン核実験▼東大寺千手堂全焼▼史上初の兄弟横綱 若乃花・貴乃花▼和歌山毒物カレー事件▼火星探査機打上げ成功▼横浜高校春夏連覇(野球)▼横浜ベイスターズ38年ぶりプロ野球日本一</p>



年表(8)

西暦(年号)	おもなことから	社会のうごき
1999(平成11)	<p>▼倉吉パークスクエアで市が建設する交流プラザと修景施設の工事を開始、またアミューズメント施設の方針が決定▼本庁舎にエレベーターを設置し使用を開始、車いす利用にも配慮▼韓国羅州市とのより深い理解を目指して6カ月間の職員相互派遣を実施▼鳥取女子短大、四年制を視野に「国際文化交流学科」認可▼企業誘致に成果、日本圧着端子製造(株)生産技術センターの進出と、(株)エースパック倉吉工場の新工場増設が決まる</p>	<p>▼とっとり花回廊が県西部にオープン▼統一地方選、鳥取県知事に片山善博氏初当選▼介護保険認定申請がスタート▼景気対策の一環として地域振興券が交付される▼東海村の核燃料加工会社で国内初の臨界事故、被爆者死亡▼コンピューター2000年問題で対策に追われる</p>
2000(平成12)	<p>▼倉吉パークスクエア、主な施設の完成、来春オープンに向け整備進む▼史跡法華寺畑遺跡に四脚門復元、相次いだ国の史跡指定の動き▼介護保険制度がスタート、同時に介護予防・生活支援事業を開始▼羅州(ナジュ)市との女性職員相互派遣、学芸員を韓国派遣、羅州市サッカー少年団来倉、交流と国際理解の進展▼鳥取女子短期大学が鳥取短期大学へ名称変更、男女共学、文部省より許可される▼国勢調査実施、5万人を下回る▼都市計画道路・東中学校公園線の開通、沿道土地区画整備事業が完了▼鳥取県西部地震が発生、被災地支援に職員等を派遣▼日本圧着端子製造(株)倉吉生産技術センター増設により雇用増が図られる▼市民参加で、第9次総合計画を策定▼北条湯原道路の早期完成へ朗報、市内和田～関金間が調査区間に格上げ</p>	<p>▼鳥取県西部地震で大きな被害▼シドニーオリンピックが開催され女子マラソンで高橋選手が金メダル▼高速バス乗っ取り事件▼新潟で不明女児9年2ヶ月ぶりに保護▼三宅島雄山・有珠山噴火▼介護保険制度スタート▼沖縄サミット開催▼2000円札デビュー▼韓国と北朝鮮が南北首脳会談▼米大統領選、接戦で異例の決着</p>
2001(平成13)	<p>▼倉吉パークスクエアが4月21日にオープンし、施設としては、図書館と交流・学習機能を備えた「交流プラザ」、1,500席の大ホールやセミナールームを備えた「倉吉未来中心」、高さ42メートルの「アトリウム」、鳥取県男女共同参画センター「よりん彩」があり、4月27日には「鳥取二十世紀梨記念館」がオープンし、7月1日には「市営温水プール」、商品や食事を提供する「食彩館」がオープンした▼大御堂廃寺跡が1月に国史跡に指定された(7世紀中頃の山陰地方を代表する初期の古代寺院跡)▼鳥取県中部地区市町村合併研究会が7月19日に設立▼県営内陸型工業団地の候補地として、8月に小鴨・蔵内地区を選定し、調査の実施をすることになった。10月にボーリング調査が行われ、その調査結果を基に開発するかどうかの判断がなされる▼倉吉市議会議員選挙を9月30日に実施し新議員21人が決定▼第17回国民文化祭が平成14年に鳥取県で開催されるのに伴い「プレ夢フェスタとっとり・総合フェスティバル」を10月14日に開催し、また市実施のプレ大会が8月～12月にかけて開催された▼白壁土蔵群周辺が「かおり風景100選」に認定される▼第53回全国人権・同和教育研究大会が鳥取市と倉吉市を中心とした中部地区で、11月24日～26日に開催▼ケーブルテレビによる中継放送が12月定例市議会で行われ、ケーブルテレビ加入世帯では、審議の様子をテレビを通して視聴できるようになった▼倉吉駅周辺地域を中部圏域の玄関にふさわしい交流・活動拠点とするための構想がとりまとめられた▼小・中学校一斉公開を実施し7月には、保護者や地域の人たちに授業参観を中心に、学校・学級経営の状況を見ていただき、11月には、「朝の全校一斉読書」の様子を公開した</p>	<p>▼市町村合併に伴う東郷湖週地域合併協議会を羽合・東郷・泊の3町村で10月に設置▼長引く不況は中部地区の縫製業やIT関連業に打撃を与えた▼狂牛病問題は畜産農家や消費者に大きな影響を与えた▼鳥取環境大学が4月に開学▼米子一ソウル便が4月に就航</p>



年表(9)

西暦(年号)	おもなことから	社会のうごき
2002(平成14)	<p>▼国土交通省中国整備局主催の「第1回夢街道フォーラム」において町並みや道など歴史・文化資源を生かした地域づくりを支援する「夢街道モデル地区」に『八橋往来』(西岩倉町-河原町間)が認定された(1月26日)▼「市民の声が活きる市政」を掲げて長谷川新市政発足(4月)▼倉吉駅周辺整備事業のうち、上井羽合線沿道土地区画整理事業に着手(4月)▼倉吉観光案内所がふるさと物産館にオープン。観光ボランティアガイドのサービスを開始、倉吉市シルバー人材センター、倉吉観光ボランティアガイドグループ合わせて29人が、玉川沿いの白壁土蔵群、商家の町並みや酒蔵などを観光客にガイドする(4月)▼「市民と市長のふれあいコーナー」開設、同時に市長へのメッセージ、Eメール、ファクス、手紙等での意見・提言などを受付、市長が対応(5月)▼倉吉市長選挙公職選挙法違反での議員辞職により補欠選挙が行われ、12人の新議員が誕生した(5月～8月)▼倉吉市農業委員会委員一般選挙を実施、初めて女性委員2人が誕生した(7月7日)▼日本各地の女性みこしを集めた全国初のイベント「女みこし2002inくらよし」を倉吉パークスクエアで開催(8月3・4日)▼1市4町(倉吉市・関金町・三朝町・北条町・大栄町)による天神川流域合併協議会設立、新しいまちづくりがスタート(10月1日)▼第17回国民文化祭「とっとり2002 夢フェスタとっとり」開催。倉吉未来中心ほかを会場として、本市が主催する4事業「合唱祭、羽衣伝説フェスティバル、オペラ、全国民謡民舞祭」を開催(10月12日～11月3日)▼倉吉市中心市街地活性化計画の提言を受け、活性化に向けた取り組みが成徳地区で始まる。本市では、「倉吉市中心市街地活性化推進協議会」を設置し、実効性を重視した市独自の活性化計画としてまとめた(11月)▼「北条湯原道路」整備促進に向けての意見発表会を都市交流センター(関金町)で開催。女子高校生、青年団、OL、1ターン者、消防職員、病院事務長、バス会社所長、道の駅、トラック協会、梨栽培農家、観光農園、湯原観光協会、国民宿舎など300人が参加した(11月9日)▼民間国際交流の促進、鳥取県中部地区日韓親善協会による「日韓親善交流の翼」事業実施(11月18日～21日)▼旧倉吉町水源地ポンプ室・量水室の登録有形文化財への新登録の答申。本市が申請した旧倉吉町水源地のポンプ室と量水室が登録された。本市では「共同組合倉吉大店会」、「小川酒造主屋」、「高田酒造主屋、旧高田酒造酒造醸造所」に続く登録有形文化財(12月6日)▼選挙後の議会で政治倫理特別委員会を設置し、12月定例会で倉吉市議会議員政治倫理要綱を全会一致で制定した(12月)</p>	<p>▼宍道湖・中海淡水化事業の中止決定(12月)▼益田競馬55年の歴史に幕をとじた(8月)▼松江フォーゲルパークでオウム病(1月)▼長引く不況により、県は雇用促進対策に充てるため、県職員の給与、手当などをカットすることを決定(1月)</p>
2003(平成15)	<p>▼倉吉市議会議員政治倫理条例制定(3月)▼市民の生活相談…「倉吉ひまわり基金法律事務所開設(3月)」、「市民生活相談室開設(11月)▼国民健康保険料引き下げ(4月)▼市営温水プール25m化及び利用料金引き下げ(4月)▼全国初、史跡大御堂廃寺跡から塑像螺髪型の型が出土(5月)▼重要伝統的建造物群保存地区の白壁土蔵群で火災が発生し、元帥酒造が半焼した。市民の復興支援活動始まる(5月)▼ホ-コ-精密(株) (本社…大阪府寝屋川市)が、倉吉市巖城に進出したことにより4年ぶりの企業誘致となった(6月)▼「山下清展」-石版画と出会ったまち- 倉吉博物館で過去最高の入館者37,075人を記録(6月)▼倉吉市制施行50周年記念事業・劇団四季ミュージカル「青い鳥」(7月)・財津和夫コンサート(9月)・記念式典(10月)・羅州市姉妹都市結縁10周年記念式典(10月)・建築家安藤忠雄氏の講演会(10月)・「笑点」公開録画(10月)・人権、同和問題シンポジウム(11月)▼市民と行政による協働ボランティア活動 ・「たからや」の活用について「協働プロジェクトたからや」を設置(7月)・倉吉市宮野球場フェンス塗装(8月)・落書きクリーン作戦(12月)▼社小中学校エレベーター棟完成(9月)▼倉吉市役所「ISO14001」認証取得に取り組む(9月)▼故 石谷文海氏と佐渡ヶ嶽慶兼氏に倉吉市名誉市民の称号を贈る(10月)▼戸籍事務のコンピュータ化による業務開始(11月)▼天神川源流の森整備始まる(11月)▼構造改革特区として「住民に身近な市町村議会特区」・全国規制改革要望として、「住民の直接請求権の拡大」を提案(11月)▼天神川流域合併協議会解散・新たに関金町との合併に向けた取り組みが12月に始まり、平成16年1月19日～31日までの期限で、「はがき回答」による市町村合併住民意向調査を実施…「三朝町は、単独存続」・「北条町、大栄町は2町で合併」▼上余戸住宅リニューアル(2棟のうち1棟は電化住宅)(12月)▼地方開発事業団方式による内陸型工業団地凍結(12月)</p>	<p>▼羽合、東郷、泊の3町村は平成13年10月に東郷湖周地域合併協議会を設立し、平成15年12月5日には合併協定書の調印が行われ、平成16年10月1日に新町「湯梨浜町」が誕生する▼東伯町、赤碕町は、平成15年1月に東伯西部合併協議会を設立し、平成16年2月には合併協定書の調印。新町は「琴浦町」となる▼青谷羽合道路(青谷町青谷～羽合町長瀬13.2キロ)が3月21日に開通</p>

年表(10)

西暦(年号)	おもなことから	社会のうごき
2004(平成16)	<p>▼倉吉市・関金町合併に向けての準備進む…市町村合併住民意識調査実施、回答率65.25%、推進する75.2%(1月)・「倉吉・関金合併協議会」を設置(4月)・合併に伴う電算総合システムの統合(7月)・倉吉市・関金町合併協定調印式、倉吉市議会・関金町議会議決(9月)▼企業誘致・地元企業増設続く…㈱コールサポート進出決定調印式(1月)・大虎運輸㈱山陰営業所、西倉吉工業団地に進出決定(3月)・㈱テクノメタル、市内大谷に新工場建設決定(6月)・㈱セイコ製作所、西倉吉工業団地に第2工場増設決定(7月)▼倉吉市役所ISO14001の認証を取得(3月)▼津原地区農業集落排水施設供用開始(4月)▼打吹公園開園100周年記念事業を開催…打吹公園開園100周年記念大茶会(4月)・第4回日本海未来ウォーク(5月)・NHKテレビ「BS日本のうた」公開録画(5月)▼博物館開館30周年を迎える…倉吉博物館30周年記念事業、原田泰治が描く日本の童謡・唱歌100選(5月・6月)・倉吉博物館入館者100万人▼高城小学校プール改築(6月)▼鳥取県に二十世紀梨が導入されて100年・松戸市倉吉市交流都市宣言「梨(あり)の実交流宣言」(7月)▼市民と行政の協働…協働によるまちづくり・西倉吉工業団地内の街路樹の植樹作業(6月)・「特定非営利活動法人たかしろ」による過疎地有償輸送事業がスタート(8月)・「シビックセンターたからや」オープン、指定管理者にNPO法人未来(9月)▼倉吉パークスクエアにぎわう(市施設入館者記録達成)…倉吉市営温泉プール来場20万人突破(7月)・倉吉市立図書館貸出者数30万人突破(8月)▼日本へ台風多数上陸、倉吉市にも被害をもたらす…台風16号(8/30)、18号(9/7)、21号(9/29)、23号(10/20)の台風は倉吉市にも家屋、農産物に多数の被害をもたらす▼伝統的建造物群保存地区建物火災跡地の復興工事着手(10月)▼宝くじスポーツフェア”ドリームベースボール”開催(11月)▼市役所窓口開庁時間延長、毎週木曜日(11月)▼倉吉・関金～岡山空港・岡山駅高速バス30年ぶりに運行開始(12月)▼情報化政策進む…ケーブルテレビ未整備地区解消事業スタート(12月)</p>	<p>▼平成の大合併で県内に4新市町が誕生。東伯町・赤碓町による「琴浦町」(9/1)、羽合町・東郷町・泊村による「湯梨浜町」、西伯町・会見町による「南部町」(10/1)、鳥取市・国府町・福部村・河原町・用瀬町・佐治村・気高町・鹿野町・青谷町による新「鳥取市」が誕生し山陰初の20万人都市となった(11/1)▼中海の県境をまたぐ臨湾道路の江島大橋(全長1,446.2m・最頂部高さ44.7m)が開通(10月)▼オリンピックが生誕の地アテネで開催され、日本は史上最多の金16個、銀9個、銅12個の計37個のメダルを獲得(8月)▼新潟県中越地方を震源とするM6.8の地震が発生、40人が死亡、約3,000人が負傷(10月)、インドネシア・スマトラ島沖でM9.0の史上最大級の地震が発生、死者・不明者は14,000人を超えた(12月)▼鳥インフルエンザが東南アジアを中心に猛威を振るい、日本産業にも大打撃を与えた▼イラク治安部隊などを標的としたテロが多発、イラク情勢が混迷▼プロ野球界で近鉄とオリックスの合併、楽天参入による50年ぶりの新球団誕生、ソフトバンクのダイエー買収など大再編。再編をめぐり選手会は史上初のストライキを決行(9月)</p>
2005(平成17)	<p>▼倉吉市・関金町合同成人式の開催(1月)▼倉吉市・関金町合併…昭和30年5月の灘手村との合併以来50年ぶりの市町村合併(3月)、「倉吉・関金新発見伝」を語る(3月)、『BSカラオケ塾』公開録画(4月)、市町村合併記念式典・市民芸能文化フェア(5月)▼西倉吉消防署が生田に新築▼企業誘致や地元企業増設続く…㈱セイコ製作所・西倉吉工業団地に工場建設開始(1月)、㈱エンバルス・西倉吉工業団地に進出(9月)、㈱テクノメタル・大谷に第2工場完成(10月)、倉吉尾池工業(株)・新工場完成(11月)▼ケーブルテレビ利用可能エリア広がる…第1期CATV未整備地域解消事業完成 整備率84%→94%(3月)、第2期CATV未整備地域解消事業着手(11月)▼市の課題解決に向け、各種条例制定…「高齢者虐待防止条例」制定(3月)・「男女共同参画推進条例」施行(4月)・「倉吉市落書き防止条例」制定(9月)▼「倉吉市次世代育成支援行動計画」策定(3月)▼集落排水処理施設の供用開始…整備完了に伴う処理場の運転開始▼防災センター「くら用心」オープン(5月)▼アスベスト問題…アスベスト問題が急速に全国的な広がりを見せ、社会問題化。当市でも相談窓口を設置、市有施設のアスベスト使用状況調査などを実施(6月～)▼国際交流、韓国羅州市などと市民レベルの交流…シニアサッカー交流(7月)、少年硬式野球交流(8月)、鳥取短期大学生が羅州大学訪問(9月)、未来ウォークと韓国国際ウォーキング協会の相互交流(5・10月)、EU児童青少年演劇日本縦断招へい公演2005IN鳥取開催(8月)▼国内交流も盛んに行われる…千葉県松戸市、千葉県館山市、奈良県大淀町とそれぞれ交流、岡山県真庭市長との会談(12月)▼各小学校区に地域ぐるみの学校安全組織が立ち上がる…パトロールなど安全活動開始(9月)▼倉吉市打吹地区「美しいまちなみ大賞」受賞(10月)▼合併後発の市議会議員選挙…新議員21人が決まる(10月)▼経営再建中のダイエー唯一の店舗「倉吉サンピア」が閉店(10月)▼倉吉駅周辺整備進む…上井都市再生住宅(仮称)着工(9月)、上井公民館・上井児童センター建設工事着工(11月)▼新しく「倉吉観光案内所」がオープン(12月)▼徳島県吉野川市と災害時相互応援協定締結(12月)▼倉吉市出身の先代・佐渡ヶ獄親方(元横綱琴桜)が偉大な功績を残して日本相撲協会を定年退職(11月)</p>	<p>▼県内では倉吉市のほか、伯耆町、新大山町、新米子市、八頭町、10月には大栄町と北条町が合併して「北栄町」が誕生、3市27町村を巻き込んだ「平成の大合併」は一段落。昨年合併した鳥取市は10月に山陰初の特例市に移行した▼湯梨浜町の方面地区のウラン残土の一部が米国に搬出され、放置発覚から18年目にしてようやく動き始めた▼衆議院総選挙では小泉自民党が296議席の歴史的な大勝、県内でも自民党公認候補が当選した(9月)▼尼崎市のJR西日本脱線事故により107人が死亡(4月)▼耐震強度の偽装で不安が広がった▼アスベスト(石綿)被害が深刻になった▼少年、少女をめぐる残虐な事件が相次いだ▼小泉首相の靖国参拝で中韓との関係が冷却した▼ロンドン、バリ島などで各地で大規模テロが続発▼パキスタン北東部の大地震で犠牲者は7万人を超えた(10月)</p>

年表(11)

西暦(年号)	おもなことから	社会のうごき
2006(平成18)	<p>▼倉吉市長選挙 長谷川市政2期目スタート…任期満了に伴う倉吉市長選挙が告示され、現職の長谷川稔市長が立候補し、無投票で再選(3月)▼ケーブルテレビ網のカバー率が100%に…倉吉市全域の家庭でケーブルテレビ網に接続できる環境が整備される(3月)▼鳥取キタロウズ球団が設立…山陰初の社会人硬式野球クラブチームが設立し、総監督は川口和久さん、監督は加藤伸一さん。ホームグラウンドは倉吉市宮関金球場(4月)▼若者の定住化促進基金を創設…平成18年度からスタートした第10次総合計画に掲げる「若者の定住化促進」の実現に向けて創設(5月)▼倉吉駅周辺まちづくり事業着々と進む…上井公民館・上井児童センター完成(6月)、市営住宅サンテラス大平完成(11月)▼夏の甲子園出場 倉吉北高…第88回全国高校野球選手権鳥取大会の決勝戦は、倉吉北高と倉吉東高の対戦となり、倉吉北高が4年ぶり6度目の出場を果たす(11月)▼ペットボトル飲料水「くらよしの水」を製造…倉吉市水道水の原水(地下水)のおいしさをPR(8月)▼日本の歴史公園100選に決定…都市公園法施行50周年記念事業として全国から公募され、「伯耆国分寺跡・法華寺畑遺跡歴史公園」が選定された(10月)▼第19回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレク鳥取2006」倉吉市種目別大会…年齢別バドミントン、壮年ボウリングの2種目を実施(10月)▼鴨川中学校 屋内運動場改築事業…鉄筋造平屋建、延床面積1,338㎡</p>	<p>▼JR伯備線の特急にはねられ保線員3人死亡(1月)▼寝台特急「出雲」廃止(3月)、鳥取一名古屋空の便も(7月)▼三徳山開山1300年で御幸復活(4月)、世界遺産暫定リスト候補に推薦(11月)▼全国スポレク祭 鳥取県内で華やかに開催(10月)▼北朝鮮核実験で鳥取県内緊迫 境港市は元山市との友好提携破棄、国連が制裁(10月)▼松本京子さん(米子市)拉致被害者認定(11月)▼妖怪イベント相次ぎ、水木しげるロード年間入り込み客数過去最高、鬼太郎フェリー就航▼湯梨浜町のウラン残土、れんが加工で決着▼飲酒運転撲滅運動、県内でも盛り上がる、行政は処分厳罰化▼片山義博県知事が来春の知事選不出馬表明(12月)▼ホリエモン、村上代表らヒルズ族の逮捕(1月)▼トリノ五輪で荒川静香 唯一の金メダル「イナバウアー」で国民を魅了(2月)▼マンション耐震偽装で姉齒元建築士ら逮捕(4月～5月)▼秋篠宮家に男子誕生 皇室として41年ぶり(命名悠仁さま)(9月)▼安倍政権発足(9月)▼自治体の官製談合で県知事逮捕相次ぐ(10月～12月)▼いじめ自殺、未履修など教育現場混乱▼改正教育基本法、防衛庁の「省」昇格法成立(12月)▼日銀、ゼロ金利解除景気「いざなぎ」超え▼ジャワ島で大地震(5月、7月)▼原油価格高騰 一時78ドルに(7月)▼サッカーW杯イタリア優勝(7月)▼米中間選挙で共和党敗北 国防長官更迭(11月)▼イラク内線状態 フセイン元大統領に死刑判決(11月)</p>
2007(平成19)	<p>▼小鴨小学校校舎改築事業…鉄筋コンクリート造3階建、延床面積4,778㎡(1月)▼「伯耆の国国庁跡、国分寺跡、陣屋町倉吉の町並み」が美しい日本の歴史的風土100選に選定(1月)▼子育てを支援する事業を行う拠点施設として、倉吉市子育て総合支援センター「おひさま」を開設(5月)▼子育て世帯の買い物協賛店が割引などで応援する若者子育て買い物応援事業開始(5月)▼伝統的建造物群保存地区の火災跡地での取り組みや、淀屋牧田家などの歴史的な資源をいかしたまちづくりが評価され、「まち交大賞プロセス賞」を受賞(6月)▼倉吉市庁舎、国登録有形文化財に登録(7月)▼商店街のアーケード撤去…東仲町から西町にかけての本町通アーケードが45年間の役目を終えて撤去された(7月)▼国民宿舎グリーンスコールせきがねの管理運営を指定管理者・㈱レバストに委ねることに決定(8月)▼第53代横綱琴櫻、先代佐渡ヶ嶽親方(鎌谷紀雄さん)死去(8月)▼旧牧田家住宅(主屋)保存修理工事に着手(10月)▼「江戸、明治、大正、昭和」の懐かしいもの、めずらしいものを各店舗に展示し、街全体を展示会場とする「倉吉レトロまちかど博物館」に取り組む▼上灘中央交流センター建設に着手(11月)</p>	<p>▼各地で食品偽装発覚 「不二家洋菓子」から「白い恋人」「赤福」「船場吉兆」など賞味期限の改ざん、原材料偽装が続く、食の安全、信頼が大きく揺らいだ▼年金記録漏れ5,000万件判明(2月)▼JA鳥取中央とJAとうはくが合併(3月)▼国道313号の地域高規格道路「北条倉吉道路」が開通(3月)▼新潟中越沖地震で死者11名、柏崎刈羽原発でトラブル多発(7月)▼参院選で自民党が歴史的敗北(7月)▼和牛博覧会が米子市崎津団地をメイン会場に開催(8月)▼安部首相突然の辞任、福田内閣発足(9月)▼民営郵政スタート(10月)▼テロ対策特別措置法期限切れ、海上自衛隊インド洋から撤退(11月)▼米サブプライム問題で世界の経済、金融に混乱</p>

## 年表(12)

西暦(年号)	おもなことから	社会のうごき
2008(平成20)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼小鴨小学校屋内運動場竣工(3月)</li> <li>▼小学生を対象とした医療費助成制度を開始(4月)</li> <li>▼くらよ元気体操完成。普及員の養成を開始。(7月～)</li> <li>▼琴桜・赤瓦観光バス回転広場及び琴桜・赤瓦観光駐車場がオープン。(8月)</li> <li>▼伯耆しあわせの郷、せきがね湯命館など指定管理者を公募により決定(8～10月)</li> <li>▼上灘中央交流センター(上灘公民館)完成(10月)</li> <li>▼自主防災都市宣言(10月)</li> <li>▼日圧スーパーテクノロジーズ(株)西倉吉工場の増設に伴う協定書調印式(10月)</li> <li>▼市制施行55周年記念式典を開催。市民投票によって制定された市の鳥「メジロ」発表(10月)</li> <li>▼市指定有形文化財旧牧田家住宅(主屋)保存修理工事完成(11月)</li> <li>▼市営温水プール利用者50万人達成(11月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼中国製ギョウザで中毒、中国産食品のトラブル相次ぐ(1月)▼後期高齢者医療制度スタート。保険料の天引きなどに批判(4月)▼米サブプライム住宅ローン問題に端を発した金融危機が拡大、世界不況に突入。国内経済も不況に突入。株価急落、円高騰</li> <li>▼原油高騰。県内でもガソリン過去最高価格に、市民生活直撃(上半期)▼鳥取スイカ、アラブ首長国連邦のドバイに初出荷。一玉3万円の高値で取引(6月)</li> <li>▼三朝町の温泉旅館・万翠楼、総合衣料店・ホテイ堂など老舗企業破綻相次ぐ▼4人の日本人学者がノーベル物理学賞と科学賞を受賞(10月)▼米大統領選でオバマ氏勝利。米史上初の黒人大統領誕生(11月)</li> </ul>
2009(平成21)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼定住自立圏構想 中心市宣言。総務省から「定住自立圏構想」に係る先行実施団体の決定を受け、中心市宣言を行う(3月)▼定額給付金・子育て応援特別手当給付事業の給付を県内4市のトップを切って実施(3月)▼小田橋西詰のJR山陰線と県道の立体交差化。踏切事故の防止が図られる(3月)▼第31回全国伝統的建造物群保存地区協議会総会・研修会倉吉大会開催。全国各地の伝建地区保存会メンバー(54市町村・29住民団体・合計219人)が参加(5月)▼国道179号跨線橋周辺の4車線化が完成。慢性的な交通渋滞の解消、拡幅された歩道スペースにより歩行者の安全が確保(9月)▼トキめき新潟国体陸上競技でジュニア選手が活躍…柏村亮太選手(倉吉北高)が少年男子A・ハンマー投げで日本ジュニア新、高校新、大会新の記録で優勝。萩原くら選手(河北中)が少年少女共通・走り高跳びで高校生に交じって第2位の成績を収める(10月)▼菜の花プロジェクト…7月に行われた「倉吉小・中学生淀屋サミット」での提案により、地区公民館の協力を得て、市内全小中学生が天神川(小鴨川)の河川敷を中心に種まきを行う(10月～11月)▼倉吉市議会議員選挙…任期満了に伴う一般選挙が行われ、女性議員2人を含む20人の議員が当選(10月)▼飛龍閣改修工事完成。屋根の葺き替え、トイレ改修、スロープの設置(バリアフリー化)工事が行われた(10月)▼新斎場建設問題で出直し市長選…新斎場建設の「民意を問う」との市長辞職に伴い、選挙が行われ長谷川市長が再当選(11月)▼新型インフルエンザの発症・重症化の防止に向け、ワクチン接種費用の一部助成を開始(11月)▼倉吉駅橋上化事業 仮駅舎開業…仮駅舎に業務が切り代わり、平成23年1月の新駅開業に向けて事業が本格的に始まる(11月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼第2回ワールド・ベースボール・クラシックで日本が二連覇(3月)▼地方の高速道路が土日祝日、上限千円の乗り放題となる割引がスタート(3月)▼鳥取・因幡の祭典が開幕。「世界砂像フェスティバル」には35万人以上が来場(4月)▼新型インフルエンザが大流行、死者も増加(5月)▼境港と韓国・東海(トンヘ)、ロシア・ウラジオストクを結ぶ環日本海定期貨客船が就航(6月)▼米歌手マイケル・ジャクソンさん急死(6月)▼裁判員裁判がスタート(8月)▼衆院選で民主党圧勝、政権交代で鳩山政権誕生(9月)▼世界ジオパーク 国内候補地に鳥取、兵庫、京都の3府県にまたがる山陰海岸が選定(10月)▼円高。デフレ宣言。日航経営危機など企業業績悪化(11月)▼与党議員と民間有識者らが「仕分け人」となり、来年度予算要求事業の事業仕分けを行う(11月)</li> </ul>

年表(13)

西暦(年号)	おもなことから	社会のうごき
2010(平成22)	<p>▼定住自立圏形成協定の締結。市町同士の絆を強め、役割分担と連携により、中部圏域の住民生活に必要な機能の確保のため、中部圏域の1市4町で協定を締結(3月)</p> <p>▼「倉吉を元気に、若者に夢を」を掲げて石田新市政発足(4月)</p> <p>▼市立図書館が、平成22年度子どもの読書活動優秀実践図書館として文部科学大臣表彰受賞(4月)</p> <p>▼平成13年の開館以来、市立図書館の来館者300万人突破(7月)</p> <p>▼倉吉市地域産業振興ビジョンの策定。「倉吉市くらしよし産業元気条例」に基づきビジョンを策定(8月)</p> <p>▼山梨県で開催された小学生カヌー大会で、関金B&amp;Gカヌー教室クラブ生2人が日本一に(8月)</p> <p>▼「小川氏庭園」の国登録記念物(名勝)の登録。県下で2件目の登録(8月)</p> <p>▼白壁土蔵群周辺で韓国ドラマ「アテナ:戦争の女神」のロケが実施された(9月)</p> <p>▼「倉吉の水」のペットボトルラベルリニューアル。倉吉特産の「倉吉餅」をイメージしたレトロなデザインになった(10月)</p> <p>▼石田市長が、「日韓親善交流の翼～羅州市訪問事業～」で、国際姉妹都市である大韓民国羅州市を訪問し、交流宣言を取り交わした(11月)</p> <p>▼倉吉市打吹玉川伝統的建造物群保存地区の範囲が拡大。平成10年に選定されていた打吹玉川地区(約4.7ヘクタール)の西側約4.5ヘクタールが追加選定された(12月)</p>	<p>▼鳥取県東部と関西圏を結ぶ鳥取自動車道の河原IC～鳥取IC間9.7キロが開通(3月)▼宮崎県で口蹄疫の被害が拡大。約29万頭の家畜が殺処分された(4月)▼菅内閣誕生。普天間移設問題等で、迷走を続けた責任を取り、鳩山首相は辞任した(6月)▼小惑星探査機「はやぶさ」が、7年ぶりに地球に帰還。月以外の天体との往復は世界初の快挙(6月)▼観測史上最高の猛暑。熱中症多発で死者も出た(8月)▼余部鉄橋、約100年の歴史に幕。JR山陰本線の余部鉄橋からコンクリート製の余部新橋りょうへの架け替え工事が完了し、併用開始(8月)▼山陰海岸ジオパークの世界加盟決定。鳥取市の白兔海岸から京都府京丹後市の経ヶ岬までの東西約110キロ、南北30キロの山陰海岸が、世界ジオパークネットワークに加盟(10月)▼片山前鳥取県知事が、総務相に就任(9月)▼チリ鉱山落盤事故。作業員33人が地下約700メートルに閉じ込められ、69日ぶりに全員を救出(8月～10月)▼ガイナレ鳥取、JFLで初優勝。来季からのJリーグ加盟が正式に承認された(11月)▼ノーベル化学賞を根岸英一氏・鈴木章両氏が受賞(12月)▼ドラマ「ゲゲゲの女房」効果で水木ロードに300万人超。(12月)</p>
2011(平成23)	<p>▼倉吉駅新橋上駅舎が完成、市道倉吉駅南北線も開通(1月)</p> <p>▼改正教育基本法に基づき、10年後の倉吉の教育を見据え、今後5年間に取り組むべき教育振興施策を示す計画を策定(2月)</p> <p>▼新たな時代に対応したまちづくりを進めるため、「くらしよしふるさとビジョン」(第11次倉吉市総合計画)を定める(3月)</p> <p>▼未曾有の大災害となった東日本大震災の被災地に給水支援や行政支援のため市職員36人、教員2人を派遣(3月)</p> <p>▼地域高規格道路「北条湯原道路」のうち「倉吉関金道路」が都市計画決定(5月)</p> <p>▼尾池工業株式会社は、鳥取県および本市との間で、鱗片状蒸着微粉(リーフパウダー)の事業拡大のための工場増設に伴う協定を締結(8月)</p> <p>▼台風12号・15号により市内各地で土砂崩れや床上・床下浸水等の被害が多発。田畑の冠水公共交通の運休など大きな被害が発生(9月)</p> <p>▼鳥取市で開催された「第31回全国豊かな海づくり大会」へのご臨席とあわせて地方事情ご視察のため、17年ぶりに天皇皇后両陛下が倉吉市を訪問(10月)</p> <p>▼倉吉駅北口広場オープン(10月)</p> <p>▼エキパル倉吉観光案内所・行政サービスコーナー・くらしよし駅ヨコプラザがオープンし、観光情報の発信や特産品の販売、住民票などの即時交付等、利便性が飛躍的に向上(11月)</p> <p>▼「水と緑と文化のまちづくり」を基本とする諸事業を実施し、本市の産業、経済、教育の進展に大きな功績を残された元倉吉市長牧田實夫さん(故人)が名誉市民に決まる(12月)</p> <p>▼倉吉市のイメージキャラクターのデザインが決定(12月)</p>	<p>▼年末から降り続いた大雪の影響により、国道9号線では約1千台の車が渋滞。港では漁船262隻が転覆、沈没した(1月)▼3月11日午後2時46分、宮城県沖を震源とした震度7、M9と日本観測史上最大規模の地震により津波が発生。その震災に伴い、東京電力福島第一原発事故が起きる(3月)▼ガイナレ鳥取がJ2初参戦(4月)▼三洋電機が事業再編に伴い、大規模な配置転換と人員削減が進められ、県内で約400人が離職する事態へと発展(4月)▼ドイツで行われた第6回女子ワールドカップで、日本代表「なでしこジャパン」が初優勝(7月)▼野田内閣誕生(8月)▼中東に民主化の波。リビアの最高指導者ガダフィ大佐が反体制派との戦いで死亡(10月)▼欧州の財政危機拡大、政権交代相次ぐ(11月)▼島根原子力発電所を運転する中国電力と県、境港市、米子市が原発安全協定を締結(12月)▼北朝鮮の最高指導者、金正日総書記が急性心筋梗塞により死去。69歳(12月)</p>

年表(14)

西暦(年号)	おもなことから	社会のうごき
2012(平成24)	<p>▼鳥取県外の企業による業務拡大などを目的とする本市への進出が4件決定し、協定書に調印(1月:(有)ワールドファーム、7月:(株)ウッドプラスチックテクノロジー、11月:(株)カインズ、12月:(株)アイ・オー・プロセス)</p> <p>▼地震や風水害などの大規模災害発生時に迅速に生活・救援物資等を確保したり、自治体間での相互支援・応援を行うことができるよう、災害に関する協定を締結(1月:(株)ポプラ、2月:千葉県松戸市、9月:千葉県館山市、10月:山陰都市12市、12月:鳥取短期大学・倉吉北高等学校・JA鳥取中央)</p> <p>▼小・中学校の適正配置などに関する議論を開始(2月:倉吉市教育委員会から諮問を受け、倉吉市学校教育審議会が「小・中学校の適正配置等について」として教育長に答申、4月-8月:教育委員会が市内14小学校区での地区説明会を開催、11月:市民シンポジウムを開催)</p> <p>▼平成23年12月にデザインが決まった倉吉市のイメージキャラクターの愛称が「くらすけくん」に決定(2月)</p> <p>▼学校給食センターの調理業務を民間委託(4月)</p> <p>▼上灘中央交流促進事業が完了し、竣工式を開催(4月)</p> <p>▼JR倉吉駅がグランドオープン(6月)</p> <p>▼陸上競技場がリニューアルオープン(6月)</p> <p>▼倉吉市のイメージキャラクター「くらすけくん」が住民登録(7月)</p> <p>▼片岡鶴太郎さんが倉吉市観光大使に(8月)</p>	<p>【海外】</p> <p>▼英エリザベス女王の即位60年(2月)▼ミャンマー議会補選でスー・チー氏当選(4月)▼金正恩氏が朝鮮労働党第1書記に(4月)▼露大統領にプーチン首相が当選(5月)▼国連高官がシリアが内戦下にあるとの見解を示す(6月)▼スペインがユーロ圏に金融支援要請、欧州の財政・金融危機続く(6月)▼NASA無人探査車が火星に着陸(8月)▼大型ハリケーン「サンディ」、米で死者多数(10月)▼米大統領選でオバマ氏が再選(11月)▼中国共産党総書記に習近平氏(11月)</p> <p>【国内】</p> <p>▼金環日食、932年ぶり広範囲観測(5月)▼東京スカイツリー開業(5月)▼地下鉄サリン事件で特別手配の逮捕によりオウム捜査終結へ(6月)▼ロンドン五輪、史上最多のメダル38個(7月-8月)▼政府が尖閣諸島国有化のため、購入費20億5000万円の支出を閣議決定(9月)▼ノーベル生理学・医学賞に山中教授(10月)▼中央道トンネルで崩落、9人死亡(12月)▼第46回衆院選が投票され、自民党・公明党が圧勝し、3年3か月ぶりの政権奪還。参院で法案が否決されても衆院定数の3分の2以上の賛成で再可決、成立させることが可能となった(12月)▼安倍内閣誕生。首相再登板は、吉田茂氏以来、戦後2人目(12月)</p>
2013(平成25)	<p>▼昨年に引き続き、県外企業の本市進出が2件決定(2月:廣川マテリアル(株)、4月:(株)トンボ)</p> <p>▼内閣府が24年度に行った「全国自治体の子育て支援施策に関する調査」において、倉吉市の子育て支援が、先進的取組事例として報告された(3月)</p> <p>▼防災行政無線システムが供用開始(4月)。それに伴い戸別受信機を全戸配布。また、本市と周辺4町、「湖東定住自立圏」を構成する滋賀県彦根市など周辺4町とで、災害時相互支援協定を締結(10月)。社会福祉施設等と要援護者の緊急受け入れに関する協定を締結(11月)</p> <p>▼河北中学校が、旧倉吉産業高校敷地に移転(4月)</p> <p>▼摩瑠山斎場に代わり、鳥取中部ふるさと斎場(円谷町)が供用開始(4月)</p> <p>▼国道313号「倉吉道路」倉吉IC～倉吉西IC間(3.3km)が開通(6月)</p> <p>▼市制施行60周年を記念し、吉本新喜劇の記念公演(7月)、2,000枚限定オリジナルナンバープレートを交付(7月)、打吹公園に80本の桜の記念植樹(11月)を行った。</p> <p>▼関金温泉若女将が着任(7月)</p> <p>▼任期満了に伴う市議会議員選挙が実施され、新たな市議会議員が決定。今回から定員数が3名減となり、17人となった(10月)</p> <p>▼せきがねさいとりさし保存会が地域文化功労者文部科学大臣表彰を受賞(11月)</p>	<p>【海外】▼オバマ米大統領の2期目スタート(1月)▼露に隕石落下、1200人以上負傷(2月)▼中国共産党の習近平総書記を国家主席に選出(3月)▼ローマ法王に初の中南米出身枢機卿(3月)▼サッチャー元英首相が死去(4月)▼米ボストンマラソンのテロで3人死亡(4月)▼米英紙報道で米当局の通信監視が発覚(6月)▼英王子の妻キャサリン妃が男児出産(7月)▼猛烈な台風がフィリピン直撃、死者・行方不明者約8000人(11月)▼中国で大気汚染による濃霧が過去50年で最多と判明(11月)</p> <p>【国内】</p> <p>▼安倍首相、TPP交渉参加を表明(3月)▼長嶋茂雄氏と松井秀喜氏に国民栄誉賞(5月)▼富士山が世界文化遺産に決定(6月)▼参院選で自民、公明両党が過半数獲得、ねじれ解消(7月)▼楽天の田中投手が連勝の新記録(8月)▼2020年夏季五輪・パラリンピックの開催地が東京に決定(9月)▼伊豆大島で土石流災害、死者35人(10月)▼消費税率8%への引き上げ決定(10月)▼ホテルなどで食材偽装の発覚相次ぐ(10月)▼楽天が初の日本一(11月)</p>





2013年倉吉市 市勢要覧 統計資料編

平成26年3月

【編集・発行】

倉吉市企画振興部総合政策課

〒682-8611 鳥取県倉吉市葵町722番地

TEL0858-22-8161/FAX0858-22-8144

ホームページアドレス

<http://www.city.kurayoshi.lg.jp>

